Panasonic

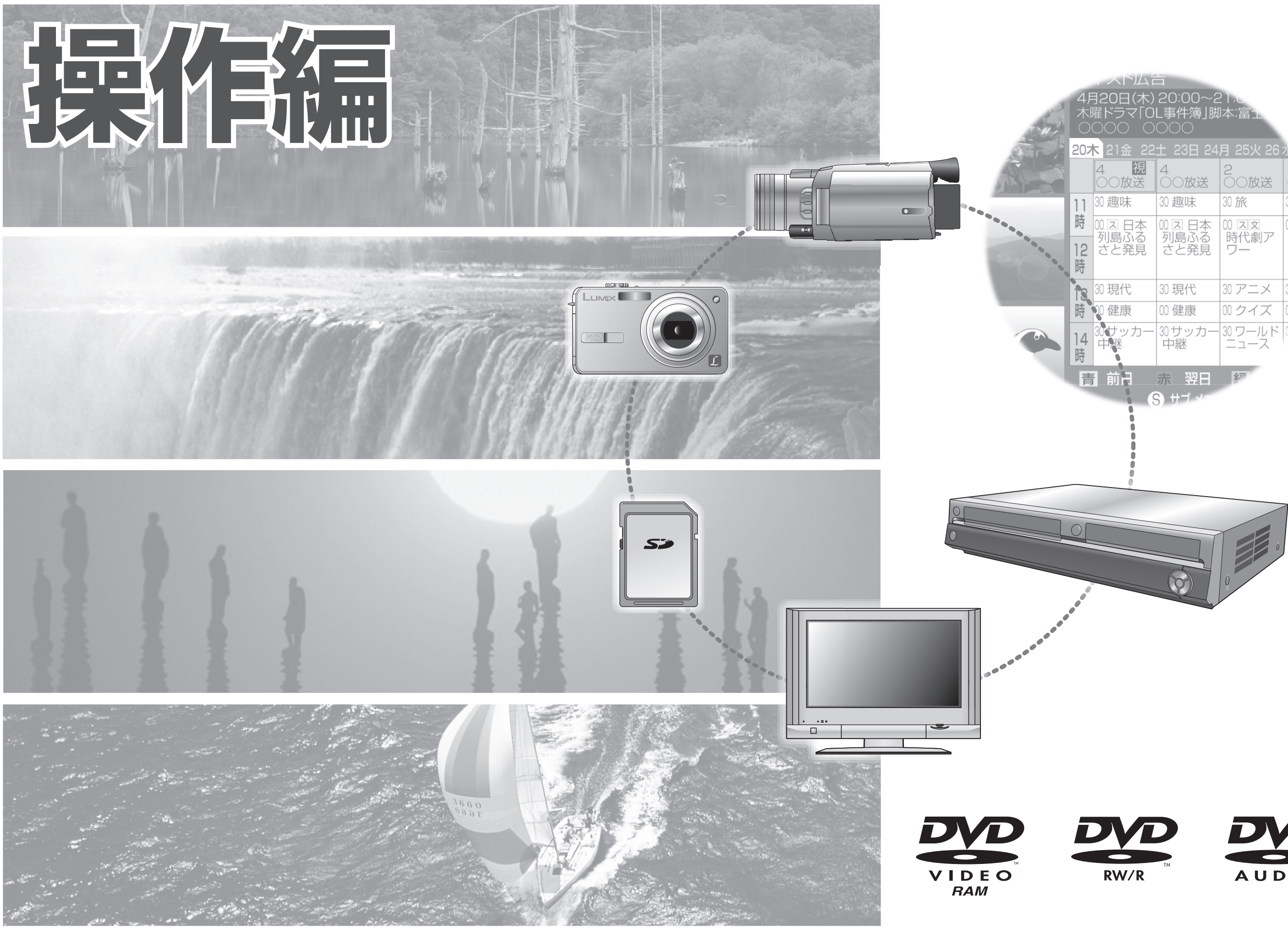
取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-EH75V



操作編



DVD 関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/

詳しい使い方説明は、「ディーガ使い方ナビゲーション」をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。ホームページでユーザー登録ができます。
http://www.mps.panasonic.co.jp/

このたびはパナソニックDVDレコーダーをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

保証書別添付

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」(86〜87 ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
  保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

RQT8347-S

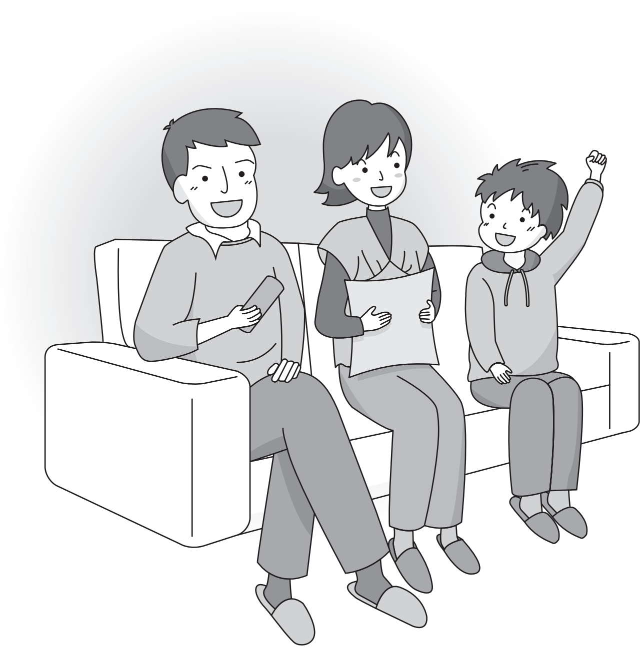
もくじ

まず お知らせとご確認



大事なお知らせ

さあ 使ってみよう



録る

もし 困ったとき



必要なとき

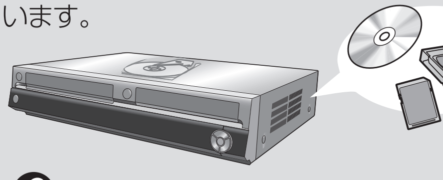
音声ガイドについて
音声ガイドは音声で操作を案内する機能です。
音声ガイドは本書中の左記マークのある箇所で働きます。

確認

ご自分で設置される方は…
別冊「準備編」をご覧になり、
必要な設定を行ってください。

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編で参照していただくページを 準備編 P.○○ で示しています。
- 内蔵ハードディスクの操作部分を「HDD」、ディスクの操作部分を「DVD」、カードの操作部分を「SD」、カセットの操作部分を「VHS」として、主に説明しています。



- の項目は、音声ガイドが働きます。

見る/聞く

編集する

ダビング

便利機能

HDD(ハードディスク)と本機で使えるディスク・カード

HDDと録画・再生ができるディスク

ディスクの種類	本書での表示	ロゴ	記録方式	フォーマット(初期化)が必要か?	直接録画
内蔵HDD(ハードディスク)	HDD	−	**VR(ビデオレコーディング)方式** テレビ放送などを記録、編集するために作られた記録方式です。 ●デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組をCPRM対応ディスクで録画できます。 ●番組の不要な部分を消去したり、プレイリストの作成などの編集ができます。[DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)の場合は、ファイナライズ前のディスクのみ]	−	○
DVD-RAM	RAM	DVD RAM RAM4.7		必要※3	○
DVD-R※1	(VR方式) -R(VR)	DVD R R4.7		必要	○
DVD-R DL※1 (片面2層)	(VR方式) -R DL(VR)	DVD R R DL		必要	×
DVD-R※1	(DVD-Video方式) ファイナライズ前 -R(V) ファイナライズ後 DVD-V	DVD R R4.7	**DVD-Video(DVDビデオ)方式** 市販されているDVDビデオと同じ記録方式です。 ●ファイナライズ(➜下記)をしたあと、DVDプレーヤーなどで再生できます。 ●デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組は録画できません。	不要	○
DVD-R DL※1 (片面2層)	(DVD-Video方式) ファイナライズ前 -R DL(V) ファイナライズ後 DVD-V	DVD R R DL		不要	×
DVD-RW	(DVD-Video方式) ファイナライズ前 -RW(V) ファイナライズ後 DVD-V	DVD RW		必要	○
+R※2	ファイナライズ前 +R ファイナライズ後 DVD-V	−	●ファイナライズ(➜下記)をしたあと、DVDプレーヤーなどで再生できます。 ●デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組は録画できません。	必要	○

●ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)
●**ディスクに録画できる時間については、"録画の画質と時間について(録画モード)"(➜19)をご覧ください。**
●**ディスクの対応バージョンや速度については 101 ページ"仕様"をご覧ください。**



※CPRM 対応ディスクのみ

※1 **DVD-R、DVD-R DL**へ録画する前に
本機では、DVD-R、DVD-R DLをフォーマットしないで使用した場合、DVD-Video方式で録画されます。VR方式で録画したい場合は、フォーマットを行ってください。いったん記録またはフォーマットすると、あとから記録方式を変更することはできません。**(➜18"DVD-R、DVD-R DLの記録方式とフォーマットについて")**
※2 本機で録画された +R と、他の当社製DVDレコーダーで録画された +R は、互いの機器で使用できない場合があります。
ただし、ファイナライズされたディスクは、互いの機器で再生することができます。
※3 市販のディスクにはフォーマットされていないものがあります。その場合はフォーマットが必要です。
※4 **初期設定**「高速ダビング用録画」**(➜83)**が「切」の場合のみ。
※5 RAM: 当社製DVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。(2006 年 3 月現在)
-R(VR): 2005 年 7月以降に発売された当社製DVDレコーダーでは再生できます。(2006 年 3 月現在)
-R DL(VR): DVD-R DL(VR方式)に対応した機器で再生してください。
-R DL(V): ファイナライズ後にDVD-R DL(DVD-Video方式)に対応した機器で再生してください。

ファイナライズとは	録画したディスクを他の DVD 機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。ファイナライズすると、録画や編集はできなくなります。**(操作方法は ➜80)**
フォーマットとは	録画前のディスクを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。**(操作方法は ➜79)**

特長		本機でできること				互換性※5
録画、再生できるもの	繰り返し録画	「1回だけ録画可能」のデジタル放送を録画	二重放送の主/副音声を両方記録	16:9映像をそのまま記録	プレイリスト作成・編集	他のDVD機器で再生
ビデオ(通常の録画番組) 写真 (デジタルカメラなどの写真)	○	○	○※4	○※4	○	−
ビデオ(通常の録画番組) 写真 (デジタルカメラなどの写真)	○	○ CPRM対応ディスクのみ	○※4	○※4	○	○ DVD-RAM対応機器でのみ可能(ファイナライズは不要です)
ビデオ (通常の録画番組)	×	○ CPRM対応ディスクのみ	○※4	○※4	○	○ DVD-R(VR方式)対応機器でのみ可能(ファイナライズが必要な場合があります)
ビデオ (通常の録画番組)	×	○ CPRM対応ディスクのみ	○※4	○※4	○	○ DVD-R DL(VR方式)対応機器でのみ可能(ファイナライズが必要な場合があります)
ビデオ (通常の録画番組)	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	○ ファイナライズが必要
ビデオ (通常の録画番組)	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	○ ファイナライズ後にDVD-R DL対応機器でのみ可能
ビデオ (通常の録画番組)	○	×	×	× 4:3映像で記録	×	○ ファイナライズが必要
ビデオ (通常の録画番組)	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	○ ファイナライズが必要

繰り返し録画ができないディスクでは、番組を消去してもディスク残量は増えません。詳しくは**47ページ**"消去後のディスク、カードの残量について"をご覧ください。

詳しくは**12ページ**"デジタル放送の録画とダビングについて"をご覧ください。

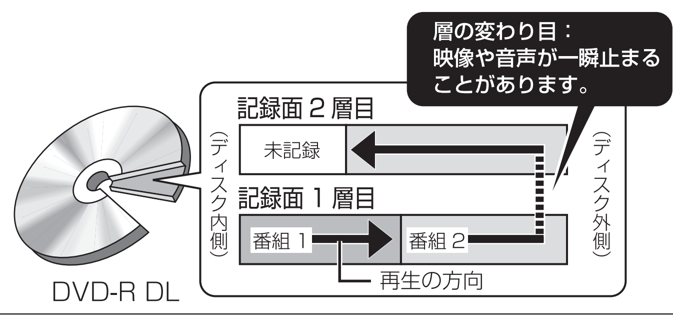
詳しくは**13ページ**"二重放送やワイド放送の番組にかかる制限"をご覧ください。



本機では、DVD-R DL(片面2層)ディスクに直接録画したり、カセットから直接ダビングすることはできません。
一度HDDに録画、またはカセットからHDDへダビングしたあと、HDDからDVD-R DLへのダビングを行ってください。

DVD-R DL(片面2層)ディスクを再生するとき

DVD-R DL(片面2層)ディスクは、右図のように記録面が片面に2層あります。1層目に収まりきらなかった番組は、引き続き2層目に記録され、2つの層にまたがって記録されます。**(➜右図「番組2」)**このような番組を再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。



再生のみできるディスク

ディスクの種類 本書での表示	ロゴ	特長
DVDビデオ DVD-V	DVD VIDEO	映画や音楽など、高画質の市販ソフト ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) 2 ALL 1 2 4 • 番号は国により違います。
DVDオーディオ DVD-A	DVD AUDIO	高音質の音楽用市販ソフト ●本機では2チャンネルで再生されます。ただし、マルチチャンネルDVDオーディオには、制作者の意図によりダウンミックス(➜88)が禁止されているものがあります。
DVD-RW (VR方式) -RW(VR)	DVD RW	他のDVDレコーダーのVR方式で録画されたDVD-RW※ ●CPRM対応ディスクに録画された「1回だけ録画可能」な番組の再生もできます。 ●フォーマット(➜79)すると、本機ではDVD-Video方式で録画できます。 ●本機以外で録画されたディスクの中には、録画した機器でファイナライズ(➜88)を行わないと再生できないものがあります。
CD CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	●音楽や音声が記録された市販ソフト(CD-DA形式で記録した CD-R や CD-RW を含む※) ●MP3 圧縮形式(➜右ページ)で音楽が記録されたCD-RやCD-RW※ ●写真（JPEGやTIFF）が記録されたCD-RやCD-RW※
ビデオCD VCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音楽や映像が記録された市販ソフト(ビデオCD形式で記録したCD-R や CD-RW を含む※)
+R DL(片面2層) DVD-V	–	他のDVDレコーダーで録画された+R DL(片面2層) ●録画した機器でファイナライズ(➜88)を行ったディスクのみ再生できます。
+RW	–	他のDVDレコーダーで録画された+RW※ ●録画した機器でファイナライズ(➜88)を行わないと再生できないものがあります。

※ 記録状態によって再生できない場合があります。
●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

本機で使えないディスク

●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜88)されていないDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R
●PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオの音声は再生できます)
●リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
●ブルーレイディスク
●DVD-ROM ●+R(8 cm) ●CD-ROM ●CDV ●CD-G ●Photo-CD
●CVD ●SVCD ●SACD ●MV-Disc ●PD　など

本機で使えるカード

カードの種類 本書での表示	特 長
SDメモリーカード miniSD™カード※1 マルチメディアカード※2 SD	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生(➜38)やダビング(➜73)ができます。 ●写真のプリント枚数の設定(DPOF設定)ができます。(➜54) ●当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)にダビングできます。(➜68) ●MPEG2動画をSDカードから直接再生することはできません。

※ 1 miniSD™カードは、必ず専用のminiSD™アダプターを装着してご使用ください。
※ 2 マルチメディアカードは、写真の再生、ダビングのみできます。

使用可能なSDメモリーカードについて

本機では以下の容量(8 MB～2 GBまで)のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB、	16 MB、	32 MB、	64 MB、	
128 MB、	256 MB、	512 MB、	1 GB、	2 GBまで

- 使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dvd
- SDメモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
  また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜79)
- 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカードに対応しています。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本機で再生できる MP3 や写真 (JPEG/TIFF) について

MP3	再生可能ディスク	CD
	ファイル形式	MP3 ●ファイル名の拡張子に「mp3」、「MP3」と書かれたファイル（半角英数字のみ）
	フォルダ数	ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ
	ファイル数	ディスク上の最大 999 ファイル
	ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps まで
	サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
	ID3 タグ	対応していません
写真 JPEG/TIFF※	再生可能ディスク・カード	HDD RAM SD CD
	ファイル形式	JPEG、TIFF[非圧縮 RGB(点順次) 方式] ●ファイル名の拡張子に 「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル (半角英数字のみ)
	画素数	34 × 34 ～ 6144 × 4096 (サブサンプリングは、4 : 2 : 2 または 4 : 2 : 0)
	フォルダ数	CD ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ HDD RAM SD 上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
	ファイル数	CD ディスク上の最大 999 ファイル HDD RAM SD 最大 3000 ファイル
	Motion JPEG	対応していません

※表示する動作に時間がかかることがあります

CD

- ISO9660 level 1とlevel 2(拡張フォーマットは除く)、Jolietのフォーマットが使用できます。
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
- ファイル数(トラック数)やフォルダ数(グループ数)が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
- 本機画面とパソコン画面では表示が異なることがあります。
- ディスクの作りかた(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。
- パケットライト方式には対応していません。
- 記録状態によっては再生できないものがあります。

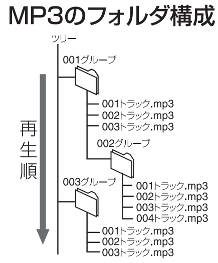
HDD RAM SD

- DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。
  DCF:Design rule for Camera File system [電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

CD MP3について

- MP3に静止画など大きなデータが含まれていると、再生できない場合があります。
- 再生したい順番を指定する場合は、右図のようにけた数をそろえた数字を付けたフォルダ構成にしてください。

MP3のフォルダ構成



RAM CD SD

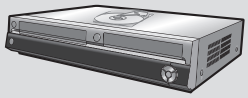
- 写真(JPEG、TIFF)のフォルダ構成については(➜88)

HDD（ハードディスク）の取り扱い

HDDは記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
取り扱いにお気をつけください。

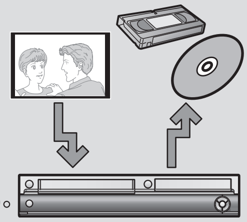
HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

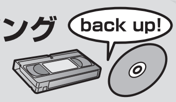


HDDは一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。



HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…



HDD内に不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングし、修理をご依頼ください。

※HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

HDDは自動的に休止状態になります



通電中、HDDは高速で回転しています。省電力のため、ディスクトレイにディスクが入っていない状態で約30分以上操作しないとHDDの回転を止め、休止します。HDDを休止状態にするために、お使いになならないときは、ディスクトレイからディスクを取り出しておくことをおすすめします。

●起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。(**「クイックスタート」(➜下記)が「入」になっていても同様です**)

本機から HDD の動作音が聞こえます。故障かな？

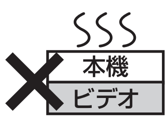
故障ではありません。
本機では、HDDの品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

●HDDが休止状態になるとき
●電源切/入時
●番組表(Gガイド)データを受信中
●昼の12時ごろに時刻の誤差を自動修正中
●予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を自動的に再起動しているとき



重要なお願い

設置するとき
●後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない
●水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する
●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない



●温度変化が起こりやすい場所に設置しない
●「露付き」が起こりにくい場所に設置する(➜10)

たばこの煙など
たばこの煙、くん煙殺虫剤(煙をたくタイプの殺虫剤)などが機器内部に入ると故障の原因になります。

移動するとき
① 電源を切る(表示窓から「BYE」が消えるまで待つ)
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ 完全に回転が止まってから(2分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

長期間使用しないとき
節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

電源「切」時の消費電力

クイックスタート	時刻表示点灯時	時刻表示消灯時
「切」時	約 2.6 W	約 1.3 W※
「入」時	約 7.4 W	約 6.3 W※

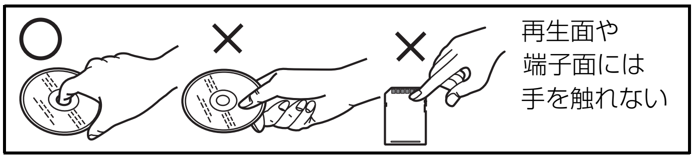
※ **初期設定**「FLディマー」を「オート」に設定した場合(➜85)

クイックスタート(➜82)とは
電源「切」状態から、以下の操作がすばやく行えるようになる設定のことです。(お買い上げ時は「切」に設定されています)
●**[電源] ボタン**を押して約1秒で、HDD、DVD-RAMへの録画を開始することができます。
●**[番組表] ボタン**を押して約 1 秒後に、番組表(Gガイド)を表示します。(映像または、S 映像コード接続時)
[番組表(Gガイド)は、お買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。(準備編 P.18)]
そのほかの操作は、電源を入れてから数十秒かかります。

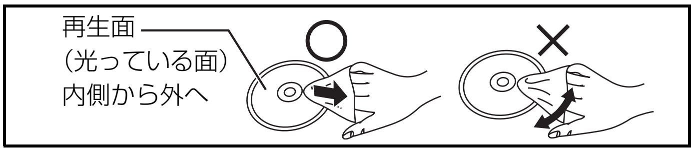
ディスク・カードの取り扱い

使用上のお願い

持ちかた



汚れたときや、露が付いたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

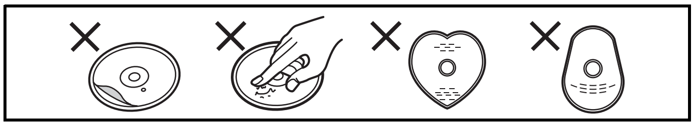


カートリッジ付き DVD-RAM の取り扱いについて
ディスクを損傷から保護し、性能を維持するため、シャッターを無理に開けないでください。

取り扱い上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。
  ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物を載せたり、衝撃を与えたりしない。
- 以下のディスクを使わない。
  - ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
  - ・そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  - ・ハート型など、特殊な形のディスク



- 次のような場所に置かない。
  - ・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  - ・湿気やほこりの多いところ
  - ・温度差の激しいところ（結露が発生します）
  - ・静電気や電磁波の発生するところ
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める。

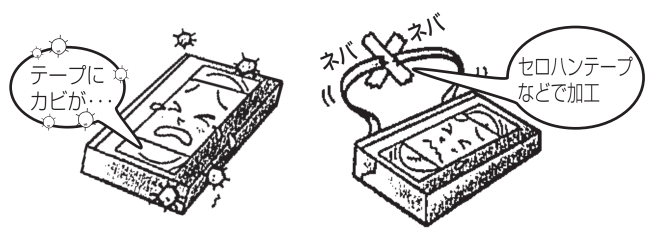
カセットについて

使用上のお願い

品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット（テープ）の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット（テープ）を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット（テープ）の例
  - ・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
  - ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
  - ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
  - ・テープがたるんでいる



- このようなカセット（テープ）を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色（ブルーバック）になったりします。
- このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー（別売）（➜**裏表紙**）でビデオヘッドをクリーニングしてください。
  それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
  ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー（市販品）は使わないでください。（故障の原因になります）

取り扱い上のお願い

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

- ・ほこりの多いところ
- ・高温になるところ（推奨温度：15 ℃～25 ℃）
- ・温度差が激しいところ
- ・湿度の高いところ（推奨湿度：40 %～60 %）
- ・湯気や油煙の出るところ
- ・冷暖房機器に近いところ
- ・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの（スピーカーなど）を近づけない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

使用上のお願い

本機は、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

使用するとき

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

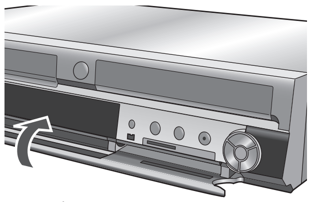
カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

●キャビネットが変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

前面パネルについて

●本体前面パネルのふたを開けたあとは、必ず閉じてください。ふたを開けたままにしておくと、けがなどの原因になることがあります。特にお子様には、お気をつけください。



必ずふたを閉じる

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近づけない

●映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりする恐れがあります。
●特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

(下記のような操作を行うと不具合が生じる可能性があります)
●本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる
●上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
●**他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる**

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気をつける

●本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

ディスクとカセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

●引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

お手入れについて

キャビネットが汚れているとき

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

汚れがひどいとき

●中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
そのあと、乾いた布で仕上げてください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
●キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

録画/再生用レンズが汚れたとき

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)(➜ **裏表紙**)でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。
●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

「露付き」について

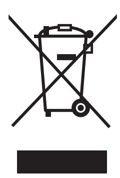
「露付き」とは

●冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
このような現象を「露付き」といいます。



●本機やカセットに「露付き」が起こると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。
●暖かい状態のHDDが冷たい空気に触れると、HDD内部に「露付き」が発生し、ヘッドなどを傷付ける可能性があります。
●「露付き」が起こりやすいとき
・梅雨の時期
・本機やカセットを暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆
・寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき
・本機やカセットに冷房の風が直接あたっていたとき
・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
●「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2～3時間程度)、**電源を切ったまま放置してください。**

－このマークがある場合は－



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

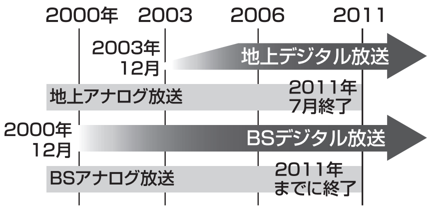
デジタル放送のお知らせ

２００３年１２月から地上デジタル放送が始まっています

アナログ放送からデジタル放送への移行について

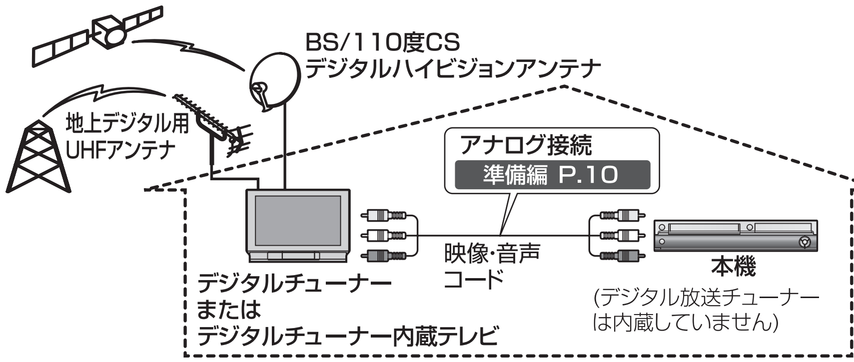
デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。



本機でデジタル放送を録画するには

別売のデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、本機を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。
ただし、デジタルハイビジョン画質ではありません。
番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。



●上記内容はJEITA（社団法人電子情報技術産業協会）の規定に基づくものです。

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1回だけ録画可能」※1のコピー制御信号が加えられています。
※1「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。（2004年4月から）

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人　地上デジタル放送推進協会 http://www.d-pa.org/
社団法人　BSデジタル放送推進協会 http://www.bpa.or.jp/

●デジタル放送をディスクに録画するときは、使用するディスクにお気をつけください。
詳しくは、“デジタル放送の録画とダビングについて”(➔12)をご覧ください。（○：録画できる　×：録画できない）

放送の種類＼録画先	内蔵HDD	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)※ (CPRM対応)	DVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)※ (CPRM非対応)	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL(DVD-Video方式)※、DVD-RW、+R	カセット
制限なしに録画可能	○	○	○	○	○
1回だけ録画可能	○	○	×	×	○
録画禁止	×	×	×	×	×

※本機では、HDDからのダビングのみ
CPRM：1 回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。

著作権など

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。
●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社の日本国内における登録商標です。
Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●「DTS」および「DTS 2.0+Digital Out」はDTS社の商標です。
●SDロゴは商標です。
●miniSD™ は SDアソシエーションの商標です。
●Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
●この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利確保のため権利者に支払われることが定められています。
私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人 私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107(代)
FAX 03-5570-2560
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

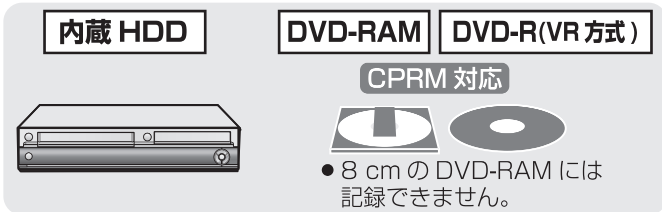
デジタル放送の録画とダビングについて

本機はデジタル放送を受信することはできません。デジタル放送を録画するには、デジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと接続してください。(接続の方法は、別冊の取扱説明書 準備編をご覧ください)

デジタル放送について、詳しくは“デジタル放送のお知らせ”(➜11)をご覧ください。

録画できるディスクに制限があります

「1 回だけ録画可能」の番組は、CPRM(➜ 下記) に対応した録画機器とディスクで録画できます。ディスクに録画する場合、これ以外のディスクには録画できません。



● 8 cm の DVD-RAM には記録できません。

CPRM とは

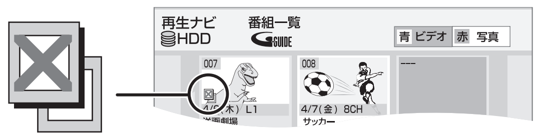
1 回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

DVD-R DL(VR 方式) CPRM 対応 は HDD からのダビング時のみ使用できます。

DVD-R に録画、DVD-R DL へダビングするには、録画・ダビング前にフォーマットが必要です。

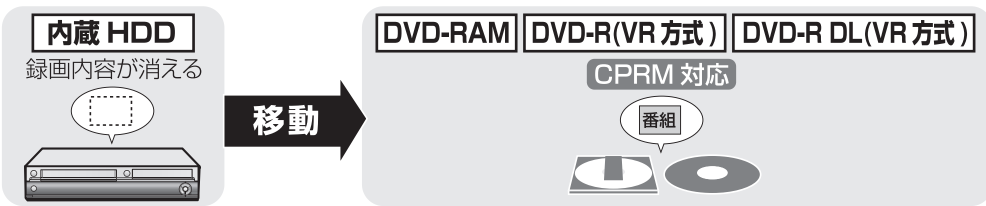
「1 回だけ録画可能」の番組を HDD、ディスクに録画すると

再生ナビ画面などで、右記のアイコンが表示されます。



HDD からディスクへダビングすると、HDD の番組は消去されます

「1 回だけ録画可能」の番組は、HDD から CPRM 対応の DVD-RAM、DVD-R(VR 方式)、DVD-R DL(VR 方式) へ移動できます。(HDD からは消去されます) 複製はできません。



- DVD-RAM、DVD-R(VR 方式)、DVD-R DL(VR 方式) から HDD、また他のディスクへの複製・移動はできません。
- DVD-R(VR 方式) にダビング (移動) する場合は、当社製の DVD-R(CPRM 対応) のご使用をおすすめします。

ダビングできません　プロテクト (➜49) を設定した番組　「1 回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリスト

HDD、ディスクへの録画時には、次のことにお気をつけください

右図のように録画された番組は、録画制限のない番組でも録画制限のある番組として扱われます。そのため、ダビングすると、上記の制限がかかります。

- 番組分割 (➜49) などの編集を行っても、録画制限のある番組として扱われます。

録画制限のある番組	録画制限のない番組

続けて 1 つの番組として録画すると…

録画制限のある番組

記録したディスクを他の機器で再生するには

本機で記録した「1 回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合

DVD-RAM CPRM 対応機器でのみ再生可能

- 当社製 DVD レコーダーや DVD-RAM 対応の DVD プレーヤーでは再生できます。(2006 年 3 月現在)

DVD-R(VR 方式) VR 方式で記録した DVD-R を再生できる CPRM 対応機器でのみ再生可能

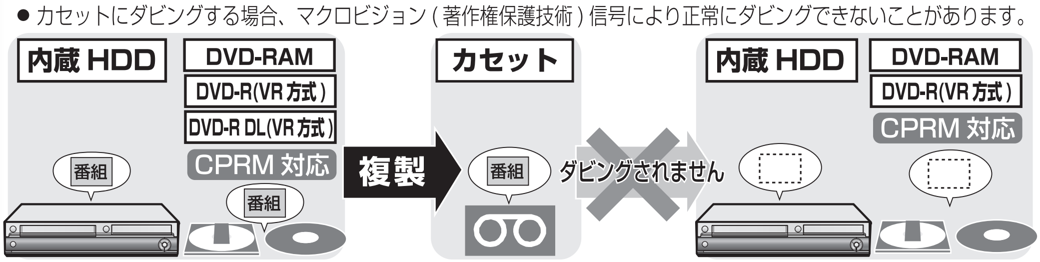
- 2005 年 7 月以降に発売された当社製 DVD レコーダーでは再生できます。

DVD-R DL(VR 方式) VR 方式で記録した DVD-R DL を再生できる CPRM 対応機器でのみ再生可能

カセットへダビングするときは

「1回だけ録画可能」の番組をカセットへダビングする場合、コピー制御信号が合わせて記録されます。再度、HDD や ディスクへダビング(複製)するときは、コピー制御信号が記録された部分はダビング(複製)されません。

- カセットにダビングする場合、マクロビジョン (著作権保護技術) 信号により正常にダビングできないことがあります。



二重放送やワイド放送の番組にかかる制限

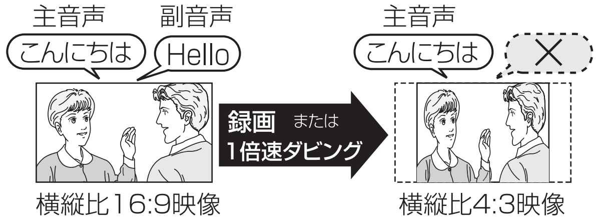
本機では、HDDまたはディスクに二重放送やワイド放送を録画、ダビングするとき、使用するディスクや設定によって、以下のような制限がかかります。目的に合わせたディスクの使用や設定を行ってください。

本機をお買い上げ時の状態でHDD、ディスクに録画・ダビングすると

お買い上げ時は**初期設定**「高速ダビング用録画」の設定が「入」(➜83)になっています

「高速ダビング用録画」の設定が「入」の場合、
・録画時
・1 倍速でダビング時
右記の制限がかかります

- **主音声や副音声を含んだ二重放送は、主音声のみ記録されます**※
  ※外部入力に接続した機器から録画する場合、機器から出力された音声をそのまま記録します。
  (➜ 下記 “二重放送の記録したい音声を選ぶには”)
- **ワイド放送(16:9 映像)は 4:3 の映像になります**



二重放送の記録したい音声を選ぶには

録画前に初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」か「副音声」を選んでください。(➜84)

- **外部入力に接続した機器から録画する場合**
  外部機器側で「主 / 副」両音声を出力するように設定してください。
  録画前に 1. 初期設定「外部入力の音声」で「二重音声」を選んでください。(➜84)
  2. 初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」か「副音声」を選んでください。(➜84)

上記の制限をかけずに録画・ダビングするには

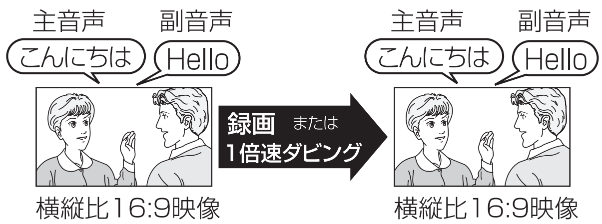
HDD
RAM
-R(VR)
-R DL(VR)

(-R DL(VR) はダビングのみ)

初期設定「高速ダビング用録画」(➜83)を「切」にしてください。

・主音声・副音声を両方記録します
・ワイド放送(16:9 映像)をそのまま記録します

ただし、「切」にすると、HDD に録画したあと -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングする場合、高速でダビングできなくなります。



-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R の場合は、本機の設定に関わらず制限を解除できません。

・主音声・副音声のどちらか一方しか記録できません。
(**初期設定**「二重放送音声記録」で「主音声」か「副音声」を選んでください)
・ワイド放送(16:9 映像)は 4:3 映像で記録されます。

外部入力に接続した機器から二重放送を録画する場合

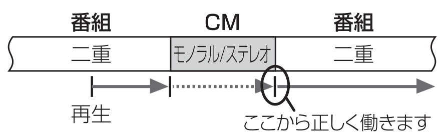
外部機器側で「主 / 副」両音声を出力するように設定してください。
録画前に初期設定「外部入力の音声」で「二重音声」を選んでください。(➜84)

録画モードを「XP」にして録画やダビングする場合の制限について

二重放送の番組を**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(**➜84**)を「LPCM」にして HDD、ディスクに録画または 1 倍速でダビングすると、どちらか一方の音声しか記録されません。録画やダビングをする前に、記録したい音声を選んでください。(**“二重放送の記録したい音声を選ぶには”➜ 上記**)

お知らせ

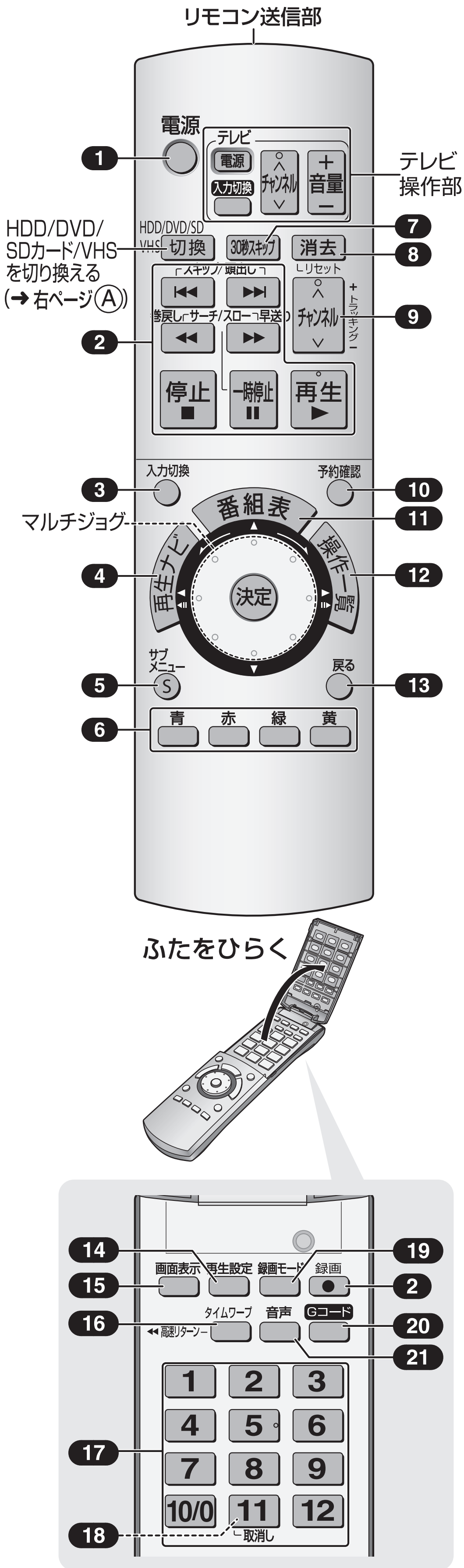
- **二重放送の番組の途中からダビングを始めた場合**
  二重放送の番組の途中からダビングを始めたときは、その二重放送の間は正しく働きません。CMがモノラル放送またはステレオ放送で、次に音声が二重放送に切り換わったときに正しく働きます。



- 本機、または当社製の自動CM早送り機能付きビデオで録画していないカセットなどの場合、そのままでダビングすると、主音声・副音声が両方記録され、再生時に音声が混ざって聞こえます。ダビング前に VHS 側で **[音声] ボタン**を押して、記録したい音声に切り換えておいてください。

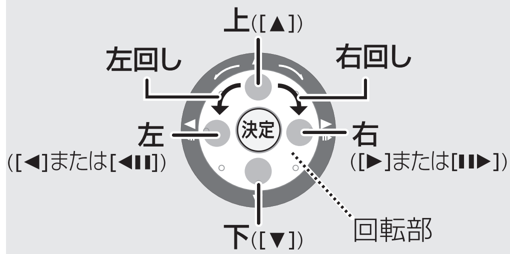
各部のはたらき

リモコン（本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています）



1 電源を切/入する
2 録画や再生時の基本操作 ……… (➜20,32,38,40)
3 入力を切り換える ……… (➜30,77)
4 HDD DVD SD：再生ナビを表示する ……… (➜22,33,38,48,54)
　DVD：ディスクメニューを表示する ……… (➜32,36)
5 サブメニューを表示する ……… (➜27,29,39,48,52,54)
6 入力する文字や一覧画面を切り換える ……… (➜33,81)
　番組表（Gガイド）を操作する ……… (➜25)
7 HDD DVD：約30秒先へ飛び越す ……… (➜35)
　VHS：CMをとばして再生する ……… (➜42)
8 HDD DVD SD：不要な番組や写真などを消去する ……… (➜47)
　VHS：テープカウンターをリセットする ……… (➜43)
9 チャンネルを順に切り換える ……… (➜20)
　VHS：トラッキングや垂直同期を調整する ……… (➜44)
10 予約一覧を表示する ……… (➜26,27)
11 番組表（Gガイド）を表示する ……… (➜24)
12 操作一覧メニューを表示する ……… (➜16,82,103)
13 1つ前のメニュー画面に戻る ……… (➜16,36,82)
　ダビングを途中でやめる ……… (➜61,63,65,72,73,74)
　●市販のDVDビデオやDVDオーディオで使用する「リターン」もこのボタンで操作します。（詳しくはディスクの説明書をご覧ください）
14 HDD DVD：ディスクの再生方法を設定する ……… (➜37)
15 操作の状態を表示する ……… (➜35,39,43,63)
16 HDD DVD：時間を指定して飛び越す ……… (➜35)
　VHS：高速で巻き戻す ……… (➜41)
17 チャンネルの数字やGコード® 予約などの番号を入力する……… (➜20,25)
　DVD SD：曲番などの数字を直接入力する ……… (➜32,34,36,38)
18 入力した数値などを取り消す ……… (➜25,27)
19 HDD DVD VHS：録画モードを選ぶ ……… (➜20,30)
20 Gコード予約する ……… (➜25)
21 HDD DVD VHS：音声を切り換える ……… (➜45)

マルチジョグのはたらき



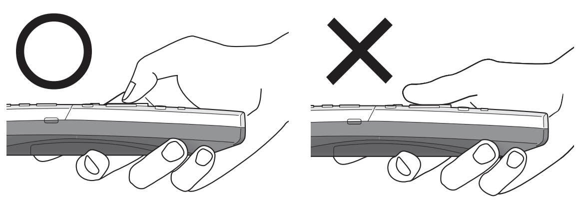
メニュー画面での選択/決定
- **選択: 上下左右（[▲][▼][◀][▶]）を押す**
  （左右に回して選ぶこともできます）
- **決定: 決定 を押す**

HDD DVD VHS
- **コマ送り/コマ戻し：**
  （一時停止中）**左右**（[◀II][II▶]）**を押す**
  [VHS はコマ送り（[II▶]）のみ]
- **早送り/早戻し：**
  （再生中）**右（送り）または左（戻し）に回す**※
- **スロー再生:**
  （一時停止中）**右（送り）または左（戻し）に回す**※

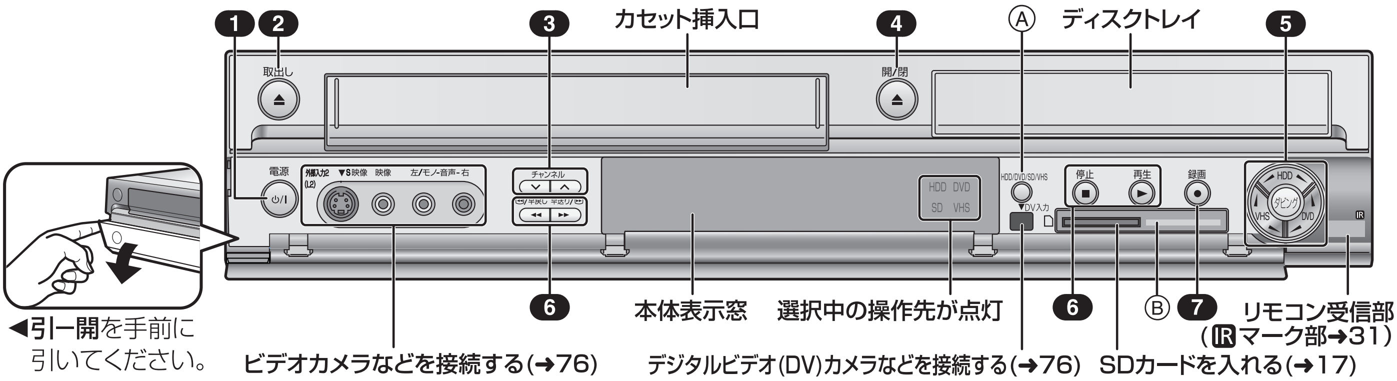
※1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。

○○ お知らせ ○○

- **[録画●]** ボタンなどは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。
- 本書では、ボタン名を **[再生▶]** などで示し、“ボタン”を省略しています。
- リモコンでのテレビの操作は、テレビメーカーの設定（ 準備編 P.24 ）後に行えるようになります。
- 誤操作を避けるために、以下のことにお気をつけください。
  ・マルチジョグを回すときは、あまり強く押さないでください。
  ・**[決定]** を押すときは、周囲の回転部をいっしょに押さないように、指を立てて軽く押してください。



本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)



Ⓐ HDD/DVD/SDカード/VHS を切り換える

操作する対象(HDD、DVD、SDまたはVHS)に合わせて、本機の操作モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、本体のランプの点灯が切り換わり、ランプ点灯の約1秒後、点灯している先へ操作モードが切り換わります。(電源「切」のときは、切り換えることはできません)
本機を操作するときは、操作モードが操作する対象に合っているか確認してください。

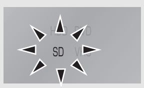
HDDの操作をする前には
- 必ず本体の[HDD]ランプを点灯させてください。



DVDの操作をする前には
- 必ず本体の[DVD]ランプを点灯させてください。



SDの操作をする前には
- 必ず本体の[SD]ランプを点灯させてください。



VHSの操作をする前には
- 必ず本体の[VHS]ランプを点灯させてください。



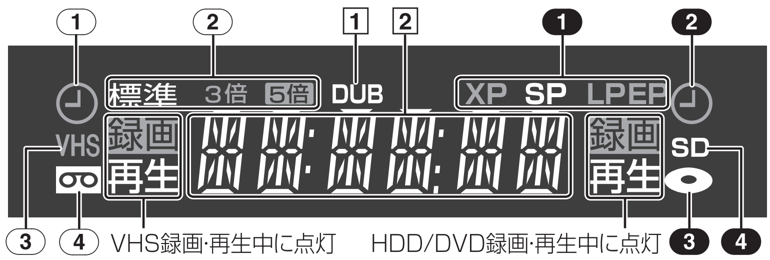
❶ 電源を切/入する

> 節電のため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れます。工場出荷時は6時間に設定されています。この時間は変更できます。(➔82)

❷ カセットを取り出す .... (➔17)
❸ チャンネルを順に切り換える .... (➔20)
❹ ディスクトレイを開閉する .... (➔17)
❺ ワンタッチダビングする .... (➔62)
❻ 再生時の基本操作 .... (➔32,40)
❼ 録画する/録画終了時間を指定する .... (➔20,21,30)

Ⓑ **初期設定**の「FLディマー」(➔85)を「常時 明」に設定している場合、本機が動作状態になるとこの部分が青く点灯します。

本体表示窓



□ HDD/DVD/SD/VHS共通

1 ダビング時 .... (➔61〜72,74)
2 メイン表示部
- 時刻
- 受信チャンネル、予約録画チャンネル
- 録画·再生経過時間
- HDD、ディスク、テープ残量
- データの種類
  例)写真の再生中は、"JPEG"と表示
- 番組や曲の番号(HDD/DVD 再生時)
- 各種メッセージ…など。

○VHS操作時

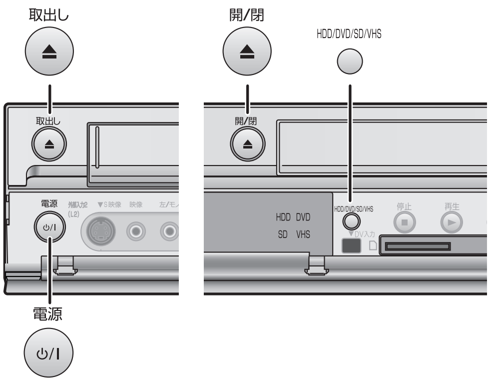
① **予約録画待機中、実行中** .... (➔24〜27)
② **録画モード** .... (➔19)
③ **録画中/予約録画待機中**
④ **カセットが入っているとき**
- カセットが入っていないときに、録画·予約録画などの操作をすると点滅。

●HDD/DVD/SD操作時

❶ **録画モード** .... (➔19)
全点灯:FR(フレキシブルレコーディングモード)
❷ **予約録画待機中、実行中** .... (➔24〜27)
❸ **ディスクが入っているとき**
❹ **SDメモリーカードが入っているとき**

テレビに本機の画面を出す





○○ お知らせ ○○
- チャンネル設定後に接続し直したときなどは、右記の操作を行って、テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
- 右記の操作を行っても本機の画面が映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。

操作一覧メニューを消すには

戻る を押す

テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
HDDやDVD、SD、VHSの映像や画像を見るときも、下記の操作を行ってください。

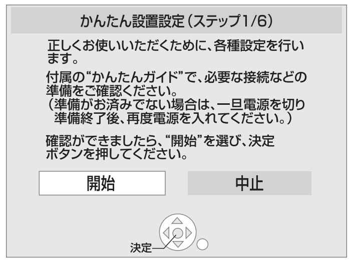
1 入力切換 を数回押して、テレビの入力をビデオ入力にする



- 例えば、テレビのビデオ入力１端子に接続しているときは、「ビデオ１」にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。
- **テレビ操作部**の[**入力切換**]を押してもテレビの入力が切り換わらないときは、本機のリモコンでテレビの操作ができるように設定するか、テレビに付属のリモコンで操作してください。(準備編 P.24)

2 電源 を押して、本機の電源を入れる

右のような画面が出るときは
- お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、右のような画面が表示されます。別冊の取扱説明書 準備編をご覧になり、まず「かんたん設置設定」を行ってください。
  - ・かんたん設置設定をしない場合や、チャンネル設定を工場出荷時の状態に戻した場合は、電源を入れるたびにこの画面が表示されます。



3 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して「HDD」、「DVD」、「SD」または「VHS」を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。



例）HDD を選択

4 操作一覧 を押して、本機の画面が映っているか確かめる

- 下のような操作一覧メニューがテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。(➜103"操作一覧メニューについて")



例）手順3で「HDD」を選んだとき

- 上記の操作を行うか、再生などをしてみてください。(➜32,38,40)

ディスク・カセット・SDカードを入れる

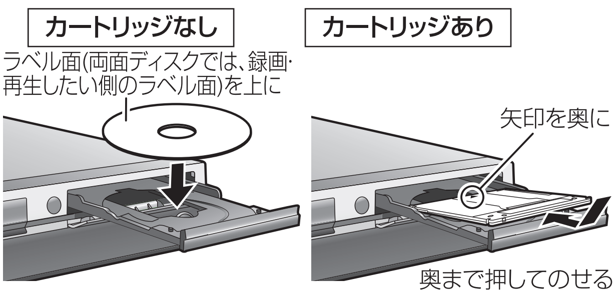
自動ドライブ選択機能

- RAM [誤消去防止(➔79)を設定したディスクのみ] DVD-V DVD-A VCD CD
  停止中または HDD、VHS に録画中、ディスクを入れると自動的に操作先が「DVD」に切り換わります。ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めると自動的に「HDD」が選ばれます。
- SD 停止中、SDカードをスロットに入れると、「SDカードの操作」画面が表示されます。そのとき項目を選び [決定] を押すと、操作先が「SD」に切り換わります。**(詳しくは ➔38,73)**SDカードを取り出すと、自動的に「HDD」が選ばれます。
- VHS 停止中または HDD/DVD に録画中、誤消去防止用の「つめ」の折れた(誤消去防止つまみが “OFF” になっている)カセット **(➔18)**を入れると、自動的に操作先が「VHS」に切り換わります。

ディスクを入れる

本体の 開/閉 ⏏ を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度 [開/閉 ⏏] を押すと、トレイが閉まります。
- 電源が切れていても取り出せます。



☞フォーマット確認画面が表示されたとき(➔78)

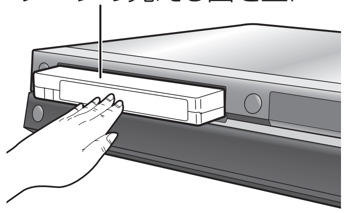
〇〇 お知らせ 〇〇

- 8 cm DVD-RAMや8 cm DVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクをトレイにのせてください。
- 両面ディスクの場合、両面にまたがって録画または再生することはできません。もう一方の面を使用するときは、いったんディスクを取り出し、裏返してください。

カセットを入れる

テープが見える面を上にして、ゆっくり入れる

- 自動的に電源が入ります。



☞カセットを取り出すには

本体の 取出し ⏏ を押す

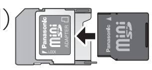
- 予約録画待機中でも取り出すことができます。(ただし、カセットが入っていない状態では VHSの予約録画は働きません)
- VHS 側が録画中、予約録画中、VHSとのダビング中のときなどは働きません。

SDカードを入れる

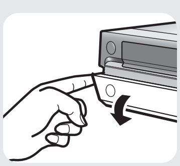
本体表示窓の“SD”点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

- miniSD™カードは、必ず専用のminiSD™アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

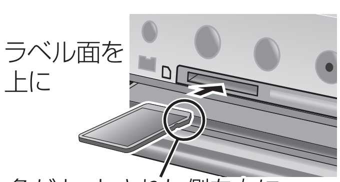
例)



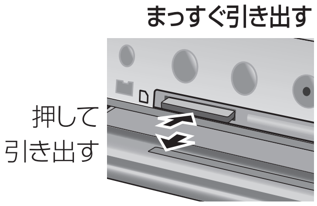
❶本体前面のふたを開ける



❷ 入れかた カードを奥までまっすぐ差し込む

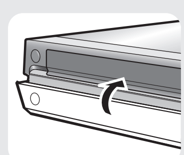


出しかた カードの中央部を押してロックを外し、まっすぐ引き出す



- カードを出し入れしたあとは、必ず本体前面のふたを閉じてください。

❸本体前面のふたを閉じる



録画について

録画するディスクについて

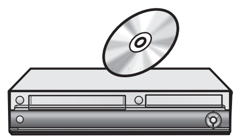
- -R DL(VR) -R DL(V) **本機では、DVD-R DL に直接録画することはできません。HDD に録画した番組をダビングする際にご使用ください。**
- **デジタル放送を録画するときは**(➜30)
  HDD または CPRM 対応の RAM -R(VR) ※を使用してください。
  ・録画後は、HDD からCPRM対応の RAM または -R(VR) -R DL(VR)※へ移動できます。(➜12)（※録画前にフォーマットが必要です）
  ・-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R には録画できません。
- **録画のあと他の機器で再生するために**
  ・-R(V) -RW(V) +R を他の機器で再生するには、録画後にファイナライズが必要です。(➜80)
  ・-R(VR) DVD-R(VR 方式)に対応した他の機器で再生するには、録画後にファイナライズが必要になる場合もあります。(➜80)

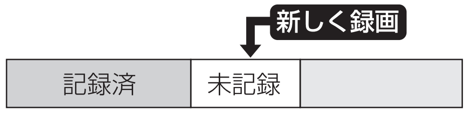
- **1枚のディスクに録画できる番組数**
  HDD 最大500番組 (長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)
  RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) 最大99番組
  +R 最大49番組

HDD やディスクに録画すると…

録画部分を気にする必要はありません

ディスクに残量があるかぎり、自動的に未記録の部分に記録を行います。



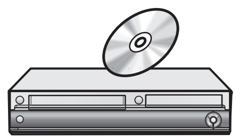


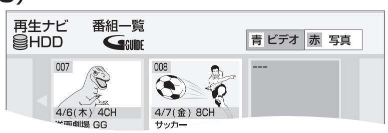
自動的に録画してくれます。

- 録画前に、早送りや早戻しで記録するところを探す必要はありません。
- 残量がない場合は、番組を消去してください。(➜47)

見たい番組もすぐに見つけられます

再生ナビ画面から、見たい番組を再生できます。
[再生ナビ] を押してください。(➜33)





一覧表からすぐに見つけられます。

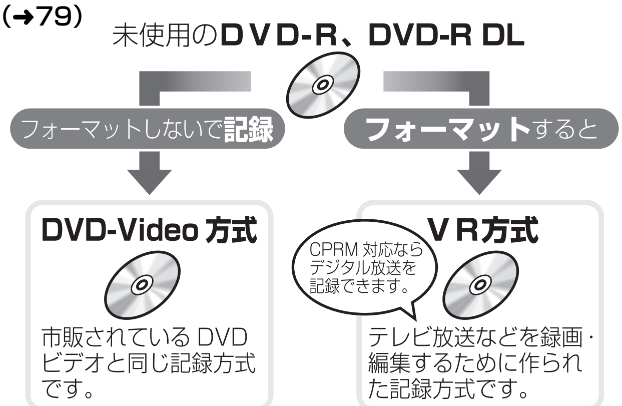
- 早送りや早戻しで再生したい番組を探す必要はありません。
- **[再生 ▶] を押して再生すると、最後に録画した番組から再生されます。(➜32)**

録画する前に

以下の内容もご確認ください。
- デジタル放送の録画とダビングについて(➜12)
- 二重放送やワイド放送の番組にかかる制限(➜13)

DVD-R、DVD-R DL の記録方式とフォーマットについて

本機では、DVD-R、DVD-R DLをフォーマットせずに使用した場合、DVD-Video方式で録画します。ＶＲ方式で録画したい場合は、録画前にDVD管理でフォーマットを行ってください。(➜79)



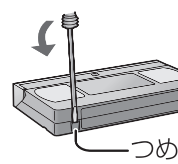
いったん録画またはフォーマットすると、あとで記録方式を変えることはできません。(記録方式の特長については➜4)

録画するカセットについて

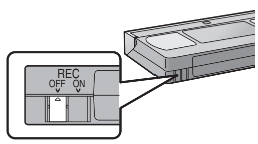
VHS、S-VHS、D-VHS マークの付いたカセットが使えます。

録画済みの番組を誤って消さないために

- 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
- 再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)



- 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて "OFF" にしてください。



- "ON" に戻すと、再び録画できます。
- カセットの説明書もよくご覧ください。

録画の画質と時間について(録画モード)

HDD、DVD に録画するとき

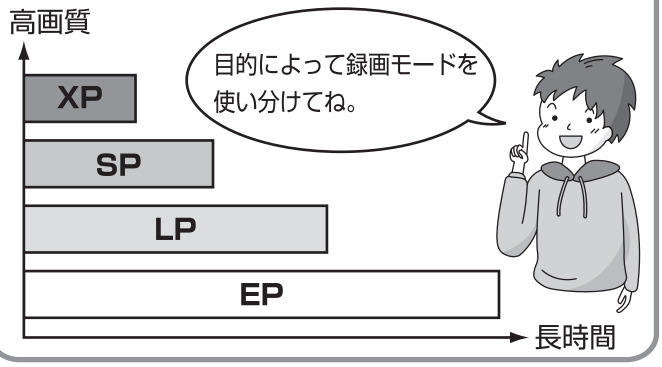
ディスク / 録画モード	HDD(内蔵) (200 GB)	DVD-RAM 片面 (4.7 GB)	DVD-RAM 両面※1 (9.4 GB)	DVD-R DVD-RW +R (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層)※2 (8.5 GB)
XP (高画質)	約44時間	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分
SP (標　準)	約89時間	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分
LP (長時間)	約177時間	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分
EP※3 (長時間)	約355時間 (約266時間※4)	約8時間 (約6時間※4)	約16時間 (約12時間※4)	約8時間 (約6時間※4)	約14時間20分 (約10時間45分※4)
FR※3 (自動調整)	最大355時間	最大8時間	片面あたり 最大8時間	最大8時間	最大 約14時間20分

※1 両面の連続録画･再生はできません。
※2 DVD-R DLに直接録画することはできません。表はダビングでの記録時間です。
※3 録画モード「EP」または「FR(5 時間以上録画した場合)」で録画した番組は、+R へ高速ダビングできません。
※4 **初期設定**の「EP時の記録時間」(➜83)で設定できます。
- EPモードの音質は「EP(6H)モード」の方が高音質です。
- RAM EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6H)モードで録画してください。

上記の表の数値はめやすです。記録する内容によっては変化することがあります。
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に録画できる時間が異なることがあります。
(HDD と -R DL(VR) -R DL(V) では、特にその差が著しくなります)
残量に余裕がある状態で録画してください。

XP(高画質録画)〜EP(長時間録画)

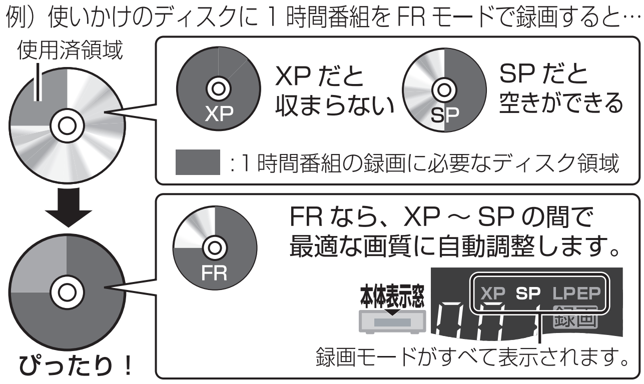
録画モードを高画質にするほど、録画番組の画質は向上しますが、ディスクの容量を多く使い、録画できる時間は少なくなります。



FR(フレキシブルレコーディング)

ディスクの残量に合わせて、XP〜EP(8H)の間で画質を自動調整します。HDD録画時に選ぶと、4.7 GBのディスクにぴったりダビングができるように調整します。

例)使いかけのディスクに 1 時間番組を FR モードで録画すると…



- ぴったり録画(➜21)やダビング、予約録画時にのみ設定できます。
- ディスクの残量によっては、予約した番組を最後まで録画できない場合があります。

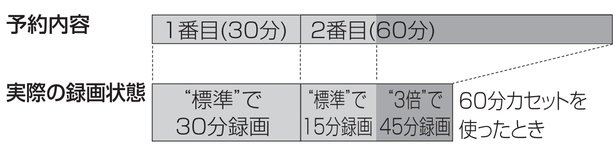
VHS に録画するとき

標準:カセットに表示されている時間の録画ができます。
3 倍:標準に対して3倍の録画ができます。
5 倍:標準に対して5倍の録画ができます。

5倍モードについて
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。
  カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

標準 3 倍(ぴったり録画)

予約録画時にのみ設定できます。
“標3”(標準3倍)を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。



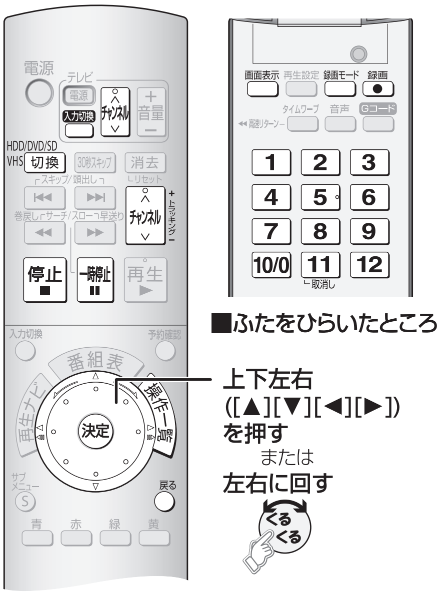
- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- 5倍モードでは働きません。
- 以下のときは正しく働かないことがあります。
  ･**初期設定**の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  ･品質の悪いカセットを使ったとき

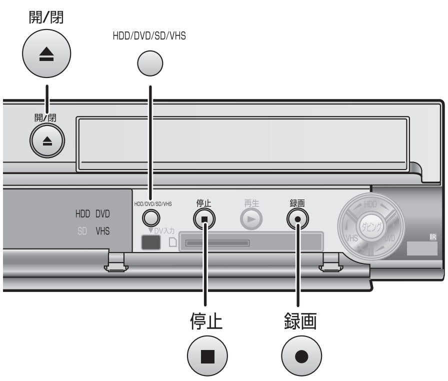
録画する

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(V)** **+R** **VHS**

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(準備編 P.25)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜17)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜17)





〇〇 お知らせ 〇〇

- 録画中にチャンネルや録画モードを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます。ただし、HDD/DVDに録画している場合、別番組として録画されます)
- **HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(V)** **+R** 番組表(Gガイド)(➜24)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。(3分以上録画した番組のみ)
- **VHS** 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。
- **VHS** テープの残量は、再生などの操作をしたあとに計算されます。カセットを入れた直後などは、本体表示窓に表示されません。



BSアナログ放送を VHSに録画することはできません。

1 [HDD/DVD/SD VHS 切換] を押して、録画先を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。

フォーマット確認画面が表示されたとき(➜78)



本体前面
例) **HDD** を選択

2 [チャンネル] または [1] ～ [12] (ふた内部) を押して、録画したいチャンネルを選ぶ



- [1]～[12]は、市外局番チャンネル設定一覧(準備編 P.28)に記載されているチャンネルポジション1～12 の放送局を選ぶことができます。(市外局番の入力で受信チャンネルを自動設定した方のみ)
- BS(アナログ)チャンネルは、**チャンネル** [∧][∨]を押して選んでください。(HDD/DVD 側のみ)

3 [録画モード] (ふた内部)を数回押して、録画モード(➜19)を選ぶ

「HDD」、「DVD」選択時
押すごとに XP ➜ SP ➜ LP ➜ EP

「VHS」選択時
押すごとに 標準 ➜ 3倍 ➜ 5倍



- 「XP」で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。**(記録音声モードの設定〔XP時〕➜84)**
- 「DVD」選択時に表示される残量は、本機におけるものです。他の機器では表示が異なることがあります。

4 [録画] (ふた内部)を押して、録画を始める

- 本体表示窓に経過時間が表示されます。



一時停止するには

[一時停止] を押す

- もう一度押すと録画を再開します。[録画] を押しても再開できます。(番組は分割されません)

録画をやめるには

[停止] を押す

- 録画開始した位置から停止した位置までを1番組として記録します。
- **-R(V)** **-RW(V)** **+R** [停止■]を押してから他の操作ができるようになるまでに、約30秒かかります。

録画中に操作先を切り換えて再生・録画するには

[HDD/DVD/SD VHS 切換] を押して他の操作先に切り換え、各種操作を行う

- HDDとDVDに、同時に録画することはできません。

録画中に、テレビ側でチャンネルを切り換えて別番組を見るには

① テレビ操作部の [入力切換] を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える

② テレビ操作部の [チャンネル] を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ

- 録画に影響はありません。
- 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

録画の便利な機能

録画の終了時間を指定する

終了時間予約録画

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 で録画中の操作先を選ぶ

2 本体の 録画 ● を押す

- 押すごとに録画終了時間が変わります。

録画経過時間 →30分後 → 1時間後 → 1時間 30分後
↑— 4時間後 ← 3時間後 ← 2時間後 —┘

- 本体表示窓は下図のように変わります。

例) HDD



解除するには

本体の 録画 ● を数回押し、"録画経過時間"を選ぶ(終了時間予約録画は解除されますが、録画は続けられます)

〇〇 お知らせ 〇〇

- リモコンの[録画●]では働きません。
- ぴったり録画時(➜下記)や予約録画中(➜24～27)は働きません。
- HDD/DVD側では、録画の一時停止中にチャンネルや録画モードを変更した場合、録画終了時間の設定は解除されます。
- 録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。

ディスクの残量に合わせて録画する

ぴったり録画

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

設定した時間に合わせて自動的に最適な画質 [FR(フレキシブルレコーディング)➜19] で録画できます。

左ページ手順 1,2 のあと、

1 停止中に、 操作一覧 を押す

- 操作一覧メニューが表示されます。

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、決定 を押す

4 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[▲][▼]で録画したい時間を設定する

- [1]～[10/0]も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

最大録画時間
EP(8H)モードで計算した残量時間です。

テレビ画面

ぴったり録画	
最適な録画レートで記録します。	
最大録画時間	8時間 00分
録画時間設定	8時間 00分
録画開始	キャンセル

5 [◀][▶]で「録画時間設定」に戻り、[▼][◀]で「録画開始」を選び、決定 を押す

- 録画が始まります。
- 本体表示窓の録画モードがすべて点灯します。



ぴったり録画の画面を消すには

戻る を押す

録画の残り時間を確認するには

① HDD/DVD/SD VHS 切換 で録画先を選ぶ

② 画面表示 (ふた内部)を押す

例) HDD

録画の残り時間

HDD
録画 ● 0:59
CH4
ステレオ L R

ディスク取り出し時に「他のDVD機器で再生」画面が表示されたら -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R (ファイナライズ前のディスクのみ)

停止中に本体の [開/閉▲] を押して録画済みのディスクを取り出そうとすると、下記画面が表示され、ファイナライズを行うか、行わずにディスクを取り出すかを選ぶことができます。ファイナライズを行うと、再生専用ディスクとなり、他のDVD機器で再生できるようになります。ただし、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

ファイナライズを行う場合

[録画●]を押す

- ファイナライズが実行されます。

ファイナライズを行わない場合

本体の[開/閉▲]を押す

- ディスクトレイが開きます。

他のDVD機器で再生(ファイナライズ)

このディスクは他のDVD機器で再生できる処理を行うことができます。処理を行うと記録や編集はできなくなります。処理には約〇分かかります。
処理を開始してもよろしいですか?

● 録画ボタンを押すと処理を開始します。

▲ 開/閉ボタンを押すと処理を終了します。処理を行わないで終了した場合、本機以外で再生できません。



- ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に DVD 管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➜80)

録る

録画する

予約録画について

録画しながら再生する

HDD RAM

本機では、録画を続けながら、録画中の番組や録画済みの番組を再生することができます。

録画中の番組を頭から見る
追っかけ再生

[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、録画中の操作先(「HDD」または「DVD」)を選んでおいてください。

録画中に、[再生▶]を押す

●早送り(早戻し)中、音声は出ません。

再生をやめるには

[停止■]を押す

●もう一度 [再生▶]を押すと、停止した位置から再生します。

録画をやめるには

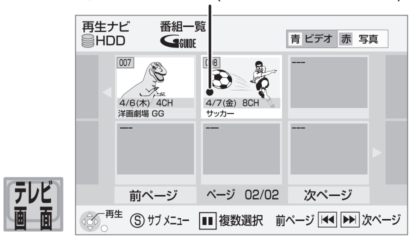
再生停止後、約2秒以上待って [停止■]を押す

録画中に他の録画済みの番組を見る
同時録画再生

1 [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、再生する操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ

2 録画中に、[再生ナビ]を押す

録画中の番組(●が表示されます)



3 [▲][▼][◀][▶]で再生したい番組を選び、[決定]を押す

再生をやめるには

[停止■]を押す

再生ナビ画面を消すには

[再生ナビ]を押す

録画をやめるには

① 再生停止後、[再生ナビ]を押して再生ナビ画面を消す

② (操作先を切り換えて再生していた場合)
[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、録画中の操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ

③ [停止■]を押す

再生ナビ画面の便利な機能について(➜33)

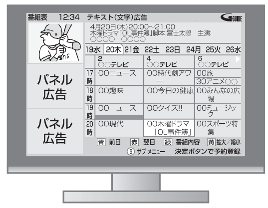
予約録画をやめるには(➜27)

●本機では、1カ月以内の番組を32番組(HDD、DVD、VHSの合計)まで予約できます。
[毎日・毎週予約(➜右ページ)は1番組として数えます]

●BSアナログ放送をVHSに録画予約することはできません。

予約方法には、以下の3つの方法があります。

番組表(G ガイド)から予約(➜24)



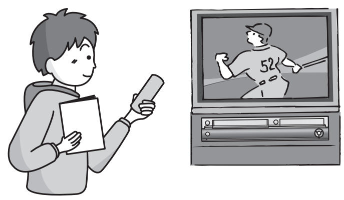
Gコード® 入力で予約(➜25)

新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字を入力して予約を行う方法です。



録画時間を指定して予約(➜26)

予約設定を手動で行う方法です。



Ir システムを使って録画する(➜31)

本機で予約録画を設定するとき…

録画先は自動的に「HDD」が選ばれます。

●DVD、VHSに録画したいときは、予約内容の修正が必要です。(➜26「時間指定予約画面」)

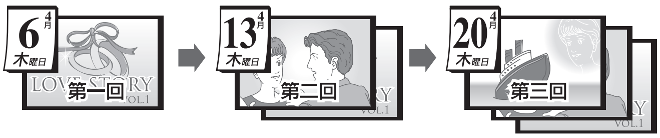
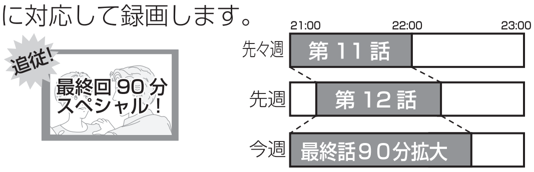
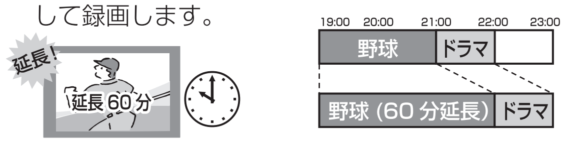
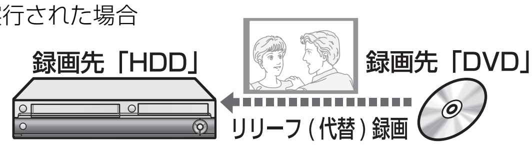
予約を登録すると、自動的に予約録画待機状態になります。

●予約の一時解除などは、予約一覧画面からサブメニュー操作で行います。(➜27)

●予約番組ごとに、個別に予約待機状態の入/切を設定することができます。(➜27)

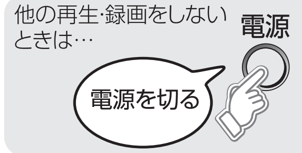


以下のような便利機能があります。

毎日・毎週録画と自動更新（オートリニューアル）録画 ➜26,28	連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。  **テープの録画開始位置にお気をつけください** VHS に録画するときは、テープの停止位置によって番組が上書きされます。 HDD に録画する場合は**自動更新 (オートリニューアル)** 録画を設定しておくと、前回の放送分は消去され、新たに番組を録画しますので、HDD の容量を効率よく使えます。 
予約番組の放送時間変更に対応（番組追従と野球延長） ➜28	**番組追従機能** 「ドラマを毎週予約していたが、時間変更があった。または最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応して録画します。  **野球延長対応機能** 「スポーツ中継が延長された。またはそれによって、後続の番組の開始時間が遅れた。」などの場合に対応して録画します。 
ディスクの残量不足に対応 [リリーフ (代替) 録画機能]	以下のような場合、**録画先が「DVD」の予約番組は、**自動的に録画先を「HDD」に変更して録画されます。 ●ディスク残量が足りない場合(トレイにディスクがない場合や録画できないディスクが入っている場合も含む) ●高速ダビング中(ファイナライズを含まない)に予約録画が実行された場合 ●リリーフ(代替)録画された番組には、HDDの再生ナビ画面上(➜33)で"↱"が表示されます。 ●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。 



正しく録画するためにお読みください

予約録画待機中に他の操作をするとき	**予約録画待機中でも、再生や録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されますが、以下の場合にお気をつけください。** ●HDD/DVD で録画中に HDD/DVD の予約時刻になったとき、HDD/DVD の録画は中断されます。 ●VHS で録画中に VHS の予約時刻になったとき、VHS の録画は中断されます。 **ただし、VHS で再生中に VHS の予約時刻になったときは、VHS の予約録画が解除されます。** **フォーマットやファイナライズなど、他の作業実行中は、録画先によっては予約録画が働かない場合があります。その場合、各作業の実行前の画面にメッセージが表示されますので、ご確認ください。** ●ダビング中のときは、ファイナライズを含まない高速ダビングの場合に限り、録画先を「HDD」、「DVD」に設定した予約録画のみ実行されます。
VHS への予約は、次のようなとき "予約実行入" 状態が自動的に解除されます	**本機のVHS側が予約録画できる状態になっていないときなど、以下の場合は予約時刻の約1分前に自動的に「予約実行切」（➜27）になります。カセットの状態など、予約の登録前によくご確認ください。** ●カセットが入っていないとき ●カセットの「つめ」（**➜18**）が折れているとき ●停止位置がテープの終端になっているとき ●VHS で再生中のとき (早送りや巻戻しなど、再生のいろいろな操作中を含む) ●フォーマットやファイナライズ、ダビングなどの実行中 **自動的に「予約実行切」になったときは…** ① 予約録画できる状態になっているか確認する ②「予約実行切」になった予約番組を、予約一覧から取り消す（**➜27**） ③ 再度予約を登録し直す（**➜24～26**）
予約録画は電源の切 / 入にかかわらず実行されます	**予約登録後、他の再生・録画などをしないときは、節電のため、本機の電源を「切」状態にすることをおすすめします。** 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。 (予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません。) 
予約時刻が重なっているとき	●前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じときは、次の番組の始まりが数秒間(-R(V) -RW(V) +R では約 30 秒間)録画されません。 ●HDD/DVD 側、または VHS 側で予約時刻が重なっている番組は、開始時刻の早い番組が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。

予約録画する



HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(V)** **+R** **VHS**

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(準備編 P.25)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜17)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜78)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜17)





■ふたをひらいたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す



前の画面に戻るには

[戻る] を押す

番組表(Gガイド)を消すには

[番組表] を押す

予約一覧画面を消すには

[予約確認] を押す

- 約1分そのままにしたときは、[予約確認]を押さなくても消えます。

予約録画をやめるには(➜27)

予約の確認、修正をするには(➜27)

音声ガイドをやめるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜82)

番組表(Gガイド)を使って予約録画する

予約したい番組を、番組表(Gガイド)から選ぶだけで予約できます。また、毎週予約もワンタッチで設定することができます。

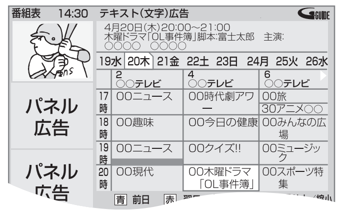
番組表(Gガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。詳しくは、別冊の取扱説明書 準備編をご覧ください。

- 番組表予約では、HDDまたはDVDと、VHSで同じ番組を予約することはできません。

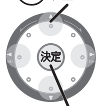
1 [番組表] を押す

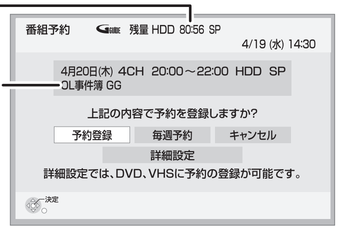
番組表(Gガイド)の見かた
(➜右ページ)





2 予約したい番組を選び、[決定] を押す





- 予約内容を確認し、必要なときは各種項目を設定してください。
- 番組名には"GG"(Gガイド)が付きます。
  [N (ニュース)などの特殊な文字は入りません]
- 「録画先」は自動的に「HDD」が選ばれます。
- 録画モードは操作前に選ばれていたモードに設定されます。
  ただし、HDD/DVD側の録画モードを「XP」に設定していたときは、残量不足による録画の失敗を防ぐために、自動で「FR」に設定されます。「XP」で録画する場合は、手順3で「詳細設定」を選び、録画モードを選び直してください。

3 項目を選び、[決定] を押す



予約登録: 録画先を **HDD** に設定し、予約を登録します。

毎週予約: 録画先を **HDD** に設定し、毎週予約が登録されます。(➜28)
- HDD以外の録画先に毎週予約を設定する場合は、「詳細設定」を選び、「時間指定予約」画面上で設定します。[➜26"予約内容を設定する(時間指定予約画面)"]

詳細設定: 「時間指定予約」画面に移ります。DVD、VHSに予約したいときや、その他予約内容を変更したいときに選んでください。
[➜26"予約内容を設定する(時間指定予約画面)"]
- 設定を変更したら、[決定] を押して登録します。

- 番組表(Gガイド)上で、予約した番組に"予"が表示され、予約待機状態になります。(本体表示窓の"◷"が点灯)
- 続けて予約する場合は手順2へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます)

予約を取り消すには

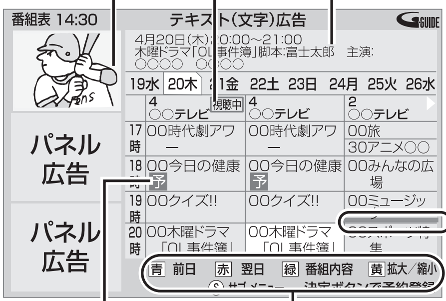
① 番組表(Gガイド)上で、[▲][▼][◀][▶]で取り消したい番組("予"が表示されている番組)を選び、[決定] を押す
- 予約取り消しの確認画面が表示されます。

② 「予約取消し」が選ばれた状態で、[決定] を押す
- "予"が消えます。

番組表(G ガイド)の見かた

番組表を表示する前に見ていたチャンネル、またはHDD/DVDで録画中のチャンネル※1の映像と放送局

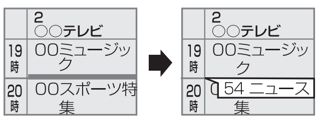
選択中の番組の紹介



予: 予約した番組

リモコンボタンの働き(詳しくは➜下記)

5分番組などの短い番組※2
短い番組は太い線で表示されます。
選ぶと、番組情報が表示されます。



放送局の表示順について

番組表を表示する前に見ていた放送局(視聴中のチャンネル)、またはHDD/DVDで録画中の放送局※1が一番左に追加表示され、番組表(Gガイド)のデータを送信する放送局(ホスト局)が左から２番目に追加表示されます。左から３番目以降はチャンネルポジション順に表示されます。そのため、画面内に同じ放送局が 2 つ表示される場合があります。

※1 「VHS」選択中に番組表(Gガイド)を表示させたとき
※2 受信した番組表(Gガイド)のデータによっては、前またはあとの番組といっしょになって、1つの番組として表示されることがあります。その場合は、開始時刻または終了時刻を修正して目的の番組を予約してください。

☞別の日の番組表(Gガイド)を見る
青 (前日)または 赤 (翌日)を押す

☞1画面に表示されるチャンネル数を変更する
黄 (拡大 / 縮小)を押す
- 押すごとに、3、5、7チャンネル表示に切り換わります。

☞番組の詳しい内容を見る
番組を選び、緑 (番組内容)を押す

☞選んだチャンネルに切り換えてテレビを見る
番組を選び、停止■ を押す
- 現在放送中の番組を見ることができます。
- 録画中は、録画チャンネル以外に切り換えることはできません。
- 「VHS」選択中は、BS(アナログ)チャンネルに切り換えることはできません。

Gコード®入力を使って予約録画する

Gコード® を入力するだけで予約できます。

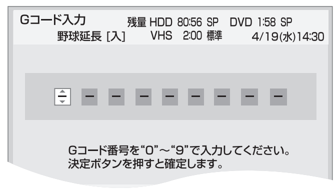
予約を正しく行うために、別冊の取扱説明書 準備編をご覧になり、ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。

- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。

1 Gコード(ふた内部)を押す

- Gコード入力画面が表示されます。

テレビ画面



2 1 ～ 10/0 (ふた内部)で Gコード番号を入力する

- [▲][▼]で数字を選び、[▶]を押しても入力することができます。



☞Gコード番号を間違えたときは
[◀]または[11/取消し]を押して、再度入力する

3 決定 を押す

- 予約内容を確認してください。

残量をご確認ください
(テープ残量の表示については ➜43)



- 「録画先」は自動的に「HDD」が選ばれます。
- 録画モードは操作前に選ばれていたモードに設定されます。
ただし、HDD/DVD側の録画モードを「XP」に設定していたときは、残量不足による録画の失敗を防ぐために、自動で「FR」に設定されます。「XP」で録画する場合は、録画モードを選び直してください。[➜26"予約内容を設定する(時間指定予約画面)"]

☞予約内容を変更するには
[➜26"予約内容を設定する (時間指定予約画面)"]

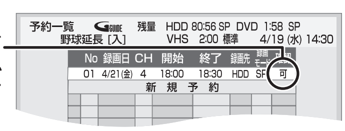
☞「CH」の項目が「G――」になっているときは
ガイドチャンネルが正しく設定されていません。
「CH」が選ばれている状態で、[▲] [▼] で予約したいチャンネルに合わせる
- 予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。(準備編 P.21)

☞番組名入力をするには
[◀][▶]で「番組名入力」を選んで 決定 を押し、文字入力する
- 文字入力について(➜81)
- 入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を３分以上録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。(HDD/DVDのみ)

4 決定 を押す

- 予約一覧画面が表示され、予約待機状態になります。(本体表示窓の"⏲"が点灯)

HDD または DVD への予約番組で、「可」や「月 / 日迄」が表示されていないときは、ディスクの残量などを確認してください。※



※ VHSへの予約番組では、この欄の表示は「――」になります。

- 続けて予約する場合は手順1 へ戻ります。

☞予約一覧画面のアイコン表示について(➜102)

☞予約を取り消すには(➜27)

録る

予約録画する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(準備編 P.25)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜17)(**フォーマット確認画面が表示されたとき ➜78**)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜17)





■ふたをひらいたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す



前の画面に戻るには

戻る を押す

予約一覧画面を消すには

予約確認 を押す

- 約1分そのままにしたときは、[予約確認]を押さなくても消えます。

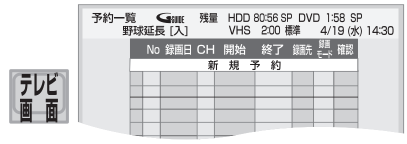
録画時間を指定して予約録画する　マニュアル予約

予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

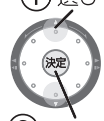
1 予約確認 を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

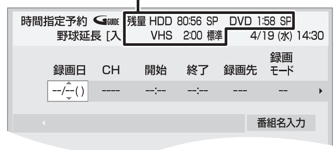
テレビ画面



2 「新規予約」を選び、決定 を押す



残量をご確認ください
(テープ残量の表示については ➜43)



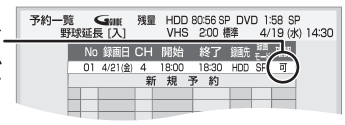
3 予約内容を設定する

[➜ 下記"予約内容を設定する (時間指定予約画面)"へ]

4 決定 を押す

- 予約一覧画面が表示され、予約待機状態になります。(本体表示窓の"◷"が点灯)

HDD または DVD への予約番組で、「可」や「月 / 日迄」が表示されていないときは、ディスクの残量などを確認してください。※



※ VHSへの予約番組では、この欄の表示は「ーー」になります。

- 続けて予約する場合は手順2へ戻ります。

予約一覧画面のアイコン表示について(➜102)

予約内容を設定する(時間指定予約画面)

[◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で設定する

[1] ~ [10/0] でも選べます
- 「開始」「終了」は [▲] または [▼] を押したままにすると 30 分単位で変更できます。

[HDD/DVD/SD/ＶＨＳ切換] でも選べます
- BS チャンネルの場合は、「VHS」は選べません。HDD または DVD に録画してください。

[録画モード] でも選べます



録画の自動更新(オートリニューアル)(➜28)を設定します。
- 録画先が HDD で、毎日・毎週予約を設定すると表示されます。

[▲] または [▼] を押すごとに、以下のように変わります。

1ヵ月以内の日付を指定 ⟷ 毎日 ⟷ 毎週同じ曜日

毎日 ⟷ 月~土 ⟷ 月~金

「毎週」または「毎日」を選ぶと、**毎日・毎週予約の**設定ができます。(➜28)

[◀][▶]で選んだあと[決定] を押し、文字入力します。
- 文字入力について(➜81)
- 入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を3分以上録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。(HDD/DVD のみ)
- VHS 録画先がVHSの場合、入力された番組名は予約一覧画面でのみ表示されます。録画しても番組名は記録されません。

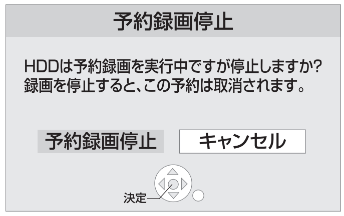
- 予約画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。(選んでいる録画モードで計算されます)録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。(VHS カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません)

予約録画をやめる､予約内容を確認する･取り消す･修正する

予約録画を途中でやめる

1 [HDD/DVD/SD VHS 切換] を押して予約録画中の操作先を選び、[停止 ■] を押す

2 [◀] で｢予約録画停止｣を選び、[決定] を押す



例） HDD の予約録画をやめる

お知らせ

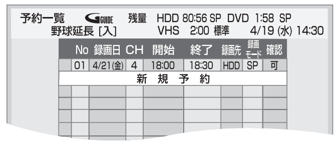
- 予約録画をやめると、予約内容は取り消されます。ただし毎日･毎週予約を設定しているときは、次回からの予約が実行されます。
- VHSの予約録画を停止させるとき、HDD/DVDで録画中の場合は画面の背景が黒くなります。

テレビ画面

予約内容を確認する･取り消す･予約の実行をやめる（一時解除）

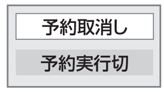
- 本体の電源が｢切｣の状態でも操作できます。

1 [予約確認] を押す

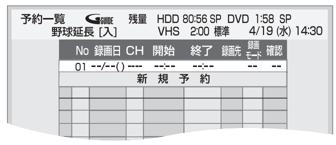


- 予約一覧画面が表示され、予約状況が絵表示などで確認できます。
(➜102“アイコン一覧”)
- 実行できなかった予約は灰色で表示され、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。

2 [▲][▼] で予約番組を選び、[サブメニュー S] を押す



3 予約を取り消すには：
[▲][▼] で｢予約取消し｣を選び、[決定] を押す



- 予約一覧から予約内容が消えます。
- [11/ 取消し] を押しても、取り消すことができます。

予約の実行をやめるには：
[▲][▼] で｢予約実行切｣を選び、[決定] を押す

- 予約内容に“ ”が付きます。
- もう一度 **[サブメニュー]** を押して｢予約実行入｣を選ぶと、待機状態に戻ります。
- ｢予約実行入｣にしておかないと、予約録画は実行されません。

お知らせ

- 上記の手順**2**で予約録画実行中の番組を選んだ場合は、**[サブメニュー]** を押すと｢予約録画停止｣の項目が表示されます。｢予約録画停止｣を選んで **[決定]** を押すと、録画を停止し、予約内容は取り消されます。
ただし毎日･毎週予約を設定しているときは、次回からの予約が実行されます。

予約内容を修正する

- 本体の電源が｢切｣の状態でも操作できます。

1 [予約確認] を押す

2 [▲][▼] で予約番組を選び、[決定] を押す

3 [◀][▶]で修正したい項目を選び、[▲][▼]で予約内容を修正する



- 予約録画中の番組でも、録画モードが｢FR｣のときや、野球延長対応機能(➜28)で延長部分を録画中の場合を除いて、予約終了時刻の変更ができます。
- 毎日･毎週予約、自動更新(オートリニューアル)については、28 ページをご覧ください。

4 [決定] を押す

本体表示窓の“◷”表示について

上記の操作で｢予約録画停止｣や｢予約取消し｣を選び、HDD/DVDへの予約登録がすべてなくなった場合、またはHDD/DVDへの予約登録をすべて｢予約実行切｣にした場合は、本体表示窓HDD/DVD側の“◷”が消灯します。VHSへの予約登録がすべてなくなった場合、またはVHSへの予約登録をすべて｢予約実行切｣にした場合は、本体表示窓VHS側の“◷”が消灯します。



例） HDD 選択中

予約録画の便利な機能

録画を毎日・毎週予約する

設定しておくと、連続ドラマなどの番組を自動的に毎日または毎週録画します。

設定方法は [➜26"予約内容を設定する(時間指定予約画面)"]

● HDD 前回の番組を消去し、新たに録画するには(➜ 下記)

録画を自動更新する

オートリニューアル

HDD

●HDDに毎日・毎週予約を設定したときのみ設定できます。

毎日・毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画します(自動更新)ので、HDD容量を効率よく使って録画することができます。

設定方法は [➜26"予約内容を設定する(時間指定予約画面)"]

●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

●番組が自動更新されると、前回録画した番組から作られたプレイリスト(➜51)は消去されます。

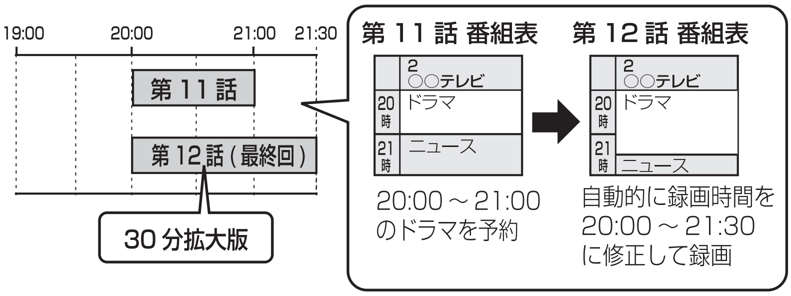
●HDDの残量が少ないと、番組の最後まで更新されないことがあります。

番組追従機能

●番組表(Gガイド)から予約した番組にのみ働きます。

予約後に番組の放送時間が変更になっても、番組表が更新されると、番組追従機能が働き、録画時間を自動的に変更します。ドラマなどの番組を毎日・毎週予約したときなどに便利です。

例)連続ドラマの最終回が 30 分拡大版だった。



予約番組が番組追従されるかどうか確認するには

番組追従機能の対象番組には、予約一覧画面の番組名欄に [追従] が表示されます。(➜ 102)

番組追従機能を無効にするには

初期設定「番組追従」を「切」に設定する(➜83)

●予約した番組すべてに対して番組追従が働かなくなります。

お知らせ

●以下の番組には正しく働かないことがあります。
・「番組名」を著しく変更した番組
・番組表データの更新によって、番組名が予約時から著しく変わった番組

●以下の番組には働きません。
・「CH」「開始」「終了」を変更した番組
・「番組名」をすべて消去した番組
・放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の時間変更があった番組

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決めます。開始時刻の早い番組の録画が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。

野球延長対応機能

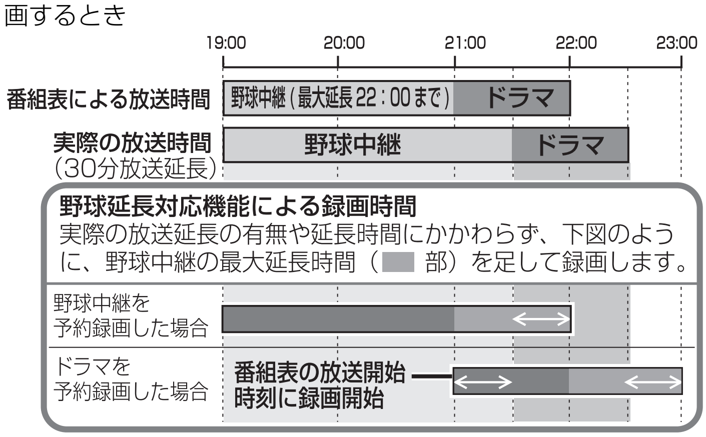
●番組表(Gガイド)から予約した番組、Gコード®予約/マニュアル予約した番組に対して働きます。

●マニュアル予約の場合、予約時間内に対象番組(またはその一部)が含まれている場合に働きます。

スポーツ中継の延長によって予約番組の放送終了時間が遅れたとき、自動的に延長録画して、録画の失敗を防ぎます。

●19時から21時までの間に放送される野球やサッカーなどのスポーツ番組が番組表に延長情報を含む場合、同じチャンネルの翌朝5時までの番組に働きます。

例)延長情報を含む野球中継、または同じチャンネルのドラマを予約録画するとき



(←→部は、この場合不要な録画部分となります。編集機能で消去できます)

予約番組が延長録画されるかどうか確認するには

野球延長対応機能の対象番組には、予約一覧画面で 延 が表示されます。(➜ 102)

野球延長対応機能を無効にするには

初期設定「野球延長」を「切」に設定する(➜83)

●予約した番組すべてに対して野球延長対応機能が働かなくなります。

お知らせ

●120分以上の放送延長部分は録画されません。

●延長情報に、最大何時まで延長するかの情報が含まれていない場合(例:試合終了まで放送延長の場合など)は、**初期設定**「延長時間」で設定された時間分、録画時間を延長します。(➜83)

●本機で検出できない言葉を含んでいる場合など、番組表データの内容によっては、延長情報を含んでいても正しく働かない場合があります。

●延長録画時間が別の予約番組と重なった場合は、延長部分の録画よりも新たに始まる予約録画を優先します。延長部分の録画は途中で終了します。

●録画した番組前後の不要な部分(➜左図)を編集機能で消去するには(部分消去 ➜49)

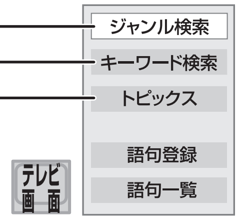
●番組追従機能、野球延長対応機能は当社独自の機能です。G ガイド固有の機能ではありません。

番組表(G ガイド)の便利な機能

ジャンル/キーワードで番組を探して予約する、トピックス(映画、音楽、スポーツなどの簡単な情報)を見る

1 番組表(G ガイド)(➜24 手順 1 のあと)**上で、サブメニュー(S) を押す**

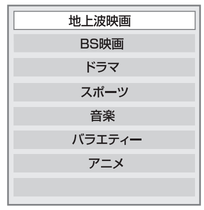
「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルから番組を検索します。— ジャンル検索
お客様の登録した語句(最大登録数:8)で番組を検索します。— キーワード検索
番組の見どころなど、簡単な情報を見ます。トピックスから番組予約はできません。— トピックス



2 [▲] [▼] で項目を選び、(決定) を押す

3 [▲] [▼] で項目を選び、(決定) を押す

- 番組の検索結果が表示されます。
- 「ジャンル検索」を選んだ場合は、さらに [▲] [▼] で項目を選び、[決定] を押します。



例）ジャンル検索

「キーワード検索」の「新規登録」を選んだ場合は
"文字入力"(➜81)に進み、キーワードを入力する

別の日の検索結果を表示するには
(青)(前日)または(赤)(翌日)を押す

4 [▲] [▼] で予約したい番組を選び、(決定) を押す(➜24 手順 3 へ)

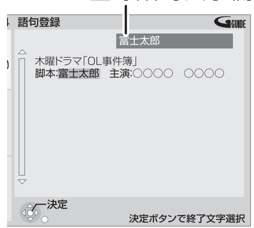
語句を登録する

番組表(Gガイド)上の語句を語句一覧に登録しておくと、文字入力やキーワード検索のときに呼び出すことができ、便利です。

1 番組表(G ガイド)(➜24 手順 1 のあと)**上で、**
[▲] [▼] [◀] [▶] で登録したい語句が表示されている番組を選び、サブメニュー(S) を押す

2 [▲] [▼] で「語句登録」を選び、(決定) を押す

登録語句表示欄



3 [▲] [▼] [◀] [▶] で登録開始文字を選び、(決定) を押す

4 [▲] [▼] [◀] [▶] で登録終了文字を選び、(決定) を押す

5 [◀] で「登録」を選び、(決定) を押す

登録できる語句数:20個まで
登録できる文字数(1 個あたり):半角　登録開始文字から 20 文字
その他　登録開始文字から 10 文字

登録語句を消去する

1 番組表(G ガイド)(➜24 手順 1 のあと)**上で、サブメニュー(S) を押す**

2 [▲] [▼] で「語句一覧」を選び、(決定) を押す

- 登録語句が一覧表示されます。

3 [▲] [▼] [◀] [▶] で消去したい語句を選び、サブメニュー(S) を押す

4「語句消去」が選ばれている状態で、(決定) を押す

5 [◀] で「消去」を選び、(決定) を押す

前の画面に戻るには
(戻る) を押す

番組表(Gガイド)を消すには
(番組表) を押す

外部入力からデジタル放送やCATV放送などを録画する

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(V)** **+R** **VHS**

本機はデジタル放送に対応していません。録画するには、以下の機器と接続してください。接続方法については、別冊の取扱説明書 準備編をご覧ください。

- BSデジタルチューナー内蔵テレビ
- 地上デジタル·BS·CSデジタルチューナー
- CATVホームターミナル

準備

- 本体の外部入力(L1、L2、L3)にデジタルチューナー内蔵機器やホームターミナルなどを接続する。(準備編 P.10,13)
  外部入力 3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定する。(➜85)
- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して、録画先を選ぶ。(➜14)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(準備編 P.25)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜17)(**フォーマット確認画面が表示されたとき** ➜78)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れ(➜17)、録画開始点を探しておく。

お知らせ

- テレビのモニター出力から録画する場合は、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。
- デジタルハイビジョン画質での録画はできません。

録画をやめるには

[停止 ■] を押す

ディスクの残量に合わせて録画するには

ぴったり録画(➜21)

デジタル放送の録画について(➜12)

二重放送の音声をHDDまたはディスクに録音するとき

- **初期設定**「外部入力の音声」を「二重音声」にしてください。(➜84)
- **-R(V)** **-RW(V)** **+R** に録画するときや、**初期設定**「高速ダビング用録画」(➜83)が「入」のときは、**初期設定**「二重放送音声記録」で記録する音声を選んでください。(➜84)
- うまく音声を選べない場合(➜ **右記**)

デジタル放送をディスクに録画するときは

HDD またはCPRM対応の **RAM** **-R(VR)** ※を使用してください。**-R(V)** **-RW(V)** **+R** には録画できません。(➜12)

(※録画前にフォーマットが必要です ➜79)



1 [入力切換] を数回押して、デジタルチューナー内蔵機器などを接続した外部入力チャンネルを選ぶ

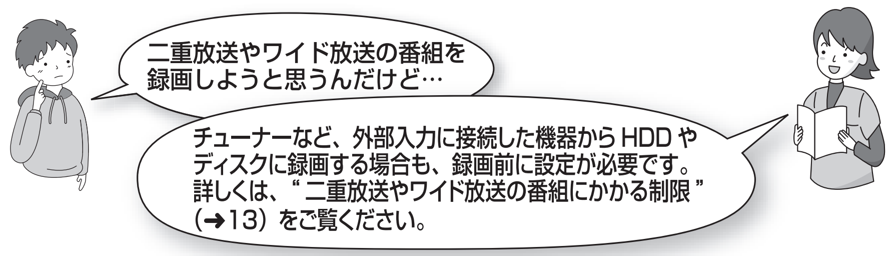
L1: 外部入力1端子(背面)に接続したとき
L2: 外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3: 外部入力3端子(背面)に接続したとき

- チャンネル[∧][∨] を押しても選べます。

2 [録画モード] (ふた内部)を数回押して、録画モード(➜19)を選ぶ

3 チューナーなど接続した機器側で、録画したいチャンネルを選ぶ

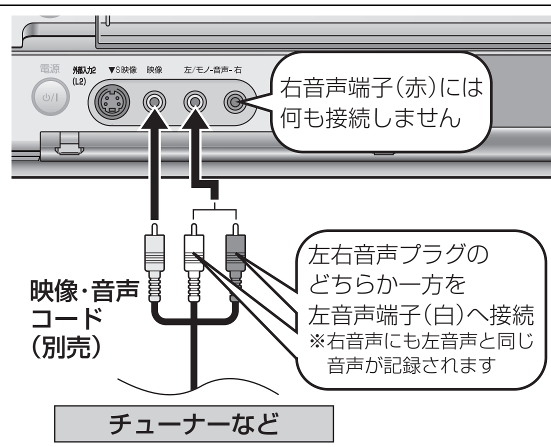
4 [録画 ●] (ふた内部)を押して、録画を始める



接続した機器側で音声を選べない場合

録画前に、チューナーなどからの映像·音声コードを本機前面のL2端子に接続し直す

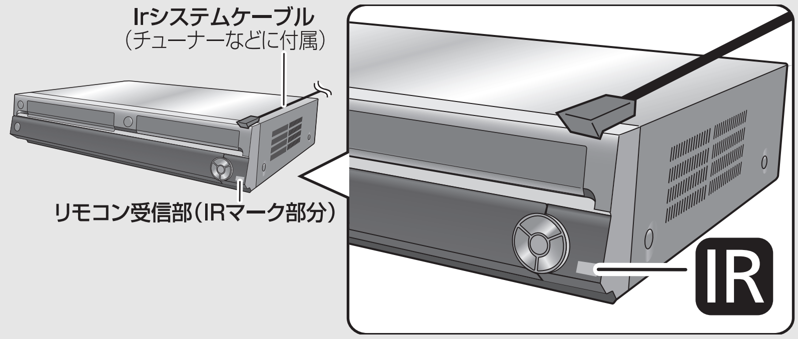
- 左右の音声プラグからそれぞれ主または副音声が出力されます。接続後、両方のスピーカーから記録したい音声が出るか確認してください。
- L2端子以外の端子で上記の接続を行うと、再生時、片方のスピーカーからしか音声が出ません。



Ir（アイアール）システムを使って録画する

本機は、当社製チューナー、またはチューナー内蔵テレビのIrシステム(➜89)に対応しています。Ir システムを使うと、接続機器側で受信している放送を、本機で予約録画(連動予約またはタイマー予約)することができます。

Irシステムケーブルの設置例



- 当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビなどの Ir システムを使用する場合は、本機で設定したリモコンモード(準備編 P.25)に、Ir システムのリモコン種別を合わせてください。
- Irシステムの設置・設定・操作はチューナーなどの説明書をご覧ください。

1 本機の外部入力端子(L1、L2、L3)とチューナーなどの出力端子を接続し、Irシステムケーブルを接続する(➜ 上記)

2 チューナー側で Ir システムの設定を行う

☞HDDまたはDVDに予約録画するとき
リモコン種別を「DVD レコーダー(1、2…)」にする

☞VHS に予約録画するとき
リモコン種別を「ビデオ(1、2…)」にする

- その他の設定やリモコン種別の詳細については、チューナーやチューナー内蔵テレビなどの説明書をご覧ください。

3 チューナー側で予約の設定を行う

4 予約方法に合わせて、本機の操作と確認を行う

☞連動予約のとき

① [HDD/DVD/SD/VHS 切換] で録画先 (「HDD」、「DVD」、「VHS」) を設定する(➜14)
② [録画モード] で録画モードを設定する
③ [入力切換] で接続した外部入力端子(L1、L2、L3)を選び、本機の電源を切る

☞タイマー予約のとき

- 予約待機状態であることを確認する。(本体表示窓の“⏲”点灯)
- Irシステムのリモコン種別が「DVDレコーダー(1、2…)」になっている場合、録画先は自動的に「HDD」が選ばれます。
- 録画先(HDD/DVD間)、録画モードの変更や、予約内容を確認するには(➜27)

予約時刻になると、録画が開始されます。



お知らせ

- チューナーなどのIrシステムがDVDレコーダーまたはビデオに対応していることをご確認ください。
- Ir システムのリモコン種別「1、2…」は、本機のリモコンモード番号に合わせても機器が動作しない場合、動作する番号に合わせてください。
- 本機が動作中に予約登録を行うと、正しく登録できない場合があります。
- Irシステムで設定した連動予約の録画中に、本機で設定した予約録画開始時刻になると、本機の予約録画が実行され、連動予約の録画は中断されます。連動予約を行うときは、本機で設定した予約の待機状態をすべて解除(本体表示窓の“⏲”消灯)しておくことをおすすめします。(➜27)
- 連動予約の場合、チューナーなどから連動予約の信号を受けて本機が起動するまでに時間がかかるため、番組の先頭部分が録画されない場合があります。チューナー側で予約を設定する際に、録画開始時刻を多少早めに設定しておくことをおすすめします。

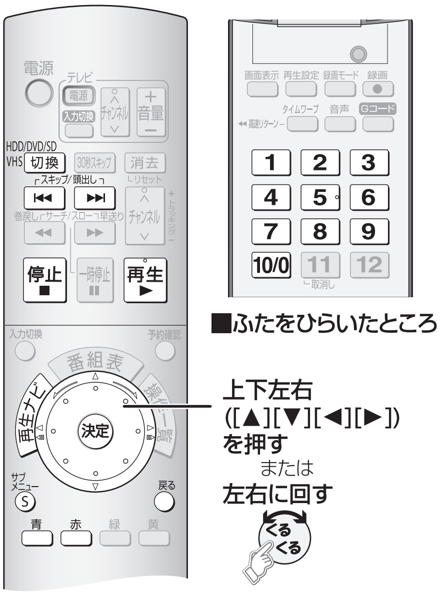
HDD・ディスクを再生する

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** **DVD-V** **DVD-A** **VCD** **CD** **-RW(VR)**

●+RW も再生できます。

準備

●テレビに本機の画面を出す。(➜16)
●DVDを再生する場合は、ディスクを入れる。(➜17)



お知らせ

●録画中でも **HDD** **RAM** の再生はできます。また、[HDD/DVD/SD/VHS 切換]で操作先を切り換えて再生することもできます。
●カートリッジ付きディスクの場合、誤消去防止(プロテクト)(➜79)を設定しているときは、ディスクを入れると自動的に再生が始まります。(停止中、またはHDD、VHSで録画中)
●ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
●メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[停止■]を押して停止させてください。
●**-R DL(VR)** **-R DL(V)** は、層の変わり目で映像や音声が一瞬止まることがあります。(詳しくは ➜5)

映像が縦に引き伸ばされているとき

以下のように録画・ダビングした場合、16:9映像は 4:3 映像で記録されます。(テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください)

●**初期設定**「高速ダビング用録画」(➜83)を「入」にして録画、または1倍速ダビングした場合(お買い上げ時の設定は「入」です)
●**-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** に録画・ダビングした場合

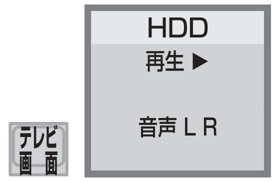
1 [HDD/DVD/SD VHS 切換] を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

●本体のランプが点灯します。



本体前面
例) **HDD** を選択

2 [再生 ▶] を押して再生を始める



HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** **-RW(VR)**:
最後に録画された番組から再生します。

DVD-V **DVD-A** **VCD**:
ディスクが指定した位置から再生します。

CD:
トラック 1 から再生します。

●続き再生メモリー機能(➜34"停止")が働いている場合は、停止した位置から再生します。

メニュー画面が表示されたとき

市販のDVDディスクなどを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

DVD-V **DVD-A**

[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、(決定)を押す

●[1]～[10/0]で項目を選べるディスクもあります。(選びかた➜下記)

VCD

[1] ～ [10/0] (ふた内部)で項目を選ぶ(2けた)

例) 5の場合…[10/0]→[5]
15の場合…[1]→[5]

再生の途中でメニュー画面を表示させるには

DVD-V: [再生ナビ] または [サブメニュー S] を押す

DVD-A: [再生ナビ] を押す

VCD: [戻る] を押す

SDカードのMPEG2動画の再生について

当社製SDビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を見るには、まずHDDなどにダビングしてください。(➜68)

●SDカードから直接再生することはできません。

再生ナビから再生する

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** **-RW(VR)**

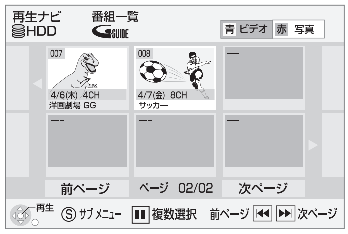
●+RW も再生できます。
録画した番組を、一覧表から簡単に選んで再生することができます。

1 HDD/DVD/SD VHS [切換] **を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ**

2 [再生ナビ] **を押す**

●録画した番組が一覧表示されます。

例) **HDD**



テレビ画面

☞**「アルバム一覧」が表示されたとき HDD RAM**

青 (ビデオ)を押して、「番組一覧」に切り換える

●[サブメニュー] を使って切り換えることもできます。(➜ 下記)

3 **[▲][▼][◀][▶]で番組を選び、(決定) を押す**

●選んだ番組の再生が始まります。

☞**前後のページを表示するには**

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

●[▲][▼][◀][▶]で "前ページ" または "次ページ" を選び、[決定] を押しても、ページの切り換えができます。

☞**再生ナビ画面を消すには**

[再生ナビ] **を押す**

☞**再生ナビ画面のアイコン表示について(➜102)**

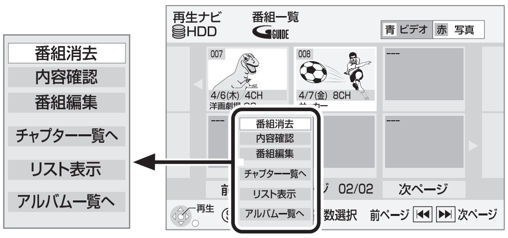
再生ナビ画面の便利な機能

再生ナビ画面では、サブメニューを使用して、番組の並び替えや他の画像への切り換えなどの操作を行うことができます。

再生ナビ画面上で、サブメニュー (S) を押す

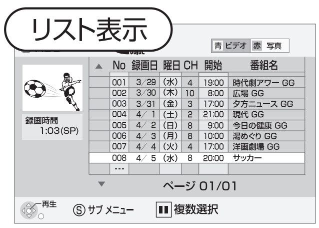
サブメニューが表示されます。
以降各項目の操作をしてください。

例) **HDD**



☞**番組一覧の表示方法を変更する(リスト表示 / サムネイル表示)**

[▲][▼]で「リスト表示」または「サムネイル表示」を選び、
[決定] を押す(設定は電源を切っても保持されます)





☞**項目ごとにリストを並び替える HDD** (リスト表示時のみ)

たくさんの番組の中から再生したい番組を探すときなどに便利です。

① **[▲][▼]で「並び替え」を選び、[決定] を押す**

② **[▲][▼]で項目を選び、[決定] を押す**

●それぞれの項目に並び替えられます。

●再生ナビ画面を消したり、「アルバム一覧」画面に切り換えると取り消されます。

●「No」以外の項目で並び替えているときは

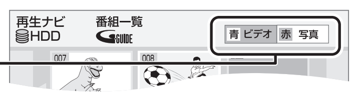
・選んだ番組の再生が終わると再生ナビ画面に戻ります。(連続再生はできません)
・スキップ(➜34)やタイムワープ(➜35)は、再生中の番組内でのみ働きます。

☞**他の画像の一覧に切り換える HDD RAM**

「番組一覧」または「アルバム一覧」(写真) 画面に切り換えることができます。

[▲][▼]で「番組一覧へ」または「アルバム一覧へ」を選び、[決定] を押す

●**[青](ビデオ)**または**[赤](写真)**を押して、切り換えることもできます。



見る/聞く
HDD・ディスクを再生する

再生中のいろいろな操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD CD -RW(VR)

停止

[停止■] を押す

止めた位置を一時的に記憶します。**(続き再生メモリー機能)**

[再生▶] を押すと、止めた位置から再生します。

- 停止された位置のみが記憶されます。番組単位で記憶はされません。
- 記憶した位置は、以下の場合解除されます。
  - ・数回 **[停止■]** を押す。
  - ・トレイを開ける。(HDD を除く)
  - ・ DVD-A VCD CD 電源を切る。
  - ・録画や予約録画を行った場合。
- **[停止■]**を押すと右のような画面が表示されることがあります。このあと、もう一度**[停止■]**を押すと、本機で受信しているテレビ放送を見ることができます。

[テレビ画面]



一時停止(静止画)

[一時停止 ❚❚] を押す

- もう一度押す、または **[再生▶]** を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し(サーチ)

[巻戻し/サーチ/スロー ◀◀] または [サーチ/スロー/早送り ▶▶] を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります [5段階 (+R は3段階)]。

- マルチジョグの左回し/右回しでも動作します(VCD 、 CD では動作しません)。1クリック回すごとに速度が速くなります [5段階 (+R は3段階)]。速度を遅くすることはできません。
- **[再生▶]** で通常再生に戻ります。
- 早送り1速時のみ音声が出ます。 DVD-A (動画部以外)、 CD (MP3 含む)ではすべての速度で音声が出ます。
- ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。

スキップ

再生中または一時停止中に、[スキップ/頭出し ❙◀◀] または [スキップ/頭出し ▶▶❙] を押す

押した回数だけ番組、場面や曲を飛び越して再生します。

ダイレクト再生

[1] ～ [10/0] (ふた内部)で番組や曲の番号を入力する

- 停止中(右の画面表示中)のみ働くディスクもあります。



HDD の番組、 CD のMP3、写真(JPEG や TIFF)	**3けたで入力** 例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5] 15の場合…[10/0]→[1]→[5]
写真(JPEG や TIFF)が入っているディスク(CD は除く)	**4けたで入力** 例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[10/0]→[5] 15の場合…[10/0]→[10/0]→[1]→[5]
DVD-A のグループ	**停止中(上の画面表示中)に1けたで入力** 例) 5の場合…[5]
それ以外のディスク、 DVD-A のトラック	**2けたで入力** 例) 5の場合…[10/0]→[5]、 15の場合…[1]→[5] ●プレイバックコントロール(➜89"PBC")付き VCD では、停止中(上の画面表示中)にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。(本体表示窓の"PBC"が消えます)

早見再生(1.3倍速)

HDD RAM

[再生▶] を約1秒以上押したままにする

通常の再生よりも速い速度で再生します。

- もう一度 **[再生▶]** を押すと、通常の再生に戻ります。
- 早見再生中は、自動CM早送り(➜37)は働きません。

スロー再生
●CD を除く
●DVD-A は動画部のみ

一時停止中に、[巻戻し/サーチ/スロー ◀◀] または [サーチ/スロー/早送り ▶▶] を押す

押すごとに速度が速くなります（5段階）。

●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します（VCD では動作しません）。1クリック回すごとに速度が速くなります（5段階）。速度を遅くすることはできません。
●[再生▶] で通常再生に戻ります。
●VCD は送り方向 [▶▶] にのみ働きます。
●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。（DVD-V DVD-A VCD を除く）

コマ送り/コマ戻し
●CD を除く
●DVD-A は動画部のみ

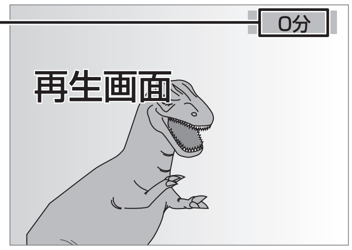
一時停止中に、[◀❚❚] または [❚❚▶] を押す

押すごとに1コマずつ送り（戻し）ます。

●押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。
●[再生▶] で通常再生に戻ります。
●VCD は送り方向 [❚❚▶] にのみ働きます。

時間を指定して飛び越す
タイムワープ
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)

1 [◀◀ 高速リターン− タイムワープ] （ふた内部）を押す



飛び越し時間表示
約5秒たつと自動的に消えます。
（飛び越し時間表示が消えると設定はできなくなります）

2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼] で飛び越す時間を設定し、(決定) を押す

●飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度 [タイムワープ] を押してください。
●[▲][▼] を押すごとに1分ずつ（押し続けると10分ずつ）送り [▲]、戻し [▼] します。

30秒先へスキップする
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)

[30秒スキップ] を押す

押すごとに、約30秒飛び越して再生します。

●自動CM早送り（➜37）が働かないときなどに使うと便利です。

操作の状態を確認する（情報表示）

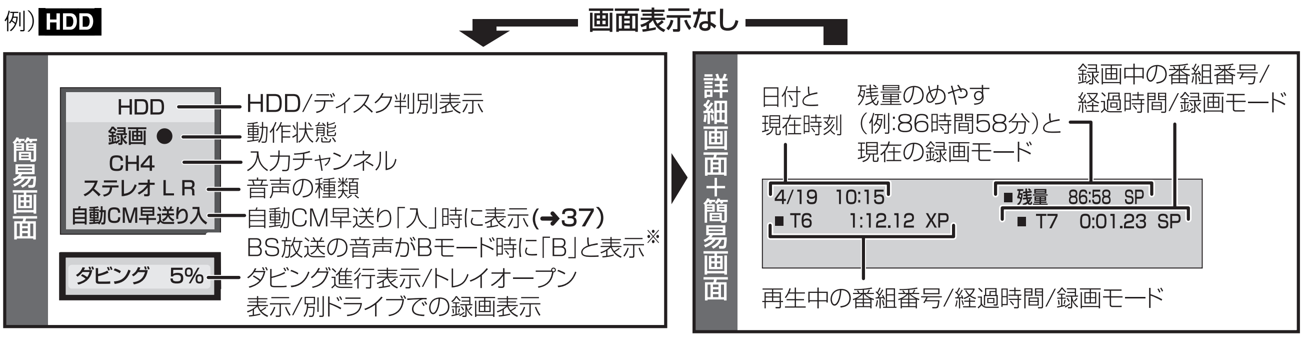
本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

[画面表示]（ふた内部）を押す

押すごとに切り換わります。

●残量の数字は目安です。

例）HDD



※ BS（アナログ）放送受信時（準備編 P.22）

MP3を再生する

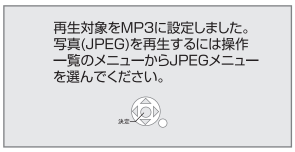
CD

- パソコンなどでMP3を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。
- 静止画を含む MP3は、再生できないことがあります。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、「DVD」を選ぶ。(➜14)
- MP3 が記録されたディスクを入れる。(➜17)
- 必要に応じて、下記の操作を行う。

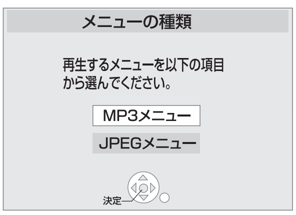
下記の画面が出たとき



MP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクです。
[決定]を押してから、右記の操作を行ってください。

MP3を再生後、写真を再生したいときは

① 再生後、[操作一覧]を押す
② 「メニュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す



③ [▲][▼]で「JPEG メニュー」を選び、[決定]を押す
④ 38 ページ手順 3 から操作する

- 選択画面を消すには、[戻る]を押します。

停止するには

[停止 ■] を押す

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

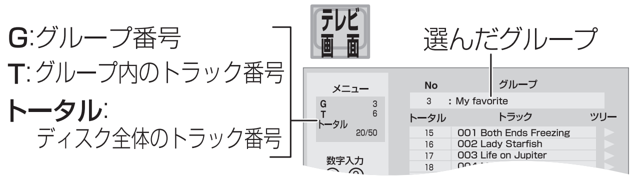
メニュー画面を消すには

[再生ナビ] を押す

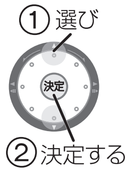
1 [再生ナビ] を押す

- フォルダやファイルに付けた名前(S-JIS第 1 水準)がそれぞれグループ名、トラック名として表示されます。

[テレビ画面]



2 トラックを選び、[決定] を押す



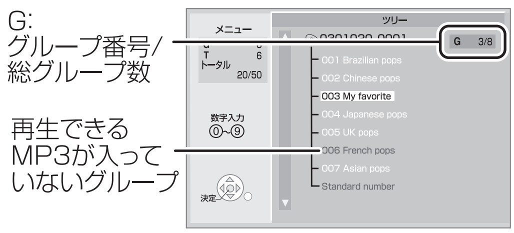
- 選んだトラックの再生が始まります。
- [1]～[10/0]でもトラックを選べます。(3 けたで入力)
  例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
  15の場合…[10/0]→[1]→[5]

前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

別のグループを選ぶには

① [▶]を押す
② [▲][▼]でグループを選び、[決定] を押す
- 選ばれたグループのメニュー画面が表示されます。



再生設定

設定の基本操作

●マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。

1 再生設定（ふた内部）を押す

●再生設定画面が表示されます。
●ディスクにより設定項目は異なります。

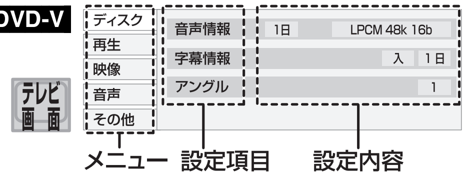
2 [▲][▼]で設定したいメニューを選び、[▶]を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で設定を変える

●[決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

例）DVD-V



設定を終了するには

再生設定（ふた内部）を押す

ディスク独自の機能を設定する（ディスク）

音声情報※ DVD-V DVD-A
音声や言語を選びます。（**音声属性/言語➜下記**）
● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)：音声属性表示のみ

字幕情報※ DVD-V DVD-A
字幕表示の入/切や、言語を選びます。（**言語➜下記**）
● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)：入/切のみ（字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ。本機では記録していません）

音声チャンネル HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) VCD
音声（L/R）を切り換えます。

アングル※ DVD-V DVD-A
アングルを選びます。

静止画 DVD-A
静止画の再生方法を選びます。
●スライドショー：決められた順番で再生
●ページ：静止画を選んで再生
・ランダム：順不同に再生
・リターン：決められた静止画を再生

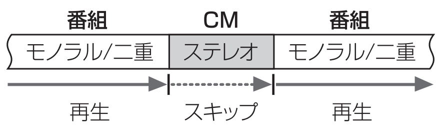
PBC（プレイバックコントロール）（➜89） VCD
PBC付きビデオCDでメニューの「入」、「切」が確認できます。（変更はできません）

※ディスクに収録されているメニュー画面（**➜32**）でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法を設定する（再生）

リピート（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
●オール：ディスク全体　●番組：番組全体
●タイトル：タイトル全体（DVDビデオなど）
●チャプター：チャプター　●プレイリスト：プレイリスト
●グループ：グループ全体　●トラック：トラック

自動CM早送り HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)
（音声が下記の場合のみ）
CMを自動的に飛ばして再生します。



●早見再生中（**➜34**）は働きません。
●外部入力から録画した番組では働きません。
●設定した内容は電源を切っても保持されます。
●録画内容により、正しく働かないことがあります。
例：上記図のCM部分が5分以上の場合など

画質を設定する（映像）

画質選択 HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)
映像ディスク再生時の画質を選びます。
●**ノーマル**：標準
●**ソフト**：ざらつきの少ない柔らかな画質
●**ファイン**：輪郭の強調されたくっきりした画質
●**シネマ**：映画鑑賞向け

DNR HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)
「入」を選ぶと、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ（➜88）［**初期設定**「接続するTV」で「プログレッシブ（525p）対応」を選んだ場合のみ（**➜85**）］
●映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード［「プログレッシブ」（**➜上記**）が「入」の場合のみ］
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
●Auto1（標準）：フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します。
●Auto2：Auto1に加えて、フレーム数の異なるフィルム素材も自動で認識し、適切に変換します。
●Video：Auto1またはAuto2でぶれが生じるとき

外部入力NR（外部入力「L1」「L2」「L3」を選んでいるとき、または本機のVHS側からダビングを行っているときのみ）
テープからのダビング時に、ノイズを減らして高画質で記録します。（ソフトによって映像にぶれが生じることがあります）
●**自動**（標準）：テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行うとき
●**入**：テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行うとき
●**切**：映像処理を行わず、入力信号のまま記録するとき

音声効果を設定する（音声）

サラウンド（アドバンスドサラウンド） HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)
（ドルビーデジタル2チャンネル以上の音声のみ）
フロントスピーカー（L/R）だけで音の臨場感を出します。
●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
●接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
●本機で録音した二重音声には働きません。

シネマボイス HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)
（ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ）
セリフを聞き取りやすくします。

画面表示の位置を設定する（その他）

表示位置
●**1**（標準位置）～**5**：設定値が大きいほど、画面が下に移動します。

〈音声属性〉
LPCM/PPCM/DDDigital/DTS/MPEG：信号タイプ
ch：チャンネル数　k：サンプリング周波数（kHz）　b：ビット数（bit）
〈言語〉

日：日本語	英：英語	仏：フランス語	独：ドイツ語
伊：イタリア語	西：スペイン語	蘭：オランダ語	中：中国語
露：ロシア語	韓：韓国語	＊：その他	

写真(JPEG/TIFF)を再生する

HDD RAM CD SD

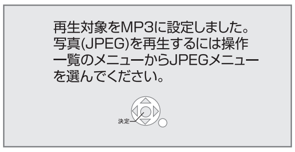
- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)
- 録画中やダビング中は写真の再生はできません。
- CD は、パソコンなどで写真(JPEG/TIFF)を記録したCD-R、CD-RW が再生できます。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換] を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」) を選ぶ。(➜14)
- ディスクまたは SD カードを入れる。(➜17)
- 必要に応じて、下記の操作を行う。

下記の画面が出たとき

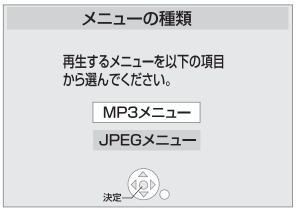
CD



MP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクです。[決定]を押して画面を消し、下記の手順で「JPEG メニュー」を選んでから、右記の操作を行ってください。

① **[操作一覧] を押す**

② **「メニュー」が選ばれている状態で、[決定] を押す**

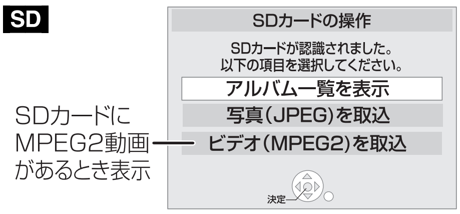


③ **[▲][▼]で「JPEGメニュー」を選び、[決定] を押す**

☞写真の再生後、MP3 を再生したいときは

上記手順 ① ～ ② を行い、手順 ③ で「MP3メニュー」を選んだあと、36 ページ手順 2 から操作する

SD



「アルバム一覧を表示」が選ばれた状態で[決定]を押すと、右記の手順 2 に進むことができます。

☞停止するには

[停止 ■] を押す

- 止めた写真の位置を一時的に記憶します。
  - · CD SD 電源を切る、またはディスクやカードを取り出すと記憶した位置は解除されます。
  - · RAM ディスクを取り出すと記憶した位置は解除されます。

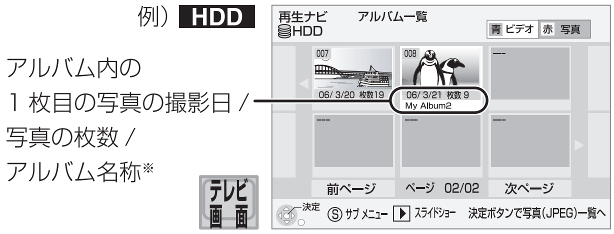
☞再生ナビ / メニュー画面を消すには

[再生ナビ] を押す

1 [再生ナビ] を押す

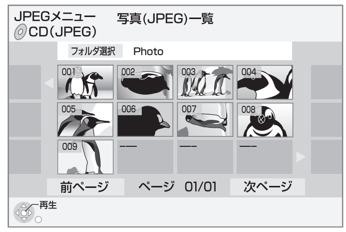
- HDD RAM SD 「アルバム一覧」が表示されます。(➜ 手順 2 へ)

例) HDD



※お使いのデジタルカメラやパソコンの編集ソフトによっては、撮影日の情報が入らないものがあります。そのときは、「--/--/--」になります。

- CD 「写真 (JPEG) 一覧」が表示されます。(➜ 手順 3 へ)

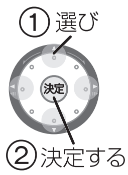


☞ HDD RAM 「番組一覧」が表示されたとき

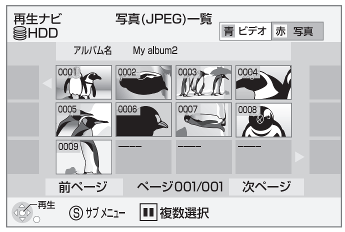
[赤] (写真)を押して、「アルバム一覧」に切り換える

- [サブメニュー] を使って切り換えることもできます。(➜33"他の画像の一覧に切り換える")

2 アルバムを選び、[決定] を押す



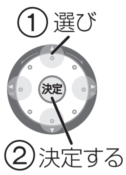
例) HDD



- 選んだアルバムの「写真 (JPEG) 一覧」が表示されます。
- 写真の表示順は、写真が作成された日時の順になります。
- [1]～[10/0]でもアルバムを選べます。(3 けたで入力)
  (番号の入力方法 ➜34"ダイレクト再生")

☞上位フォルダを選ぶには(➜右ページ)

3 写真を選び、[決定] を押す



- 選んだ写真が表示されます。
- [1]～[10/0] でも写真を選べます。
  HDD RAM SD (4けたで入力)、CD (3 けたで入力)
  (番号の入力方法 ➜34"ダイレクト再生")

☞ HDD RAM SD 「アルバム一覧」に戻るには

[戻る] を押す

- 以下の方法でも戻ることができます。
  ① 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、[サブメニュー] を押す
  ② [▲][▼] で「アルバム一覧へ」を選び、[決定] を押す

☞前後のページを表示するには

[|◀◀] (前ページ)または [▶▶|] (次ページ)を押す

- [▲][▼][◀][▶]で "前ページ" または "次ページ" を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

☞再生中に前後の写真を見るには

[◀][▶] を押す

写真再生のいろいろな機能

フォルダを切り換える

●本機で表示されるフォルダ構造例については(➜88)

RAM **SD** (上位フォルダの異なる対応フォルダがある場合のみ)

1 「アルバム一覧」画面で、[サブメニュー] を押す

2 [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、[決定] を押す

3 [◀][▶]でフォルダを選び、[決定] を押す

テレビ画面



CD

1 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、[▲]で「フォルダ選択」を選び、[決定] を押す

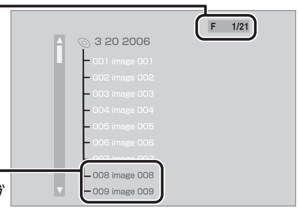
●フォルダ選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]でフォルダを選び、[決定] を押す

●選ばれたフォルダのメニュー画面が表示されます。

F：フォルダ番号 / 総フォルダ数

再生できる写真 (JPEG/TIFF) が入っていないフォルダ



☞フォルダ選択画面からメニュー画面に戻るには

[戻る] を押す

公開写真フォルダについて

ブロードバンドレシーバー(別売:DY-NET2)を接続し、「写真ポケットサービス」(有料)に登録すると、HDDに「公開写真」フォルダが自動的に作成されます。パソコンや携帯電話からこの「公開写真」フォルダに写真をインターネット経由で送付したり、また、「公開写真」フォルダ内の写真を外出先からパソコンや携帯電話で閲覧することができます。詳しくは、サポートページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/bbr/)

写真を連続して再生する

スライドショー

HDD **RAM** **SD**

「アルバム一覧」画面で、[▲][▼][◀][▶]で再生したいアルバムを選び、[再生▶] を押す

☞以下の方法でもスライドショーを開始できます

① 「アルバム一覧」画面で、[▲][▼][◀][▶]で再生したいアルバムを選び、[サブメニュー] を押す
② 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、[決定] を押す

CD

1 「写真 (JPEG) 一覧」画面で、[▲]で「フォルダ選択」を選び、[サブメニュー] を押す

2 [▲][▼]で「スライドショー開始」を選び、[決定] を押す

☞スライドショーの設定を変えるには

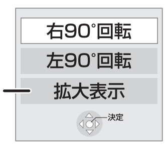
① **HDD** **RAM** **SD** 「アルバム一覧」画面で、[▲][▼][◀][▶]で再生したいアルバムを選び、[サブメニュー]を押す
 CD 「写真(JPEG)一覧」画面で、[▲]で「フォルダ選択」を選び、[サブメニュー] を押す
② [▲][▼]で「スライドショーの設定」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼]で設定する項目を選ぶ
④ 表示間隔　：[◀][▶]で表示間隔(0秒～30秒)を設定し、[決定] を押す
 リピート再生：[◀][▶]で「入」または「切」を選び、[決定] を押す

画像を回転、拡大する

1 再生中に、[サブメニュー] を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、[決定] を押す

画素数の小さい写真のみ表示されます



☞回転した写真を元に戻すには

[サブメニュー] を押して逆方向への回転を選び、[決定] を押す

☞拡大した写真を元に戻すには

[サブメニュー] を押して「元のサイズで表示」を選び、[決定] を押す

お知らせ

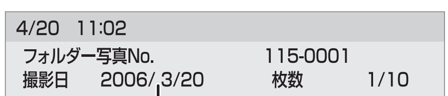
●以下のときは回転の情報は保持されません。
・**CD** の写真
・ディスクまたはアルバムにプロテクトがかかっているとき
・他の機器で再生したとき
・写真をダビングしたとき
●再生ナビ画面表示中にSDカードを取り出すと、回転情報が正しく保持されないときがあります。必ず再生ナビを終了してから取り出してください。
●拡大の情報は保持されません。
●拡大すると写真の一部が欠けることがあります。

写真の情報を見る

情報表示

写真を再生中に、[画面表示] (ふた内部)を2回押す

例) **HDD**



情報がない場合「----/--/--」と表示されます。

☞情報表示を消すには

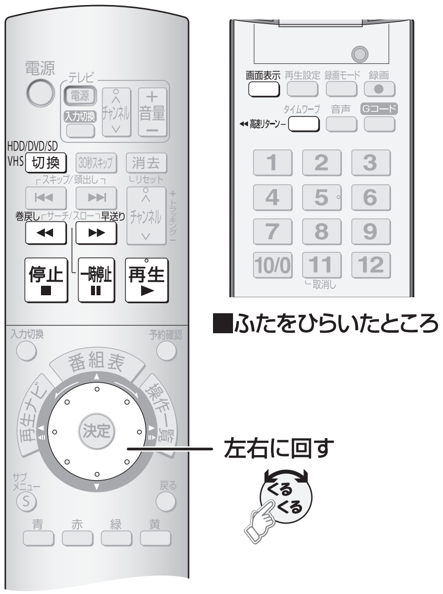
[画面表示] (ふた内部)を押す

VHSを再生する

VHS

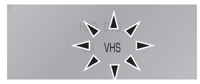
準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- 録画済みのカセットを入れる。(➜17)



1 HDD/DVD/SD VHS [切換] を押して、「VHS」を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。



本体前面

2 [再生 ▶] を押して、再生を始める

SQPB(S-VHS 簡易再生)機能

- SQPB＝ S-VHS（エスブイエッチエス） Quasi（クワジ） Playback（プレイバック）
- S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットも再生することができます。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。

お知らせ

- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが"OFF"になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。(停止中、またはHDD/DVDに録画中)
- カセットが入っているときは、電源が切れていても、[**再生▶**]を押すだけで再生を始めます(電源を切る前に、操作先に「VHS」を選んでいたときのみ)。
- 5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
  また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
  このときは、手動でトラッキングを調整してください。(➜44)

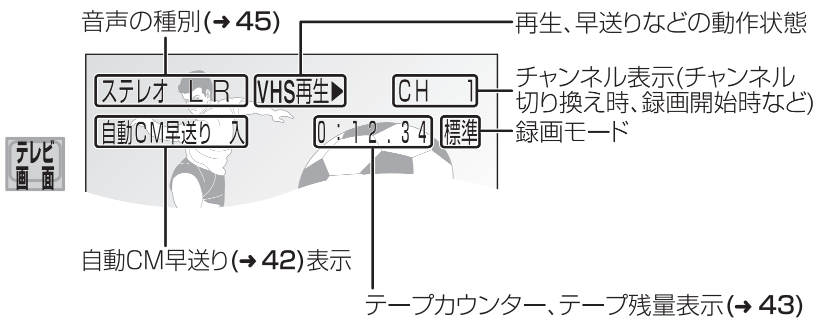
停止するには

[停止 ■] を押す

画面表示について(オンスクリーン)

チャンネルの切り換えや録画、再生などの操作をしたときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを表示します。

画面表示の一例



お知らせ

- 次のようなときは、操作をしても自動的にオンスクリーン表示は出ません。
  - ・静止画、スロー再生中
  - ・**初期設定**の「オンスクリーン表示〔オート〕」(➜85)を「切」にしているとき
    ([**画面表示**] で表示させることはできます ➜43)
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

再生中のいろいろな操作

早送り/巻き戻し

停止中に、巻戻し┌サーチ/スロー [◀◀] または サーチ/スロー┐早送り [▶▶] を押す

●テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
●早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。
●また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。

高速リターン

◀◀高速リターン― タイムワープ [　] (ふた内部)を押す

高速で巻き戻しします。

●テープカウンター表示は出ません。
●高速で巻き戻すため、動作音が大きくなります。
●また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
●カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。
●始端まで巻き戻すと、テープカウンターは"0:00.00"になります。
●途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

早送り/巻き戻し再生

巻戻し┌サーチ/スロー [◀◀] または サーチ/スロー┐早送り [▶▶] を短く押す(または押し続ける)

短く押すごとに速度が切り換わります。

標準のとき　　:約9倍速⟷約13倍速
3倍・5倍のとき:約27倍速⟷約43倍速

●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります(3段階)。速度を遅くすることはできません。再生速度は、録画モード(➜**19**)によって異なります。
●**[再生▶]**で通常再生に戻ります。
●**[巻戻し◀◀][早送り▶▶]**を押し続けるときは、指を離すと通常再生に戻ります。
●音声は出ません。
●13倍速(43倍速)にすると映像が乱れることがあります。
●5倍モードで録画された部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
●テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
●約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

一時停止(静止画)

[一時停止 ❚❚] を短く押す

●もう一度押すと、再生を再開します。
●音声は出ません。
●5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
●静止画再生を約5分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

スロー再生

[一時停止 ❚❚] を約2秒以上押し続ける

●一時停止中に、マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。
・右回し:スロー再生(3段階)
・左回し:逆再生(逆スロー再生はできません)
●**[再生▶]**で通常再生に戻ります。
●音声は出ません。
●5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
●スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

再生中のいろいろな操作（つづき）

自動巻戻し再生

同じ番組を繰り返し再生します。

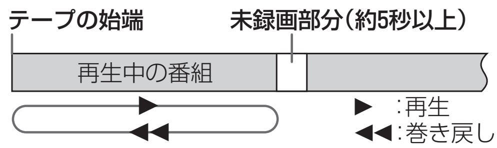
[再生▶] を約5秒以上押し続ける



- もう一度[再生▶]を押すと通常再生に戻ります。
- 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。
- この機能は解除するまで働き続けます。

お知らせ

- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。（未録画部分がない、または短すぎると、次の番組まで再生されてしまいます）
- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。



- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

自動CM早送り再生

CMを自動的に早送りして再生します。

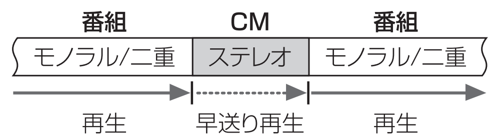
再生前または再生中に、[30秒スキップ]を押す



- "自動CM早送り 入"を表示させます。
- CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。
- 解除するには[30 秒スキップ]を押し、"自動CM早送り 切"を表示させます。
- 電源を切っても解除されます。

お知らせ

- 番組がモノラル放送または二重放送（2カ国語放送など）で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。（CMの前後が少し切れた状態で再生されます）

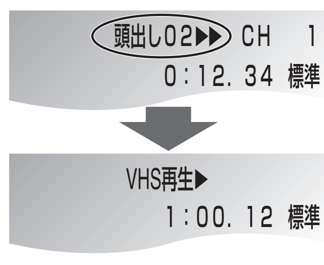


- 次のようなときは正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき（CMも通常どおり再生されます）
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき
  - ・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
  - ・外部入力録画したカセットを再生するとき

頭出し

本機でカセットに録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

[スキップ/頭出し ⏮] または [スキップ/頭出し ⏭] を押す

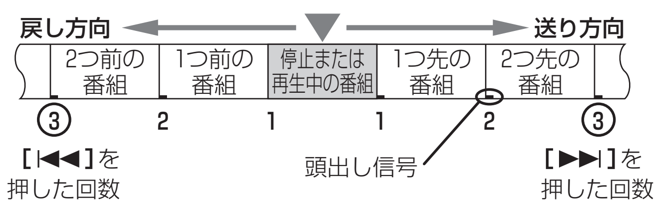


早送り（巻き戻し）を始め、押した回数だけ先の（前の）番組を再生します。

早送り方向…[▶▶|]
巻戻し方向…[|◀◀]

お知らせ

- 最大20番組先（前）までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。



- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - ・[録画●]を押して録画を始めたとき。（録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません）
  - ・予約録画が始まったとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
  - ・頭出し信号どうしの間隔が短いとき。録画は約15分（5倍モード時は約25分）以上行ってください。

テープカウンター、テープ残量を確認する

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

画面表示（ふた内部）を押す

押すごとに、右図のように表示が切り換わります。

- [消去/リセット]を押すと、テープカウンターの値が“0 ： 00 ． 00”になります。



テープカウンター表示

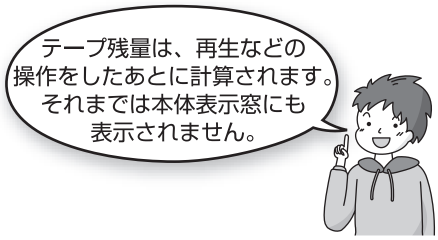


テープ残量表示


画面表示なし

テープ残量の表示について

- テープ残量の表示は目安です。
- テープ残量は、再生などの操作をしたあとに計算されます。カセットを入れた直後などは表示されません。また、表示されるまでに多少時間がかかることがあります。
- 次のときは、正しい表示になりません。
  - ・初期設定「テープ長さ」（➜85）を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき



プログレッシブ対応テレビで高画質に楽しむ

VHSの再生時も、DVDのプログレッシブ回路をとおして、本機背面のD映像出力端子からVHSの再生映像を出力し、プログレッシブ対応テレビで高画質の映像をお楽しみいただけます。（プログレッシブ ➜88）
HDD/DVD録画中は、VHSの再生映像をDVDのプログレッシブ回路をとおして見ることはできません。

D映像出力端子と接続したとき

1 本機とテレビをD端子ケーブル（別売）、またはD端子ピンケーブル（別売）を使って接続する（ 準備編 P.8 ）

2 操作一覧 を押して「その他の機能へ」を選び、初期設定画面を表示させる（➜82）

3 初期設定「接続するTV」で「4：3プログレッシブ（525p）対応」、または「16：9プログレッシブ（525p）対応」を選ぶ（➜85）

4 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押してVHS側に切り換え（操作先を切り換えていた場合）、**VHS側の再生操作を行う**

- テレビの入力は、「色差ビデオ」などに切り換えておいてください。



きれいに再生できないとき

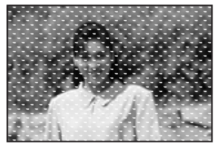
再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

① **トラッキングがずれている**
（白い帯状のノイズが出るときなど）

② **ビデオヘッドが汚れている**
（画面全体にノイズが出るときなど）

③ **テープがいたんでいる**
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。





① トラッキングを調整する

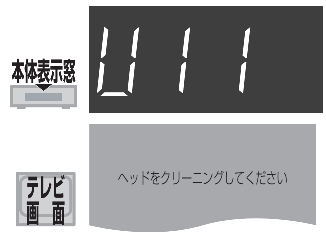
再生中に、チャンネル([∧]または[∨])を押し続ける

- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- **チャンネル**[∧]と[∨]を同時に押すと、自動調整に戻ります。
- 通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別の機器で録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

お知らせ
- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- 本体の**チャンネル**[∨][∧]でも調整できます。

② ビデオヘッドをクリーニングする

再生中、本体表示窓に"U11"が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。



乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(→ 裏表紙)を入れ、録画(ふた内部)を押して約10秒間録画する

- 約10秒後に[**停止■**]を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるとき

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

静止画再生中に、チャンネル([∧]または[∨])を押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- **チャンネル**[∧]と[∨]を同時に押すと、元の状態に戻ります。

お知らせ
- 本体の**チャンネル**[∨][∧]でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)

音声を切り換える

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **DVD-V** **DVD-A** **-RW(VR)** **VCD** **VHS**

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

●ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)

●電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

2カ国語オート再生機能について

●次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。

・**[音声]** を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)

・**HDD** **RAM** **-R(VR)** **初期設定**「外部入力の音声」を「ステレオ」にして外部入力から録画したディスクを再生中

・**VHS** 外部入力から録画したカセットを再生中

・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中

・番組の途中から再生を始めたとき

この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは **[音声]** で音声を選んでください。

放送受信時

HDD/DVD側は、初期設定「高速ダビング用録画」(➜83)が「切」になっていないと音声を切り換えることができません。(お買い上げ時の設定は「入」です)

音声(ふた内部)を押す

押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例)二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副) → (二重L(主)に戻る)

お知らせ

● **HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **VHS**

録画・ダビング中に **[音声]** を押しても、記録される音声に影響はありません。

● **VHS** 選んだ音声だけを録音することはできません。

●次のときはHDD/DVDの音声を選ぶことができません。

・「DVD」選択中、ディスクトレイに **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** が入っているとき

・録画モードが「XP」で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(**➜84**)が「LPCM」になっているとき

●音響機器と光デジタルケーブルのみで接続した場合、**初期設定**の「Dolby Digital」が「Bitstream」になっていると、HDD/DVD側で二重音声などを切り換えできません。

以下のどちらかの方法で切り換えできるようになります。

・「Dolby Digital」を「PCM」にする。(**➜84**)

・音声コード(別売)も音響機器に接続し、音響機器側で入力を切り換える。(**接続方法は、別冊の取扱説明書 準備編をご覧ください**)

再生時

音声(ふた内部)を押す

● **HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **DVD-V** **DVD-A** **-RW(VR)** **VCD**:

押すごとに、収録されている内容によって切り換わります。

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** **VCD**

音声L → 音声R → 音声LR → (音声Lに戻る)

DVD-V **DVD-A**

音声情報 1日 Digital 2/0ch

(**➜37"言語"**)

● **VHS**:録画したテレビ番組の音声が切り換わります。

ステレオの番組:

ステレオ音声(音声LR) → 音声L → 音声R → ノーマル音声(L+R)

二重放送:

主音声+副音声 → 主音声 → 副音声 → ノーマル音声(主音声)

モノラルの番組:

音声L+音声R → 音声L → 音声R → ノーマル音声(モノラル)

● **HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **VHS**

二重放送の主、副両音声を録画・ダビングした場合は、主音声が"L"、副音声が"R"に記録されています。押すごとに切り換わります。

お知らせ

●モノラル放送の音声を再生する場合、切り換えにかかわらずすべてモノラルとなります。

● **DVD-V** **DVD-A** ディスクに複数の言語が収録されていない場合や、ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

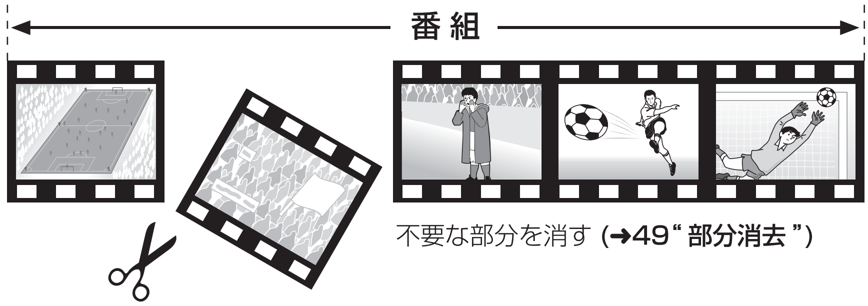
編集について

HDD やディスクに録画･ダビングすると、以下のような編集を行うことができます。

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** の場合

番組の不要な部分を消去できます

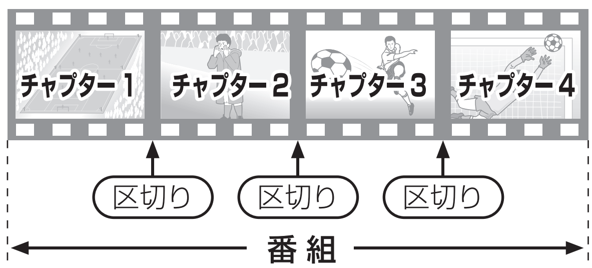
番組を編集する ➔48

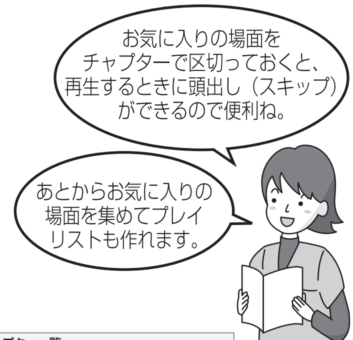


好みの位置で区切ることができます チャプター

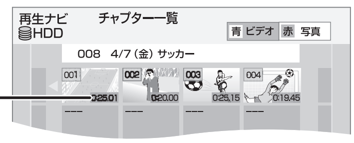
チャプターを作成・再生・編集する ➔50

区切りから区切りの間をチャプターと呼びます。



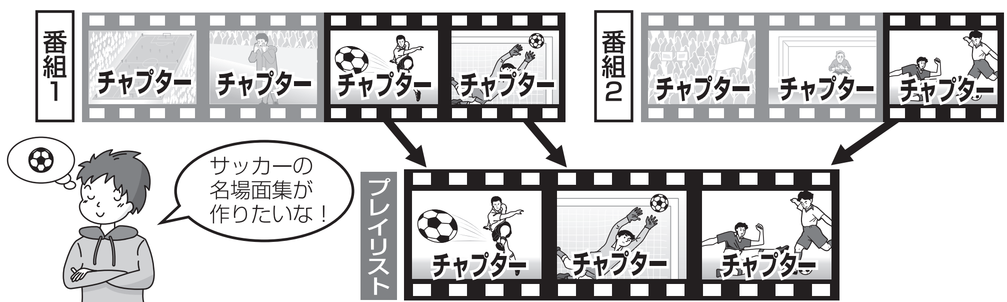


時間表示
チャプター一覧画面では、区切りから次の区切りまでの時間が表示されます。



お気に入りの場面のみを集めることができます プレイリスト

プレイリストを作成する ➔51



お気に入りのチャプターを集めて再生したい順に並べたものをプレイリストと呼びます。
（複数の番組からチャプターを集めて作成することもできます）

番組の最大記録数
HDD 500　　**RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(V)** 99　　**+R** 49

チャプターの最大記録数
HDD （1番組あたり）約1000　　**RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** 約1000

プレイリストの最大記録数　**HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** 99

プレイリストのチャプターの最大記録数　**HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** 約1000

お知らせ
- 上記の最大記録数は、記録状態によって変化します。
- 二重放送の番組を録画した場合、CM部分などで自動的に複数のチャプターが作成される場合があります。ただし、外部入力から録画した場合は作成されません。

DVD-R(VR 方式)/DVD-R DL(VR 方式)の番組 / チャプター/ プレイリスト編集、+R の番組編集について
編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集は HDD上で行い、そのあと **-R(VR)** **-R DL(VR)** **+R** にダビングすることをおすすめします。

番組や写真を消去する

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)**
-R DL(V) **-RW(V)** **+R** **SD**

（ファイナライズしたディスクはできません）

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、消去したい映像が入っている操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜14)
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜79)

番組や写真を消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。
録画中やダビング中は消去できません。

消去後のディスク、カードの残量について

HDD **RAM**：録画した番組、または記録したアルバムや写真を消去すると、消去した分、ディスク残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます

番組または アルバム、写真 1	番組または アルバム、写真 2	…	最後に録画した番組または 最後に記録したアルバム、写真	残量

-RW(V)：最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません ／ 消去すると残量が増えます

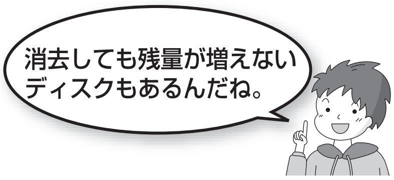
番組 1	番組 2	…	最後に録画した番組	残量

SD：記録したアルバムや写真を消去すると、消去した分、カード残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます

写真 1	写真 2	…	最後に記録した写真	残量

-R(VR) **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **+R**：
消去しても残量は増えません。



消去ナビ画面上(**右記の手順 3**)では **[サブメニュー]** を使って、内容確認やプロテクト解除などの操作が行えます。

サブメニュー操作について

- 「番組一覧」(➜48 手順 2)
- 「写真(JPEG) 一覧」(➜54 手順 2)
- 「アルバム一覧」(➜54 手順 2)

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

画面を消す
[戻る] を数回押す

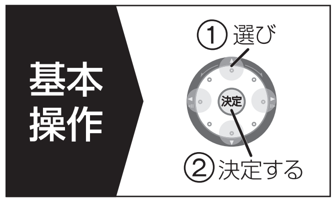
音声ガイドをやめるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜82)

消去ナビを使って消去する

不要になった番組やアルバム、写真を一覧画面から簡単に選んで消去することができます。

1 停止中に、[操作一覧] を押す

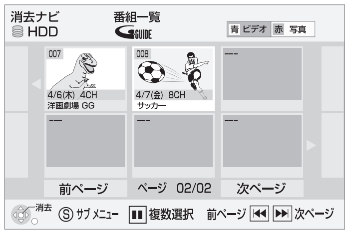
- 操作一覧メニューが表示されます。



2 「消去する」を選び、[決定] を押す

- 消去ナビ画面が表示されます。

例) HDD



HDD **RAM**

「番組一覧」を表示するには
[青](ビデオ)を押す

「アルバム一覧」を表示するには
[赤](写真)を押す

テレビ画面

3 番組を消去する場合は：
消去する番組を選び、[決定] を押す

アルバムを消去する場合は：
消去するアルバムを選び、[消去 リセット] を押す

写真を消去する場合は：
1 消去する写真のあるアルバムを選び、[決定] を押す
2 消去する写真を選び、[決定] を押す

前後のページを表示するには
[|◀◀] (前ページ)または [▶▶|] (次ページ)を押す

- "前ページ" または "次ページ" を選び、[決定] を押してもページの切り換えができます。

複数の番組またはアルバム、写真をまとめて消去するには
[▲][▼][◀][▶] で番組などを選び、[一時停止❚❚] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。もう一度 [一時停止❚❚] を押すと解除されます。

4 「消去」を選び、[決定] を押す

- 番組またはアルバム、写真が消去されます。

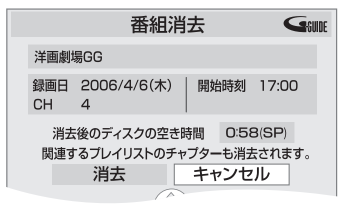
再生中に消去する

番組または写真を再生中に消去します。

1 番組または写真を再生中に、[消去 リセット] を押す

- チャプター再生中は働きません。チャプターを消去するには、「チャプター消去」で消去してください。(➜50)
- スライドショー再生中は、写真の消去はできません。

テレビ画面



例) HDD 番組を消去する

2 [◀] で「消去」を選び、[決定] を押す

- 番組または写真が消去されます。

録画した番組を編集する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜14)
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜79)

- ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。お気をつけください。
- 録画中やダビング中などは編集できません。
- カセットに録画された番組は表示されません。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

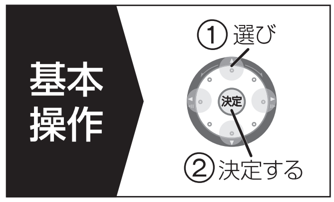
[再生ナビ] を押す

番組を編集する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)

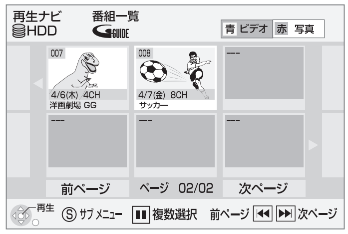
(ファイナライズしたディスクでは編集できません。-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)は、ファイナライズ後でも「内容確認」のみできます)

1 再生中または停止中に、[再生ナビ]を押す



- 番組一覧が表示されます。

例) HDD



HDD RAM

「アルバム一覧」が表示されたとき

[青](ビデオ)を押して、「番組一覧」に切り換える

2 編集する番組を選び、[サブメニュー] を押す

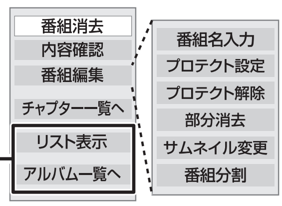
前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
- "前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押してもページの切り換えができます。

複数の番組をまとめて編集するには

[▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

例) HDD



操作方法は(➜33"再生ナビ画面の便利な機能")

3 編集する項目を選び、[決定]を押す(➜右ページへ)
- 「番組編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

「チャプター一覧へ」を選んだときは

チャプター一覧画面に切り換わります。(➜50 手順4へ)

番組を消す

番組消去

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

消去すると録画内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

- -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 消去してもディスク残量は増えません。
- -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

内容を確認する

内容確認

番組名、録画日、チャンネルなどの確認ができます。

画面を消すには

[決定]を押す

番組名を付ける

番組名入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

文字入力については(➜81)

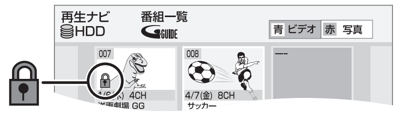
誤消去防止の設定/解除

プロテクト設定/解除

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) +R

大切な録画内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定)を押す



- プロテクト設定すると🔒が表示されます。解除すると消えます。

番組の不要な部分を消す

部分消去

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

録画した番組の消したい部分を指定して消去します。

1 消去する部分の開始点(イン点)で、(決定)を押す

- 編集中の便利な機能(➜下記)

2 消去する部分の終了点(アウト点)で、(決定)を押す

3 [▼]で「終了」を選び、(決定)を押す



続けて別の不要な部分を消去するには

「次へ」を選んで[決定]を押す(手順4を行ったあと、手順1へ)

4 [◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

番組一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する

サムネイル変更

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

1 (再生▶)を押す

2 お好みの場面で、(決定)を押す



- 編集中の便利な機能(➜下記)

場面を選び直すには

① [▲][▼]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
② お好みの場面で、[決定]を押す

3 「終了」が選ばれている状態で、(決定)を押す

番組を2つに分割する

番組分割

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

1 分割する場面で、(決定)を押す

- 編集中の便利な機能(➜下記)



分割する場面を確認するには

「プレビュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す

- 分割する場面の前後10秒間が再生されます。

分割する場面を選び直すには

① [▲][▼]で「分割」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
② 分割する場面で、[決定]を押す

2 [▲][▼]で「終了」を選び、(決定)を押す

3 [◀]で「分割」を選び、(決定)を押す

- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」(➜上記)で確認のうえ、実行してください。
- 番組名(➜上記)や番組の録画制限(➜12)などの情報は、分割した番組の両方に反映されます。サムネイル(➜上記)は、元のサムネイルがある番組のほうに反映され、もう一方の番組のサムネイルは、番組の先頭になります。

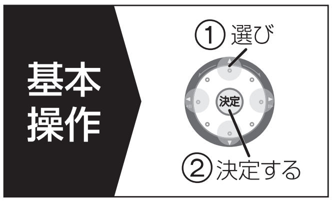
編集中の便利な機能

- 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜34、35)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- スキップ(➜34)を使ってチャプターを飛び越すことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

チャプターを作成・再生・編集する

HDD RAM
-R(VR) -R DL(VR)(ファイナライズ後は再生のみ)
-RW(VR)(再生のみ)

48 ページ手順 3 で「チャプター一覧へ」を選んだあとに操作します。



4 **チャプターを再生する場合は:**

チャプターを選び、決定を押す

- 選んだチャプターの再生が始まります。

チャプターを編集する場合は:

チャプターを選び、サブメニュー S を押す
(➜ 手順 5 へ)

- 「チャプター作成」するときは、チャプターを選ばずにそのまま [サブメニュー] を押してください。

前後のページを表示するには

[⏮](前ページ)または[⏭](次ページ)を押す

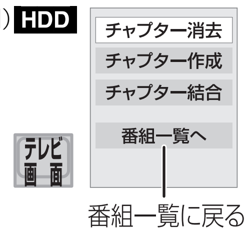
- “前ページ”または“次ページ”を選び、[決定] を押してもページの切り換えができます。

複数のチャプターをまとめて編集するには

[▲][▼][◀][▶]でチャプターを選び、[一時停止❚❚] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

例) HDD



5 **編集する項目を選び、決定を押す**
(➜右記へ)

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

チャプター部分を消す(部分消去) チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。

[◀]で「消去」を選び、決定を押す

実行すると元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。



- チャプターをすべて消去すると、その番組自身も消去されます。
- チャプターの区切りのみ消去したい場合は、「チャプター結合」(➜ 下記)を行ってください。(録画内容は消去されません)

チャプターを作成する チャプター作成

映像を見ながら区切りたい部分を指定します。

1 チャプターを区切る位置で、決定を押す

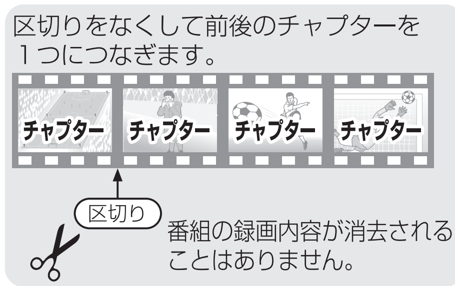
- 編集中の便利な機能(➜下記)
- 繰り返して複数の位置を指定できます。

2 [▲][▼]で「終了」を選び、決定を押す

区切りをなくしてチャプターをつなぐ チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの区切りをなくし、1 つにつなぎます。録画内容は消去されません。

[◀]で「結合」を選び、決定を押す



編集中の便利な機能

- 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜34、35)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- スキップ(➜34)を使ってチャプターを飛び越すことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

プレイリストを作成・再生・編集する

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜14)
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜79)

- プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスク容量はほとんど使いません。ただし、-R(VR) -R DL(VR) でプレイリスト編集を行う場合は、残量の減少にお気をつけください。(➜46)
- プレイリストやプレイリストのチャプターは、消したり新たに作成しても元の番組やチャプターには影響しません。
- 録画中やダビング中は、プレイリストの作成、編集はできません。
- ダビング(➜62,65)すると、ダビング先では番組になります。(8時間を超えるプレイリストはダビングできません)

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

プレイリスト一覧 / 新規作成画面の前後のページを表示するには

[⏮] (前ページ)または

[⏭] (次ページ)を押す

- "前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押してもページの切り換えができます。

画面を消すには

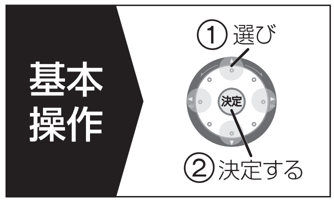
[戻る] を数回押す



プレイリストを作成する

HDD RAM

-R(VR) -R DL(VR) (ファイナライズしたディスクではできません)



1 **停止中に、[操作一覧] を押す**

- 操作一覧メニューが表示されます。

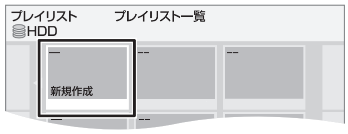
2 **「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す**

3 **「プレイリスト」を選び、[決定] を押す**

4 **「新規作成」を選び、[決定] を押す**

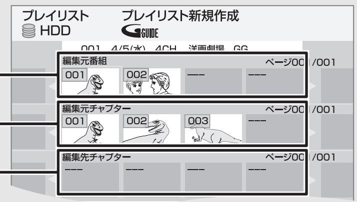
- はじめてプレイリストを作成するときは、そのまま[決定] を押してください。

テレビ画面



- **プレイリスト新規作成画面が表示されます。**

 1行目、2行目は、録画した番組とその番組に含まれるチャプターの一覧です。これらをお好みの順番で3行目に登録し、プレイリストを作成します。



(1行目)**編集元**番組

(2行目)**編集元**チャプター

(3行目)**編集先**チャプター

5 **プレイリストに加えたいチャプターの入っている編集元番組を選び、[▼]を押す**

(1 行目)

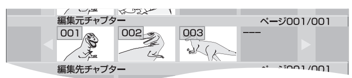


編集元番組内のチャプターをすべて選ぶには

編集元番組を選び、[決定] を押す(➜手順7へ)

6 **プレイリストに加えたい編集元チャプターを選び、[決定] を押す**

(2 行目)



編集元チャプターを選び直すには

[▲]を押す

別の編集元番組を選ぶには

[▲]を数回押して編集元番組の行を選び、手順5 に戻る

編集元番組のチャプターを新たに作成するには

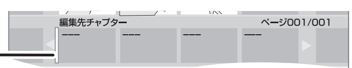
① 編集元番組や編集元チャプターを選び、[サブ メニュー]を押す

② 「チャプター作成」を選び、[決定]を押す

(操作方法は➜ 左ページ"チャプターを作成する")

7 **手順6で選んだ編集元チャプターの挿入位置を選び、[決定] を押す**

(3 行目)



カーソルが移動します

続けて編集元チャプターを追加するには

手順6～7を繰り返す

8 **[戻る] を押して、作成を終了する**

- 選んだシーンの集まりがプレイリストとなります。

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
(-RW(VR)、ファイナライズした -R(VR) -R DL(VR) では、再生と「内容確認」のみできます)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜14)
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定(プロテクト)を解除(➜79)し、プレイリスト作成(➜51)済みのディスクを入れる。

- プレイリストのチャプターを編集しても、元の番組やチャプターには影響しません。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

プレイリスト一覧、チャプター一覧の前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または
[▶▶|](次ページ)を押す
- "前ページ" または "次ページ" を選び、[決定]を押してもページの切り換えができます。

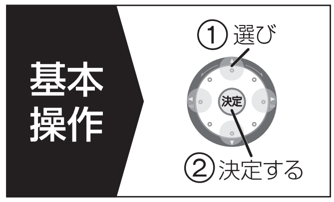
複数のプレイリストやチャプターをまとめて編集するには

[▲][▼][◀][▶]でプレイリストやチャプターを選び、[一時停止❚❚]を押す
操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

画面を消すには

[戻る] を数回押す

プレイリストを再生・編集する



1 停止中に、[操作一覧] を押す
- 操作一覧メニューが表示されます。

2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「プレイリスト」を選び、[決定] を押す

[テレビ画面]



4 プレイリストを再生する場合は:
プレイリストを選び、[決定] を押す
- 選んだプレイリストの再生が始まります。

プレイリストを編集する場合は:
プレイリストを選び、[サブメニュー] を押す (➜ 手順5へ)
- 「プレイリスト新規作成」のときは、プレイリストを選ばずにそのまま[サブメニュー]を押してください。

例) HDD

プレイリスト消去	プレイリスト新規作成
内容確認	プレイリスト複製
プレイリスト編集	プレイリスト名入力
チャプター一覧へ	サムネイル変更

5 編集する項目を選び、[決定] を押す(➜右ページへ)
- 「プレイリスト編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

「チャプター一覧へ」を選んだときは
チャプター一覧画面に切り換わります。(➜ 手順6へ)

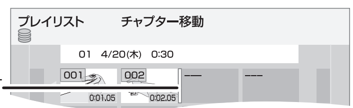
6 チャプターを再生する場合は:
チャプターを選び、[決定] を押す
- 選んだチャプターの再生が始まります。

チャプターを編集する場合は:
チャプターを選び、[サブメニュー] を押す (➜ 手順7へ)
- 「チャプター作成」するときは、チャプターを選ばずにそのまま[サブメニュー]を押してください。

例) HDD
- チャプター追加
- チャプター移動
- チャプター作成
- チャプター結合
- チャプター消去
- プレイリスト一覧へ — プレイリスト一覧に戻る

7 編集する項目を選び、[決定] を押す(➜右ページへ)

プレイリストを消す プレイリスト消去	消去すると、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す**
内容を確認する 内容確認	作成日などの確認ができます。 **画面を消すには** [決定]を押す
プレイリストを新しく作る プレイリスト新規作成	(操作方法は➜51“プレイリストを作成する”手順5～7)
プレイリストを複製する プレイリスト複製	複製されたプレイリストは、最も新しいプレイリストとして登録されます。 **[◀]で「複製」を選び、(決定)を押す**
プレイリスト名を付ける プレイリスト名入力	**文字入力については(➜81)**
プレイリスト一覧で表示される画像（サムネイル）を変更する サムネイル変更	**1 [再生▶]を押して、再生を始める** **2 お好みの場面で、(決定)を押す** ●編集中の便利な機能(➜下記) **場面を選び直すには** ① [▲][▼]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める ② お好みの場面で、[決定]を押す **3 「終了」が選ばれている状態で、(決定)を押す**

チャプターを追加する チャプター追加	(操作方法は➜51“プレイリストを作成する”手順5～7)
チャプターの順番を変える チャプター移動	**[▲][▼][◀][▶]で移動先を選び、(決定)を押す**  カーソルが移動します
チャプターを作成する チャプター作成	映像を見ながら区切りたい部分を指定します。 **1 チャプターを区切る位置で、(決定)を押す** ●編集中の便利な機能(➜下記) ●繰り返して複数の位置を指定できます。 **2 [▲][▼]で「終了」を選び、(決定)を押す**
区切りをなくしてチャプターをつなぐ チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの区切りをなくし、1つにつなぎます。録画内容は消去されません。 **[◀]で「結合」を選び、(決定)を押す**
チャプター部分を消す（部分消去） チャプター消去	**[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す** ●チャプターをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。

編集中の便利な機能	●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜34、35)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。 ●スキップ(➜34)を使ってチャプターを飛び越すことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

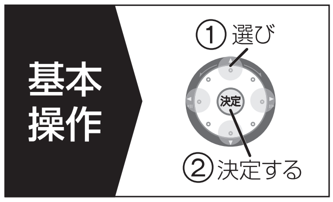
写真を編集する

HDD **RAM** **SD**

- 写真単位、またはアルバム単位で編集することができます。
- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)
- CD-RやCD-RWに記録された写真は編集できません。

準備
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、編集したい写真が入っている操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜14)
- ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜79)

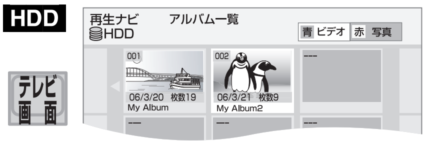
1 再生中または停止中に、[再生ナビ]を押す



HDD **RAM**

☞**「番組一覧」が表示されたとき**
[赤](写真)を押して、
「アルバム一覧」に切り換える

例) **HDD**



2 アルバムを編集する場合は:
編集したいアルバムを選び、[サブメニュー]を押す

- 「アルバム新規作成」のときは、アルバムを選ばずにそのまま[サブメニュー]を押してください。

写真を編集する場合は:

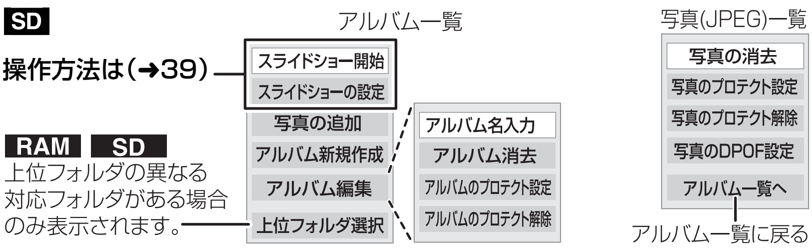
1 編集する写真のあるアルバムを選び、[決定]を押す

2 編集する写真を選び、[サブメニュー]を押す

☞**前後のページを表示するには**
[⏮](前ページ)または[⏭](次ページ)を押す
- "前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押してもページの切り換えができます。

☞**複数のアルバムや写真をまとめて編集するには**
[▲][▼][◀][▶]でアルバムや写真を選び、[一時停止⏸]を押す操作を繰り返す
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止⏸]を押すと解除されます。

例) **SD**



☞**上位フォルダを切り換えるには**
① [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
② [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す

3 編集する項目を選び、[決定]を押す(➜右記へ)

- 「アルバム編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

☞**前の画面に戻るには**
[戻る]を押す

☞**画面を消すには**
[再生ナビ]を押す

お知らせ
- 「写真の追加」、「アルバム新規作成」、「DVD-RAMへ一括コピー」、「HDDへ一括コピー」を実行中は予約録画は実行されません。
- 上位フォルダに「写真の追加」、「アルバム新規作成」を実行することはできません。

アルバムに写真を追加する
写真の追加

新しいアルバムを作成する
アルバム新規作成

消去する
アルバム消去
写真の消去

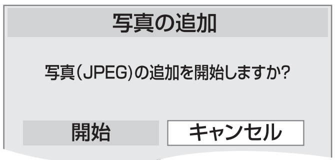
アルバム名を付ける
アルバム名入力

誤消去防止の設定/解除
アルバムのプロテクト設定/解除
写真のプロテクト設定/解除

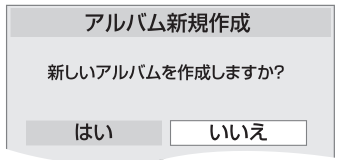
プリンターや写真店でプリントする枚数を設定する
写真のDPOF設定
SD

アルバム内の写真をすべてHDDまたはDVD-RAMへコピーする
DVD-RAMへ一括コピー
HDD
HDDへ一括コピー
RAM

1 [◀]で「開始」または「はい」を選び、(決定) を押す



「写真の追加」のとき



「アルバム新規作成」のとき

2 [▲][▼][◀][▶]で追加したい写真があるアルバムを選び、(決定) を押す

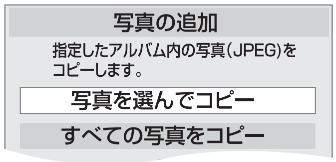


例)写真の追加 **HDD**

RAM SD 上位フォルダを切り換えるには

① [サブ メニュー]を押す
② 「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
③ [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す

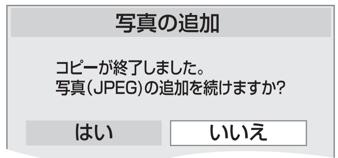
3 [▲][▼]で項目を選び、(決定) を押す



「写真を選んでコピー」の場合
追加したい写真を選び、[決定] を押す

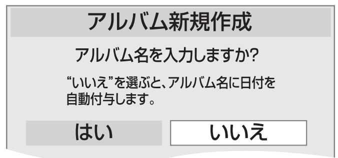
「すべての写真をコピー」の場合
アルバム内の写真をすべてコピーします。

4 [◀][▶]で「はい」または「いいえ」を選び、(決定) を押す



- 「はい」の場合は手順 2へ戻り、続けてコピーできます。

5 「アルバム新規作成」のみ
[◀][▶]で「はい」または「いいえ」を選び、(決定) を押す



「はい」の場合
アルバム名を付けます。(文字入力 ➜81)

「いいえ」の場合
アルバム内の 1 枚目の写真の撮影日を、自動的にアルバム名にします。
(撮影日情報がない場合は、「撮影:----/--/--」になります)

消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、(決定) を押す

- アルバムを消去する場合は、アルバム内の写真以外のファイルも消去されます。(アルバム内の下位フォルダは除く)

文字入力については(➜81)

- 本機で入力したアルバム名は、他の機器では表示されないことがあります。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定) を押す

- プロテクトを設定すると "🔒" が表示されます。解除すると消えます。
- 本機でアルバムにプロテクトを設定していても、他の機器では解除されることがあります。

[◀][▶]で枚数(0枚～9枚)を選び、(決定) を押す

- DPOFマークが表示されます。

設定を解除するには
「0枚」に設定する

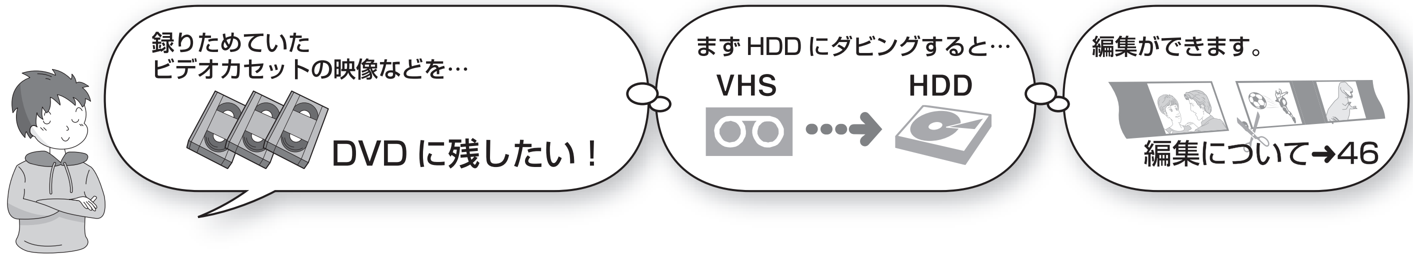
- 本機での設定は他の機器で見られない場合があります。
- 本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。
- 写真やフォルダがDCF規格(➜7)でない場合や、カードに残量がない場合は設定できません。

[◀]で「コピー開始」を選び、(決定) を押す

- アルバムが複数選択されているときはできません。

ダビングの種類を選ぶ

本機ではいろいろなダビングのしかたが選べます。



番組をダビングする

何から何へダビングするの?		どんなダビングがしたい?	おすすめのダビング方法は…
HDD	DVD-RAM DVD-R DVD-R DL DVD-RW +R	★番組を1つだけダビングする ★プレイリストを1つだけダビングする	ワンタッチダビング ➜63 高速OK ファイナライズ選択
		★いくつかの番組を組み合わせてダビングする	おまかせダビング ➜61 高速OK ファイナライズ自動 リストを作ってダビング ➜65 高速OK ファイナライズ選択
		★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする ★録画モードを自分で設定してダビングする	リストを作ってダビング ➜65 高速OK ファイナライズ選択
	VHS	★番組を1つだけダビングする ★プレイリストを1つだけダビングする	ワンタッチダビング ➜63 1倍速
		★いくつかの番組を組み合わせてダビングする ★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする	リストを作ってダビング ➜65 1倍速
VHS	HDD	★テープの停止位置から終端までダビングする	ワンタッチダビング ➜63 1倍速
		★指定した時間だけダビングする ★4.7 GBのディスクにぴったり収まるようにダビングする	時間を指定してダビング ➜70 1倍速
	DVD-RAM DVD-R DVD-RW +R	★テープの停止位置から終端までダビングする	ワンタッチダビング ➜63 1倍速 ファイナライズ選択
		★指定した時間だけダビングする ★ディスクの残量に合わせてぴったりダビングする	時間を指定してダビング ➜70 1倍速 ファイナライズ選択

表の見かた

- 高速OK　高速でダビングすることができます。
- 1倍速　番組の録画時間と同じ時間をかけてダビングします。
- ファイナライズ自動　-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングするとき、ファイナライズを自動で行います。
- ファイナライズ選択　-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングするとき、ファイナライズを行うかどうか選択することができます。

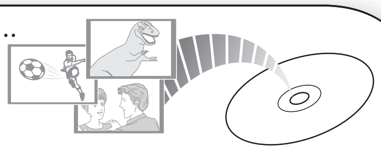
ファイナライズとは

記録したディスクを他の DVD 機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。

- ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません。
- 再生時間が 8 時間を超えるプレイリストはダビングできません。また、ダビング先では番組となります。
- ファイナライズ(➜80,88)されていない -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R を HDD へダビングすることはできません。
- VHS から -R DL(VR) -R DL(V) へダビングすることはできません。まず VHS から HDD にダビングしたあと、HDD から -R DL(VR) -R DL(V) へのダビングを行ってください。
- 録画禁止処理がされているディスクやビデオソフトはダビングすることはできません。多くのディスク･ビデオソフトは、違法な複製ができないように録画禁止処理されており、ダビングできないようになっています。

HDD から DVD へダビングすると…

HDD ••••➜ DVD



オリジナル DVD の完成！



-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R

ダビング後、ファイナライズを行うと、他のＤＶＤ機器でも再生できます。※

※再生する機器が、ファイナライズしたディスクの再生に対応している必要があります。



何から何へダビングするの?		どんなダビングがしたい?	おすすめのダビング方法は…
DVD-RAM / DVD-R (VR方式) / DVD-R DL (VR方式) / DVD-RW (VR方式)	HDD	★番組やプレイリストをすべてダビングする	ワンタッチダビング ➜64 高速OK
	HDD	★いくつかの番組を組み合わせてダビングする ★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする	リストを作ってダビング ➜65 高速OK
	VHS	★番組をすべてダビングする ★選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングする ★選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをダビングする	ワンタッチダビング ➜64 1倍速
	VHS	★いくつかの番組を組み合わせてダビングする ★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする	リストを作ってダビング ➜65 1倍速
ファイナライズ前の DVD-R (DVD-Video方式) / DVD-R DL (DVD-Video方式) / DVD-RW (DVD-Video方式) / ＋R	HDD	ダビングできません	
	VHS	★番組をすべてダビングする ★選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングする	ワンタッチダビング ➜64 1倍速
DVDビデオ / ファイナライズ後のDVD-R DVD-R DL、DVD-RW、＋Rを含む	HDD	ワンタッチダビングはできません	
	HDD	★ディスクの内容をすべてダビングする ★指定した時間だけダビングする	時間を指定してダビング ➜70 1倍速
	VHS	ワンタッチダビングはできません	
	VHS	★ディスクの内容をすべてダビングする ★指定した時間だけダビングする	時間を指定してダビング ➜70 1倍速
SD	HDD / DVD-RAM / DVD-R(VR方式) DVD-R DL(VR方式)	★MPEG2動画をダビングする ※DVD-R、DVD-R DLにVR方式で記録するには、録画前にフォーマットが必要です。(➜79)	リストを作ってダビング➜68 高速OK

写真をダビングする

SD HDD DVD-RAM

★カードの写真をHDD、またはDVD-RAMにすべてダビングする➜73

★いくつかの写真を組み合わせてダビングする➜74

ダビングを始める前に

ダビングするときの速度には、2 とおりあります

高速

ダビング元の記録時間よりも短い時間でダビングします。画質 (録画モード) を変えずに、すばやくダビングすることができます。
(高速ダビングが可能なダビング方向は ➔56)

1 倍速

ダビング元の記録時間と同じ時間をかけてダビングします。
録画モードを選んでダビングすることができます。

高速でのダビング所要時間のめやす(最高速時 /JEITA 測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM 所要時間	5X高速記録対応 DVD-RAM 倍速	16X高速記録対応 DVD-R※1 所要時間	16X高速記録対応 DVD-R※1 倍速	4X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層) 所要時間	4X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層) 倍速	4X高速記録対応 DVD-RW※2 所要時間	4X高速記録対応 DVD-RW※2 倍速	8X高速記録対応 +R※3 所要時間	8X高速記録対応 +R※3 倍速
XP	1時間	約12分	約5倍	約5分46秒	約10倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍	約8分35秒	約7倍
SP	1時間	約6分	約10倍	約2分30秒	約24倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍	約4分10秒	約14倍
LP	1時間	約3分	約20倍	約1分17秒	約47倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍	約2分25秒	約25倍
EP(6H)	1時間	約2分	約30倍	約55秒	約66倍	約2分30秒	約24倍	約2分30秒	約24倍		
EP(8H)	1時間	約1分30秒	約40倍	約45秒	約80倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍		

1 時間の番組をＨＤＤに録画し、表に記入した高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合のダビング速度の最速値です。ディスク上の書き込み位置やディスクの特性などの条件により、時間や速度が変わります。

※1 本機では 16X 高速記録対応 DVD-R を使用しても、最大 12X の速度でダビングします。
※2 本機では 6X 高速記録対応 DVD-RW を使用しても、最大 4X 高速記録対応 DVD-RW の速度でダビングします。
※3 本機では 16X 高速記録対応＋R を使用しても、最大 8X 高速記録対応＋R の速度でダビングします。

- ダビング中に HDD の録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R への高速ダビングについて

下記の場合は高速でダビングできません。1倍速でのダビングとなります。

- **初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」にして、HDD に録画した番組を含むダビング
- 部分消去を繰り返した番組
- SDカードのMPEG2動画をHDDにダビングした番組
- 録画モードが異なる番組やFR の複数の番組から作ったプレイリスト
- 音声が混在するプレイリスト(Dolby Digital と LPCM など)
- +R 録画モード「EP」または「FR(5時間以上録画した場合)」で録画された番組
(おまかせダビング設定画面、ダビングリスト上で ▶▶! 表示)

高速記録対応ディスク(RAM 5X、-R(VR) -R(V) +R 8X 以上など) に高速ダビングする場合

動作音が気になるときは、**初期設定**「DVD の高速ダビング速度」(**➔83**)を「静音モード」にしてください。ただし、ダビングにかかる所要時間は長くなります。

1 倍速でのダビングについて

- -R DL(V) にダビングするときは、ダビング元の記録時間より長くかかります。
- ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。(劣化防止にはなります)

DVD-R DL (片面2層) へのダビング

DVD-R DL へは、HDD からのダビングのみ可能です

VHS から DVD-R DL にダビングしたいときは

まず HDD にダビングし、HDD から DVD-R DL へのダビングを行ってください。



HDD から -R DL(VR) にダビングするとき

1 倍速でダビングする場合、ダビングが開始されるまでに最大約 30 秒かかる場合があります。

HDD から -R DL(V) にダビングするとき

高速モード以外でダビングする場合、1 倍速で番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。以下の場合、-R DL(V) にダビングすることはできません。

- HDD の残量が少ない場合 (新品のディスク 1 枚全部にダビングする場合、HDD の残量が SP モードで最大 4 時間必要になります)
- HDD に記録されている番組数とダビングする番組数の合計が 500 を超える場合

2層にまたがって記録された番組は、再生時に層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。(➔5)

VHS からダビングするときは、次のことにお気をつけください

HDDへダビングするとき

HDD へダビングした番組を、あとでHDD から -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に高速モードでダビングしたい場合は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。
(お買い上げ時の設定は「入」です)

- また、+R にダビングする場合、録画モードは「EP」以外に設定してください。(**➔上記**)

5 倍モード (➔19)で録画された番組をダビングするとき

ダビングすると、5 倍モードで録画された部分にノイズが入る場合があります。

ファイナライズを含まないダビングの場合、ダビング開始後は操作先が自動的に「HDD」に切り換わります

以下の内容もご確認ください。

- デジタル放送の録画とダビングについて(**➔12**)
- 二重放送やワイド放送の番組にかかる制限(**➔13**)
- DVD-R、DVD-R DL の記録方式とフォーマットについて(**➔18**)

ダビングの種類、ダビング方向、ダビング速度等によって、設定やダビング中の動作に以下のような違いがあります。

	おまかせダビング		ワンタッチダビング			
ダビング方向	HDD → DVD		HDD → DVD DVD → HDD	HDD → DVD	HDD → VHS DVD → VHS	VHS → HDD VHS → DVD
ダビング速度	高速	1 倍速	高速	1 倍速		
番組ごとの区切りの保持	○	○	○	○	○※1	○※1
チャプター(番組内の複数の区切り)の保持	○	×※2	○	×※2	×	×※2
「サムネイル変更」(➜49)での変更位置の保持	○	× (先頭の位置になります)	○※4	× (先頭の位置になります)	×	×
自動 CM 早送り	×	×	×	×	×	×
ダビング中に HDDを再生	×	×	○※6	×	×	○※6
ダビング中に HDDで録画	×	×	○※6	×	×	×

	ダビングリストを作成してダビング			録画時間を指定してダビング	
ダビング方向	HDD → DVD DVD → HDD	HDD → DVD	HDD → VHS DVD → VHS	DVD → HDD DVD → VHS	VHS → HDD VHS → DVD
ダビング速度	高速	1 倍速		1 倍速	
番組ごとの区切りの保持	○	○	○※1	×	○※1 (「時間指定」が「切」の場合のみ)
チャプター(番組内の複数の区切り)の保持	○	×※2	×	×	○※3 (HDD RAM -R(VR) へのダビングで、「時間指定」が「入」の場合のみ)
「サムネイル変更」(➜49)での変更位置の保持	○※4	× (先頭の位置になります)	×	× (HDD 先頭の位置になります)	×
自動 CM 早送り	×	○※5	○※5	×	×
ダビング中に HDDを再生	○※6	×	×	×	○※6
ダビング中に HDDで録画	○※6	×	×	×	×

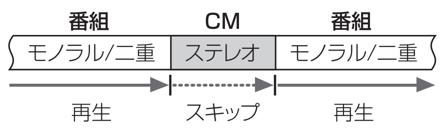
※1 HDDまたはDVDからVHSへのダビング時は、頭出し信号が書き込まれます。ダビング後は、番組を頭出し(**➜42**)することができます。
VHSからHDDまたはDVDへのダビング時は、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して録画します。ダビング後は、再生ナビ番組一覧(**➜33**)から番組を探すことができます。
・約15分(5倍モード時は約25分)以内の録画番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
・頭出し信号の数によっては、録画される時間が実際よりも多少長くなる場合があります。
・分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。
・番組分割しないでダビングしたいときは、"録画時間を指定してダビングする"で「時間設定」を「入」にして(**➜70「ダビング時間」**)ダビングしてください。(ただし HDD RAM -R(VR) へダビングすると、番組は分割されませんが、チャプターが作成されます)

※2 1 番組が 1 チャプターとして記録されます。ただし、 -R(V) -RW(V) +R へダビングした場合、ダビング後にファイナライズすると、自動的にチャプター(-R(V) -RW(V) は約 5 分ごと、 +R は約 8 分ごと)が作成されます。

※3 この場合、番組は分割されません。

※4 プレイリストをダビングする場合は、サムネイルの変更位置が保持されないことがあります。

※5 番組内の CM をとばしてダビングします。音声が右記の場合のみ働きます。
・5分以上のCMやプレイリスト内のCMには働きません。
・デジタル放送など外部入力から録画した番組では働きません。
・番組の一部をCMとまちがえてダビングされない場合があります。CMを「部分消去」(**➜49**)で消してから、「切」(**➜66「詳細設定」**)でダビングすることをおすすめします。



※6 ファイナライズを含むダビング中や、SDカードのMPEG2動画をダビング中(「ダビングリストを作成してダビング」の場合)はできません。
・編集などはできません。追っかけ再生は、 VHS から HDD へのダビング中のみできます。
・デジタル放送などの「移動」される番組(**➜12**)を含むダビング中は、プレイリストは再生できません。
・写真の再生はできません。

ダビングQ&A

Q ダビング先のディスク残量ぴったりにダビングするには？

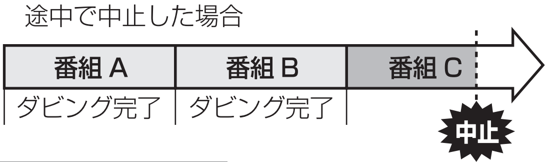
録画モードを「ＦＲ」にしてダビングしてください。画質を自動で調節して記録します。
ただし、何番組かをまとめてダビングする場合、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。

Q カセットの未記録部分をとばしてダビングできる？

“録画時間を指定してダビングする”で、時間設定を「切」にしてダビングしてください。カセットに録画されている部分のみ記録します。さらに、時間設定を「切」、録画モードを「ＦＲ」に設定すると、ディスク残量ぴったりになるように画質を自動で調節しながら、未記録部分をとばしてダビングします。**(詳しくは ➜71)**

Q ダビング実行中にダビングを中止するとどうなる？

例） 番組Ａ・Ｂ・Ｃの順にダビングして番組Ｃの途中で中止した場合



高速でダビング中のとき

番組Ａ・Ｂのみダビングされます。

１倍速でダビング中のとき

番組Ａ・Ｂと番組Ｃの途中までがダビングされます。ただし

- HDD から DVD へのダビングで、番組Ｃが「１回だけ録画可能」の番組の場合
  - 番組Ｃはダビング(移動)されず、HDD に残ります。
- -R DL(V) にダビングの場合
  - (ＨＤＤに複製中のとき)番組Ａ・Ｂ・Ｃはダビングされません。
  - (ディスクに高速ダビング中のとき)番組Ｃはダビングされません。

-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R にダビングの場合

番組Ｃがダビングされない場合でも、番組Ｃの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、ディスク残量は減少します。

Q ファイナライズを含んだダビングでは、背景の色や再生方法の設定はどうなる？

ダビング時に「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」は選べません。背景の色や再生方法を設定したい場合は、ダビングする前に DVD 管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更しておいてください。**(➜80)**

Q ダビング中に予約録画の開始時刻になるとどうなる？

高速でダビング中のとき

録画先が「HDD」または「DVD」に設定されている予約録画は、設定にかかわらず HDD に録画されます。(ただし、ファイナライズを含むダビング中は実行されません)
録画先が「VHS」の予約録画は実行されません。

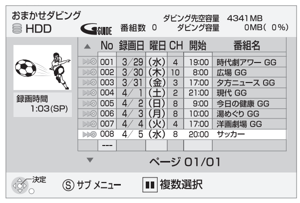
１倍速でダビング中のとき

予約録画は実行されません。
録画先が「HDD」または「DVD」に設定されている予約録画は、ダビング終了後の時間から録画が開始されます。
(録画先が「VHS」の予約録画は開始されません ➜23)

Q 主／副両音声を記録した番組や、16：9 映像をディスクにそのままダビングするには？

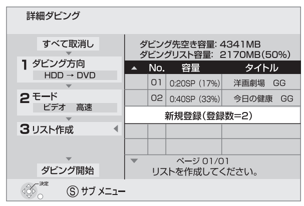
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)「高速」モードでダビング、または１倍速で**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」(➜83)にしてダビングしてください。

Q HDD または DVD へ複数の番組をダビングする場合、ダビングされる順番はどうなる？



おまかせダビング

画面の上から順にダビングされます。
(登録した順ではダビングされません)



ダビングリストを作成してダビング

画面の上から順にダビングされます。

- お好みの順にダビングしたい場合は“ダビングリストを作成してダビングする”で、１つずつ番組を登録してください。

ダビングしたあとに

- 再生するときは、**[再生ナビ]** を押して番組を選んで再生してください。**(➜33)**

Q ダビングを開始しても、本体表示窓にカウンターが表示されません。

VHS から DVD へファイナライズを含まないダビングをする場合、ダビング中でも HDD の再生をお楽しみいただけるように、ダビング開始後は操作先が自動的に HDD に切り換わります。
同時に本体表示窓には HDD の動作状態が表示され、DVD のカウンターは表示されません。(HDD が停止中のときは、“To DVD”と表示されます)

番組をダビングする

おまかせダビング

HDDに録画された複数の番組を組み合わせて、ディスクにダビングすることができます。

準備

●テレビに本機の画面を出す。(➜16)

ダビング先 (DVD):

●録画可能なディスクを入れる。(➜17)
(フォーマット確認画面が表示されたとき➜78)

●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

おまかせダビング時の速度と録画モードについて

おまかせダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。

HDD ➡ RAM -R(VR) -R DL(VR):高速

HDD ➡ -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R:下表

高速ダビング用録画(➜83)	ダビング速度
「入」で録画した番組のみの場合	高速
「切」で録画した番組のみの場合	1倍速(録画モードは"FR"でダビングされます)
「入」と「切」で録画した番組をまとめてダビングする場合	1倍速(録画モードは"FR"でダビングされます)

+R 録画モード"EP"または"FR(5時間以上録画した場合)"で録画された番組(▶▶!表示)を含めてダビングする場合、1倍速(録画モードは"FR")になります。

高速モードでダビング先のディスク容量を超える場合は、1倍速(録画モードは"FR")になります。

お知らせ

●**ダビング容量について**
(ダビング先に記録される容量)
管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを途中でやめるには

戻る を3秒以上押したままにする

●ファイナライズ中は中止できません。

●ダビングを途中でやめた場合は、ファイナライズも実行されません。

音声ガイドをやめるには

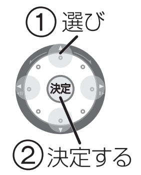
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜82)

この方法では、ダビング元➡ダビング先に以下の方向が選べます:

HDD ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングする場合、**自動的にファイナライズ**(➜88)を行います。ファイナライズをすると再生専用ディスクとなり、他のDVD機器でも再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることができなくなります。

基本操作



1 停止中に、操作一覧 を押す

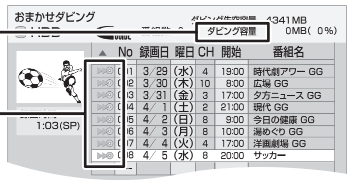
●操作一覧メニューが表示されます。

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

●おまかせダビング設定画面が表示されます。

ダビング容量について(➜ 左記)

アイコン表示について(➜102)



テレビ画面

3 ダビングしたい番組を選び、決定 を押す

前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

複数の番組をまとめて登録するには
[▲][▼]で番組を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

番組の内容を確認する / 並び替えをするには

① [▲][▼]で番組を選び、サブメニュー S を押す

② [▲][▼]で「内容確認」または「並び替え」を選び、決定 を押す

内容確認:選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどが表示されます。

並び替え:番組の表示順を変更します。表示順は録画日やチャンネルなどが選べます。(番組に☑が付いている場合はできません)表示順は、おまかせダビングの画面を消すと、取り消されます。

4 -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R
ダビングを開始すると自動的にファイナライズを行います。ディスクは再生専用となり、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●ダビングが開始されます。



ダビング

ダビングを始める前に(つづき)/番組をダビングする

ワンタッチダビング

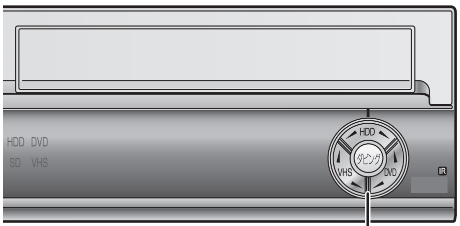
ワンタッチ操作で簡単にダビングすることができます。

準備

●テレビに本機の画面を出す。(➜16)

ダビング先：
- ●DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜17)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜78)
- ●VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- ●十分な残量があることを確認しておく。
- ●以下の場合は、録画モードを選んでおく。(➜20)
  - ・HDD/DVDからVHSへダビングするとき
  - ・VHSからHDD/DVDへダビングするとき

ダビング元：
- ●ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。
- ●ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。



ワンタッチダビングボタン(➜ 右記)

ワンタッチダビング時の速度と録画モードについて

ワンタッチダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。

HDD ➜ RAM -R(VR) -R DL(VR)：高速
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ➜ HDD：高速
HDD ➜ -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R：下表

高速ダビング用録画(➜83)	ダビング速度
「入」で録画した番組の場合	高速
「切」で録画した番組の場合	元と同じモード [XP ～ EP、FR] (プレイリストは"FR"でダビングされます)

+R 録画モード"EP"または"FR(5時間以上録画した場合)"で録画された番組は、1倍速(録画モードは"FR")になります。

高速モードでダビング先のディスク容量を超える場合は、"FR"になります。

VHS とのダビング(方向にかかわらず)：
1倍速のみ(録画モードはダビング前にVHSで選んでいたモードになります)

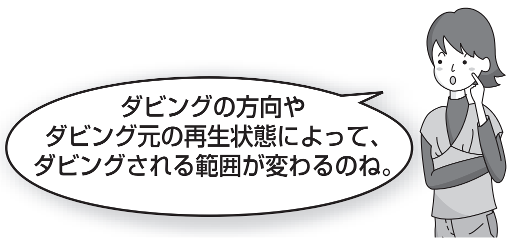
この方法では、ダビング元➜ダビング先に以下の方向が選べます：

HDD ➜ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R VHS
再生中の番組またはプレイリストを1つだけ自動的にダビングします。再生位置にかかわらず、再生中の番組やプレイリストの先頭からダビングされます。

VHS ➜ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R
ダビング開始時のテープの停止位置から自動的にダビングします。

RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ➜ HDD
1枚のディスクに録画されている番組全部、またはプレイリスト全部をHDDに自動的にダビングします。

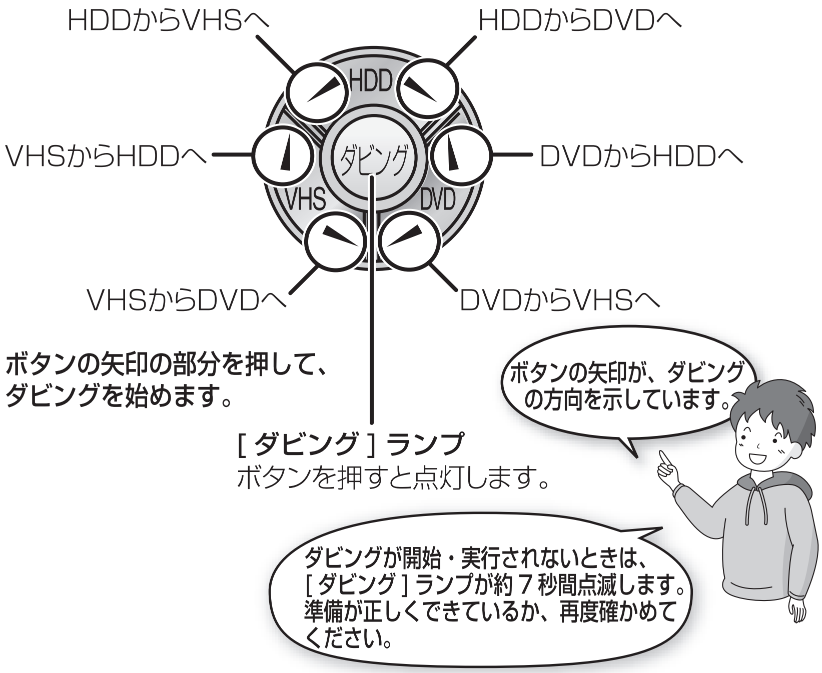
RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR) ➜ VHS
1枚のディスクに録画されている番組全部や、選んだ番組の先頭からディスクの最後まで、または選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをカセットに自動的にダビングします。



プレイリストをダビングするとき

●8時間を超えるプレイリストはダビングできません。(複数のプレイリストをダビングする場合は、8時間を超えたプレイリストはとばしてダビングされます)

本体のワンタッチダビングボタン



お知らせ

- ●録画禁止処理がされているディスクやカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- ●**デジタル放送の番組は、HDDからディスクにワンタッチダビングできません。おまかせダビング、またはダビングリストを作成してダビングしてください。**
- ●ダビング元(再生側)の再生が終わるか、またはダビング先(録画側)の残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

HDD から DVD、VHS へ ダビングする

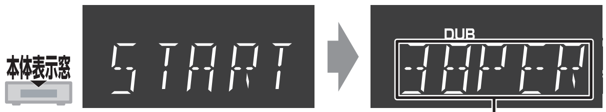
●HDD再生時の音声は、ステレオ(L R)が出力されます。

1 ダビングしたい番組を再生する、またはプレイリストを再生する(➜32,52)

●[一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

2 本体表示窓の“START”が点滅し終わるまで、HDD を約3秒以上押し続ける

●ダビング方向に合った矢印(▶)の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓でダビングが始まるのを確認してください。
● -R DL(VR) へ1倍速でダビングする場合、テレビ画面に“○○モード(VR方式)でダビングを開始します。…”と表示されたまま、ダビングが開始されるまでに最大約 30 秒かかる場合があります。



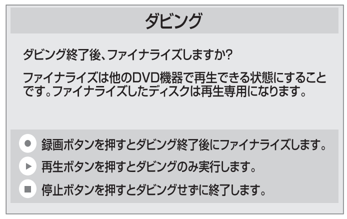
ダビング進行状況(例:ダビングが約38%まで終了※)

※ 1倍速でダビングしている場合は、残りのダビング時間が表示されます。

ファイナライズ確認画面が表示されたとき(-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R へダビングする場合)
ダビングとファイナライズを続けて実行するか、またはダビングのみ実行するかを選ぶ

●[録画●]を押すと、ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜88)を行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD機器でも再生できるようになります。ただし、あとから録画や編集はできなくなります。
●[再生▶]を押すと、ダビングのみ行います。ダビング終了後に他の機器で再生するには、DVD管理でファイナライズを行ってください。(➜80“他の機器で再生できるようにする”)
●[停止■]を押すと、画面が消え、ダビングせずに操作を終了します。

テレビ画面



VHS から HDD/DVD へ ダビングする

VHS・HDD/DVDともに停止状態で、本体表示窓の“START”が点滅し終わるまで、VHS を約3秒以上押し続ける

●ダビング方向に合った矢印(▶)の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓でダビングが始まるのを確認してください。



録画経過時間(カウンター)

ファイナライズ確認画面が表示されたとき(➜ 上記)

DVDへファイナライズを含まないダビングをするとき

ダビングが始まると、操作先が自動的に「HDD」に切り換わります。そのため、本体表示窓にはHDDの動作状態が表示されます。(HDDが停止中のときは、右記の表示)DVDの録画経過時間は表示されません。



ダビング中にHDDの再生や録画をするには

決定 を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする

●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
●この操作は高速ダビング中のみ可能です。
●ファイナライズを含むダビング中はできません。

ダビングを途中でやめるには

(高速の場合) 戻る を3秒以上押したままにする

(1倍速の場合) 停止■ を押す、または 戻る を3秒以上押したままにする

●ファイナライズ中は中止できません。
●ファイナライズ確認画面でダビングとファイナライズを実行するように設定していても、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。

ワンタッチダビング（つづき）

DVDからHDDへダビングする

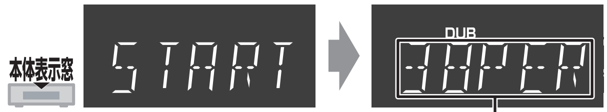
●DVD再生時の音声は、ステレオ(L R)が出力されます。

1 プレイリストをダビングする場合のみ、プレイリストを再生する(➜52)

●[**一時停止❚❚**]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。
●再生位置にかかわらず、先頭のプレイリストから最後のプレイリストまですべてダビングされます。

2 本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、  **を約3秒以上押し続ける**

●ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓で、ダビングが始まるのを確認してください。



ダビング進行状況(例:ダビングが約38%まで終了)

DVDからVHSへダビングする

●DVD再生時の音声は、ステレオ(L R)が出力されます。

1 ☞ **1 枚のディスクに録画されている番組全部をダビングするとき**
DVDが停止状態であることを確認する

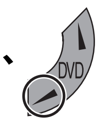
●DVD側で**続き再生メモリー機能(➜34)**が働いているときは、再生開始位置が含まれる番組の先頭からディスクの最後までのダビングが実行されます。「DVD」選択中に [**停止■**]を押して、続き再生メモリー機能を解除してください。(**確認するには ➜ 下記**)

☞ **選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングするとき**
ダビングしたい番組を再生する(➜32)

●[**一時停止❚❚**]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

☞ **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)**
選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをダビングするとき
ダビングしたいプレイリストを再生する(➜52)

●[**一時停止❚❚**]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

2 本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、  **を約3秒以上押し続ける**

●ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓で、ダビングが始まるのを確認してください。



残りのダビング時間

☞ **ダビング中にHDDの再生や録画をするには**

(決定) **を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする**

●[**画面表示**]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
●この操作は高速ダビング中のみ可能です。

☞ **ダビングを途中でやめるには**

(高速の場合) (戻る) を 3 秒以上押したままにする

(1倍速の場合) (停止■) を押す、または (戻る) を3秒以上押したままにする

続き再生メモリー機能の状態を確認するには
続き再生メモリー機能が働いているかどうか確認するには、[**HDD/DVD/SD/VHS 切換**]で操作先を選択し、[**画面表示**]を数回押してください。本体表示窓にカウンターが表示される場合は、続き再生メモリー機能が働いています。

ダビングリストを作成してダビングする

詳細ダビング

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜16)

ダビング先：
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜17)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜78)
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- 十分な残量があることを確認しておく。

ダビング元：
- DVDの映像をダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。

お知らせ
- 録画禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- 当社製DVDビデオカメラで撮影した映像をDVD-RAMからHDDにダビングすると、撮影した日付単位で１番組になります。

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

音声ガイドをやめるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜82)

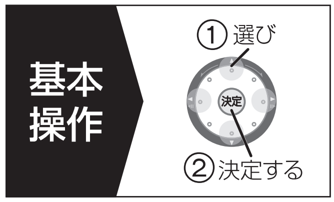
ダビング中にHDDの再生や録画をするには
[決定] を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする
- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
- この操作は高速ダビング中のみ可能です。
- ファイナライズを含むダビング中はできません。

ダビングを途中でやめるには
[戻る] を３秒以上押したままにする
- ファイナライズ中は中止できません。
- ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。

この方法では、ダビング元➡ダビング先に以下の方向が選べます：

HDD ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R VHS
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ➡ HDD
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ➡ VHS

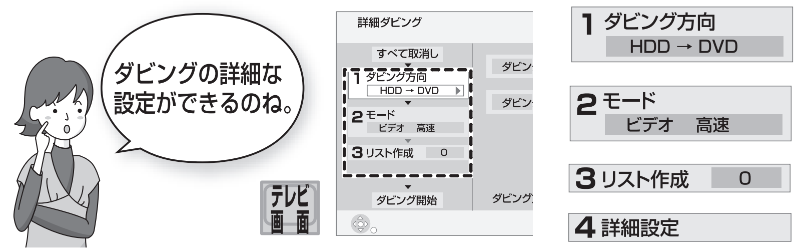
1 停止中に、[操作一覧] を押す
- 操作一覧メニューが表示されます。



2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す
- ダビング設定画面が表示されます。

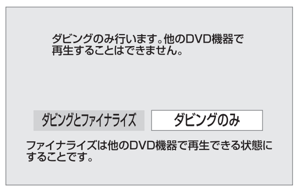
4 設定したい項目を選び、[▶]を押す(➜66 へ)
- 設定内容を選んでください。必要に応じてこの手順を繰り返します。



5 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す
- 確認画面が表示されます。

6 「はい」を選び、[決定] を押す
- ダビングが開始されます。

ファイナライズ確認画面が表示されたとき
(HDD ➡ -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R の場合)
「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、[決定] を押す



- 「ダビングのみ」を選ぶと、ダビングのみ行います。ダビング終了後に他の機器で再生するには、DVD管理でファイナライズを行ってください。(➜80“他の機器で再生できるようにする”)
- 「ダビングとファイナライズ」を選ぶと、ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜88)を行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD機器でも再生できるようになりますが、あとから録画や編集をすることはできなくなります。

ダビング 番組をダビングする(つづき)

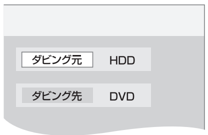
ダビングリストを作成してダビングする（つづき）

画面表示の例)ダビング元に「HDD」、ダビング先に「DVD」を選んだとき

ダビング方向を設定する

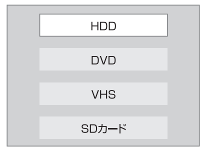
1　ダビング方向

●何から何にダビングするかを設定します。



「ダビング元」が選ばれている状態で、(決定)を押す

→



「HDD」または「DVD」を選び、(決定)を押す

→

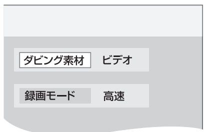
●ダビング元とダビング先に同じ操作先を選んだとき、またはダビング先に「ＳＤ」を選んだときは、写真のダビングになります。(➜74)

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「VHS」を設定したあとにディスクトレイの開閉をすると、ダビング先が「HDD」になります。再度ダビング先を設定してください。

ダビング素材・録画モードを設定する

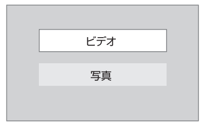
2　モード

●録画モードについて(➜19)



「ダビング素材」が選ばれている状態で、(決定)を押す

→



「ビデオ」を選び、(決定)を押す

→

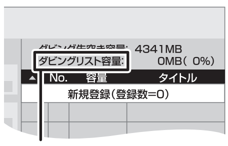
●ダビング先に「VHS」を選んだときは、ダビング素材は自動的に「ビデオ」になり、変更はできません。

●ダビング素材に「写真」を選んだときは、写真のダビングになります。(➜74)

ダビングする番組などを選ぶ

3　リスト作成

●右記の手順を繰り返し、複数の番組やプレイリストをダビングリストに登録できます。



ダビングリスト容量について(➜ 下記)

「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、(決定)を押す

→



(青)(ビデオ)または(赤)(プレイリスト)を押す

●番組を登録するときは「ビデオ」を選び、プレイリストを登録するときは「プレイリスト」を選びます。

→

●**ダビングリスト容量について**（ダビング先に記録される容量）

・1 倍速の場合は、録画モードによって変化します。

・管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

☞前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

☞ダビングリストの便利な機能(➜69)

☞ダビングリストのアイコン表示について(➜102)

CM を飛ばしてダビングする

4　詳細設定

●ダビング素材に「ビデオ」、録画モードに「高速」以外を選んだときのみ、設定できます。



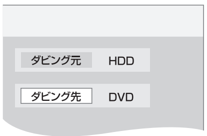
「自動CM早送り」が選ばれている状態で、(決定)を押す

→

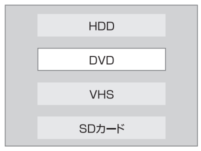
●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、「自動CM早送り」はできません。

☞前の画面に戻るには

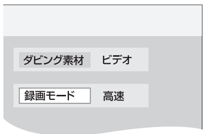
(戻る)を押す



「ダビング先」を選び、決定 を押す



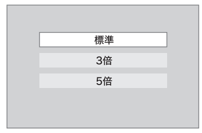
「HDD」、「DVD」または「VHS」を選び、決定 を押す



「録画モード」を選び、決定 を押す



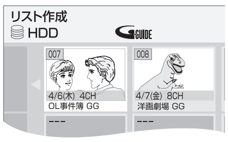
例）ダビング先「DVD」



例）ダビング先「VHS」

録画するモードを選び、決定 を押す

●ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。



ダビングする番組やプレイリストを選び、

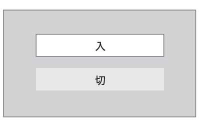
決定 を押す

●デジタル放送などの「移動」される番組(➜12)を登録したダビングリストには、プレイリストは登録できません。
●高速モードで以下のディスクにダビングする場合
・ **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** ▶▶◎ または ▶▶! 表示のあるもののみ登録できます。
・ **+R** ▶▶◎ 表示のあるもののみ登録できます。

☞複数の番組やプレイリストをまとめて登録するには

[▲][▼][◀][▶]で番組やプレイリストを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す

●☑が表示されます。もう一度[**一時停止❚❚**]を押すと解除されます。
●ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。お好みの順番で登録したい場合は、1 つずつ登録してください。
●ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。



「入」または「切」を選び、決定 を押す



続けて次の項目を設定するときは：
●[◀]を押したあと[▼]で項目を選び、[▶]を押す
(➜ 左ページへ)

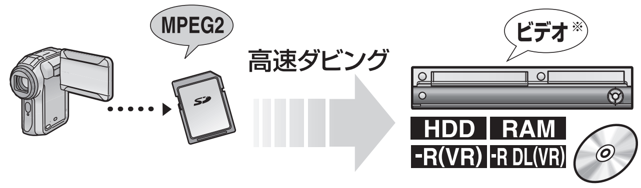
設定が終了したときは：
●[◀]を押す
(➜65手順5へ)

SD カードの MPEG2 動画をダビングする

詳細ダビング

手順5で ディーガがしゃべる!

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2 動画を、SDカードからHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)に保存できます。ダビングをすると、ダビング先では撮影した日付単位で1番組(ビデオ)として扱われます。



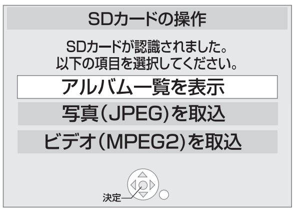
※通常の録画番組

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- SDカードを入れる。(➜17)
- DVD-RAMまたはDVD-R(VR 方式)、DVD-R DL(VR 方式)を入れる。(➜17)
  (フォーマット確認画面が表示されたとき ➜78)

SD

停止中にSDカードをスロットに入れると、下図のような画面が自動的に表示されます。[▲][▼]で「ビデオ(MPEG2)を取込」を選び、[決定]を押すと、右記手順5の操作に進むことができます。(画面上で設定項目を確認し、必要に応じて手順 4 で設定を変更してください)



- カード内にあるMPEG2動画は自動的にダビングリストへ登録されます。
- カード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」は表示されません。

お知らせ

- SDカードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。まずHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR 方式)、DVD-R DL(VR方式)にダビングしてください。
- MPEG2動画をダビング中は、録画や再生はできません。
- 写真とMPEG2動画を同じリストに登録することはできません。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

音声ガイドをやめるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜82)

ダビングを途中でやめる

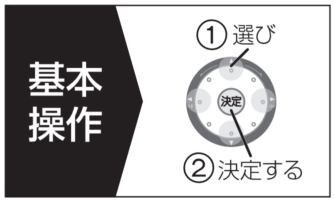
[戻る] を 3 秒以上押したままにする

この方法では、ダビング元➡ ダビング先に以下の方向が選べます:

SD ➡ HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

1 停止中に、[操作一覧] を押す

- 操作一覧メニューが表示されます。



2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

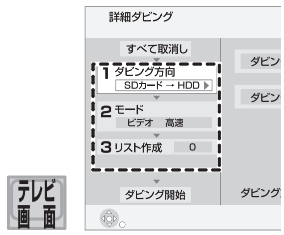
3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す

- ダビング設定画面が表示されます。

4 設定したい項目を選び、[▶]を押す

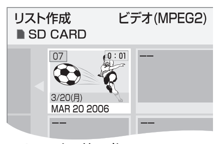
- **操作方法は“ダビングリストを作成してダビングする” (➜66)をご覧ください。**

設定項目は、以下のように設定してください。
・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「SDカード」
・「モード」　　　:「ダビング素材」➜「ビデオ」
・録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。



例) ダビング先「HDD」

- リスト作成画面では、撮影した日付単位で静止画が表示されます。



リスト作成画面

動画ファイルごとの記録内容を確認するには
(➜ 右ページ“チャプターの確認をする”)

5 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

- 確認画面が表示されます。

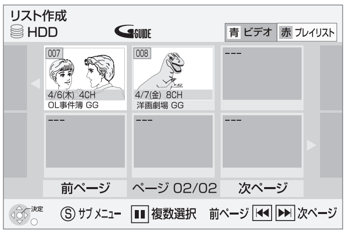
6 [◀]で「はい」を選び、[決定] を押す

- ダビングが開始されます。

ダビングリストの便利な機能

番組のダビング時

リスト作成画面が表示されているとき
(“ダビングリストを作成してダビングする”の「リスト作成」時 ➔66, 左ページ)



テレビ画面

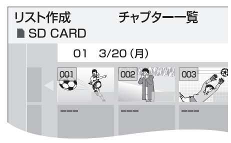
1 番組などを選び、サブメニュー Ⓢ を押す

例) HDD

- 内容確認
- リスト表示
- 他の画像一覧へ

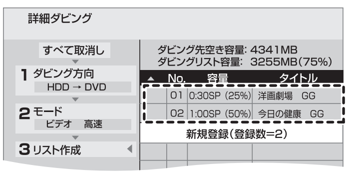
前後のページを表示するには
[⏮] (前ページ)または
[⏭] (次ページ)を押す
- サムネイル表示時には、[▲][▼][◀][▶] で“前ページ”または“次ページ”を選び、[決定] を押しても、ページの切り換えができます。

2 項目を選び、決定 を押す

番組などの内容を確認する 内容確認	●選んだ番組などの番組名、録画日、チャンネルなどが表示されます。
並び替えをする 並び替え (HDD リスト表示時のみ)	●番組の表示順を変更します。表示順は No、録画日、曜日、CH、開始時刻、番組名が選べます。 (番組に ☑ が付いている場合はできません) 表示順は、リスト登録画面の「リスト作成」に戻るか、ダビングの画面を消すと、取り消されます。
表示方法を変更する リスト表示 サムネイル表示	●リスト作成画面の表示方法を変更します。(プレイリスト、MPEG2動画はサムネイル表示のみ可能) (番組に ☑ が付いている場合はできません)
他の画像一覧に切り換える 他の画像一覧へ HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	●「ビデオ」または「プレイリスト」一覧画面に切り換えます。(ダビング素材に「ビデオ」を選択した場合のみ)
チャプターの確認をする チャプター一覧へ (SD MPEG2動画のみ)	●SDカードのMPEG2動画の記録内容(チャプター)を確認できます。 ●記録内容は静止画で表示されます。 

番組、写真のダビング時

リスト登録画面が表示されているとき
(“ダビングリストを作成してダビングする”の「リスト作成」時 ➔65,66,74)



1 番組などを選び、サブメニュー Ⓢ を押す

例)番組のダビング

- リスト全消去
- 追加
- 消去
- 移動

まとめて登録/消去するには
[▲][▼][◀][▶] で選び、
[一時停止❚❚] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度 [一時停止❚❚] を押すと解除されます。

2 項目を選び、決定 を押す

リストの項目を入れ替える	① [▲][▼] で不要な項目を選び、[決定] を押す ② [▲][▼][◀][▶] で新しく登録したい番組やプレイリスト、写真などを選び、[決定] を押す ●項目が入れ替わります。
登録されたリストや設定を一度に取り消す すべて取消し	① [▲] で「すべて取消し」を選び、[決定] を押す ② [◀] で「はい」を選び、[決定] を押す ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをした場合 ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、カードを取り出す、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行った場合
リストに登録された項目を変更する リスト全消去 追加 消去 移動	**リスト全消去:** リストに登録されている項目をすべて消去します。 **追加:** 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。「追加」を選んだときは、さらに [▲][▼][◀][▶] で追加する番組やプレイリスト、写真などを選び、[決定] を押してください。 **消去:** 選んだ項目を消去します。まとめて消去することもできます。(「リスト全消去」➔上記) 「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定] を押してください。 **移動:** 選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。「移動」を選んだときは、さらに [▲][▼] で移動先を選び、[決定] を押してください。(ダビング素材が「写真」のときはできません)

録画時間を指定してダビングする [カセット、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングする]

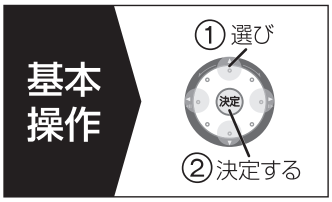
カセットやディスクを再生しながら、再生している内容をダビングします。設定した時間に合わせてダビングすることができます。

この方法では、ダビング元➡ダビング先に以下の方向が選べます:

VHS ➡ **HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(V)** **+R**
ダビング開始時のテープの停止位置からダビングします。
●録画モードを「FR」に設定し、時間設定を「切」にした場合は、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。(詳しくは➜右ページ"録画モード「FR」について")

DVD-V (ファイナライズ後の **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R**)➡ **HDD** **VHS**
(ファイナライズ後の+R DLからもダビングできます)
●ファイナライズ(➜80,88)された **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** の番組をHDDにダビングすると、番組を再編集できます。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜16)
ダビング先:
●DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜17)
●VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
●十分な残量があることを確認しておく。
ダビング元
●ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。
●ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。



1 停止中に、[操作一覧] を押す
●操作一覧メニューが表示されます。

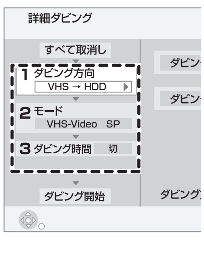
2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す
●ダビング設定画面が表示されます。

4 設定したい項目を選び、[▶]を押す(➜ 右ページへ)
●各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。



テレビ画面



1 ダビング方向 VHS → HDD
2 モード VHS-Video SP
3 ダビング時間 切

☞前の画面に戻るには
[戻る] を押す



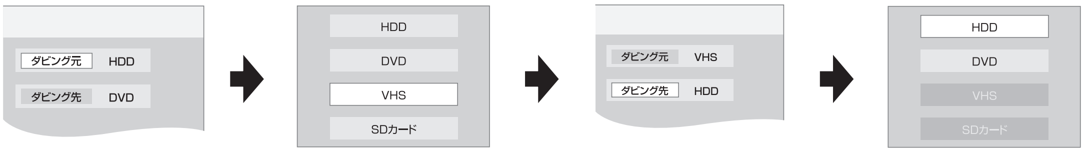
お知らせ
● **DVD-V** (ファイナライズ後のディスクを含む)をダビングする場合、ダビング中に行った操作や画面表示をそのまま記録します。ただし、**HDD** へダビングするときは、早送り･早戻し、コマ送り･コマ戻し、一時停止をすると、その部分の映像は記録されません。(**VHS** へのダビングでは記録されます)
●ファイナライズした **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** の番組をダビングしたい場合は、ダビングリストを作成してダビングしてください。(➜65)
●高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
●DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。

ダビング方向を設定する
1 ダビング方向
●何から何にダビングするかを設定します。

録画モードを設定する
2 モード
●録画モードについて(➜19)

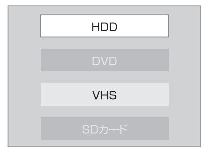
ダビング時間を設定する
3 ダビング時間

画面表示の例)ダビング元に「VHS」、ダビング先に「HDD」を選んだとき



1. **「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す**
2. **「DVD」または「VHS」を選び、[決定]を押す**
3. **「ダビング先」を選び、[決定]を押す**
4. **「HDD」、「DVD」または「VHS」を選び、[決定]を押す**

- ダビング元とダビング先に同じ操作先を選ぶことはできません。
- ダビング元に「VHS」を選んだときは、ダビング先に「HDD」と「DVD」のみが**(右上の図)**、ダビング元に「DVD」を選んだときは、ダビング先に「HDD」と「VHS」のみが選べます**(右図)**。



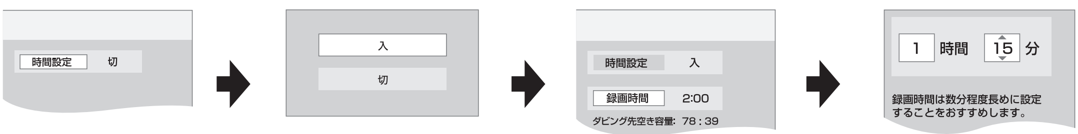


例）ダビング先「HDD」　例）ダビング先「VHS」

1. **「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す**
2. **録画するモードを選び、[決定]を押す**

- ダビング素材は自動的に「VHS-Video」または「DVD-Video」になり、変更はできません。
- カセットをダビングするときは、「高速」は選べません。
- ファイナライズされたDVDディスクをダビングするときは、「高速」と「FR」は選べません。**(右図)**





1. **「時間設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す**
2. **「入」または「切」を選び、[決定]を押す**
3. **左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び[決定]を押す**
4. **"時間"または"分"を選んで[▲][▼]で設定し、[決定]を押す**

- 時間を設定するときは、[1]～[10/0]も使えます。
- 25時間を超えて設定することはできません。
- ファイナライズされたDVDディスクをダビングするときは、再生を始めるまでの操作時間もダビング時間に含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。
- 録画モードを「FR」に設定している場合、「時間設定」の切/入によって下記(録画モード「FR」について)のような違いがあります。(カセットをダビングする場合のみ)
- 録画モードを「FR」以外に設定している場合、「時間設定」を「切」にすると、テープの終端になるか、HDDまたはディスクの容量がなくなるまでダビングを続けます。

続けて次の項目を設定するときは:
- [◀]を押したあと[▼]で項目を選び、[▶]を押す(➜左記へ)

設定が終了したときは:
- [◀]を押す
(➜72手順5へ)

録画モード「FR」について

ディスクの空き容量を計算して、ディスクに収まるように録画モードを自動的に設定します。

●録画モード「FR」で「時間設定」を「切」に設定した場合は

- カセットに録画されている部分(未記録部分は録画しません)だけすべてをダビングします。
- HDDでは、4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
- ダビングを開始すると、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。ディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングが中断されます。
- テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して録画します。

●録画モード「FR」で「時間設定」を「入」に設定した場合は

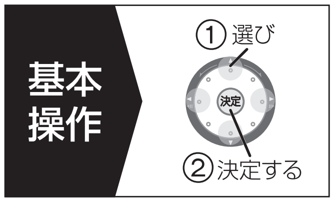
- カセットのダビング開始点から、設定した録画時間分だけを(未記録部分も録画します)ダビングします。
- HDDでは、設定した録画時間で4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
- 番組分割はしません。**HDD** **RAM** **-R(VR)** のみ、チャプターが作成されます。



手順5でディーガがしゃべる!

録画時間を指定してダビングする

[カセット、ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) をダビングする] (つづき)　詳細ダビング



5 「ダビング開始」を選び、(決定) を押す

●確認画面が表示されます。

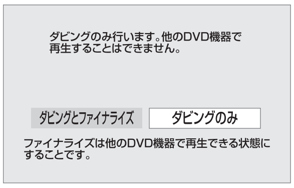
6 「はい」を選び、(決定) を押す

●ダビングが開始されます。
●ダビングしたい番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。
ただし、テープの終端になるか、HDDまたはディスクの残量がなくなったときは、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

VHS ➡ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R の場合

☞ファイナライズ確認画面が表示されたとき
(VHS ➡ -R(V) -RW(V) +R の場合)

「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、(決定) を押す



●「ダビングのみ」を選ぶと、ダビングのみ行います。ダビング終了後に他の機器で再生するには、DVD管理でファイナライズを行ってください。(**➜80"他の機器で再生できるようにする"**)
●「ダビングとファイナライズ」を選ぶと、ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜88)を行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD機器でも再生できるようになりますが、あとから録画や編集をすることはできなくなります。

☞ダビングを途中でやめるには

(戻る) を 3 秒以上押したままにする

●ファイナライズ中は中止できません。
●ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。

DVD-V ➡ HDD VHS の場合

●「ファーストプレイ選択」(➜80)で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まります。
●最初に右の画面がダビングされます。
●ダビングの開始から終了までが1番組として記録されます。(ただしHDDへダビングする場合、8時間を超える番組は8時間ごとに分割されます)



☞トップメニューが表示されたとき

[▲][▼][◀][▶]でダビングを始めたい番組を選び、[決定] を押す



●選んだ番組から順に再生し、設定した時間まで録画します。
●ディスクの最後の番組の再生が終わったあとは、設定時間までトップメニューを録画します。

☞好みの番組を再生するには
① [再生ナビ]を押す
② [▲][▼][◀][▶]でダビングを始めたい番組を選び、[決定] を押す

☞ディスクの再生が始まらないとき
① [再生▶]を押す
② (トップメニューが表示されたら)
[▲][▼][◀][▶] でダビングを始めたい番組を選び、[決定] を押す

☞ダビングを途中でやめるには

(戻る) を3秒以上押したままにする、または (停止■) を押す

お知らせ

●**市販のDVDビデオやビデオソフトのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングすることはできません。**
録画禁止処理がされているディスクやカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。

☞前の画面に戻るには

(戻る) を押す

☞音声ガイドをやめるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜82)

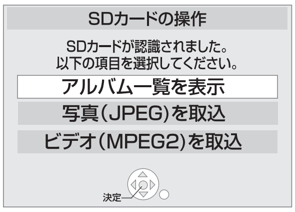
写真をダビングする

HDD **RAM** **SD**

- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)
- CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。
- カセットにはダビングできません。

SD

停止中にSDカードをスロットに入れると、下図のような画面が自動的に表示されます。[▲][▼]で「写真(JPEG)を取込」を選び、[決定]を押すと、右記手順4の操作に進むことができます。



写真を組み合わせてダビングしたいときは、[戻る]を押し(画面が消えます)、74ページ手順 1 に進んでください。

写真のダビングについて

- フォルダ単位でダビングする場合や「写真(JPEG)一括取込」の場合は、フォルダ内の写真以外のファイルもダビングされます(フォルダ内の下位フォルダは除く)。
- ダビング先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
- ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜7)がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
- ダビング元のフォルダ名が入力されていない場合は、ダビング先ではフォルダ名の番号が変わることがあります。ダビング前にフォルダ名を入力することをおすすめします。(➜54「アルバム名入力」)
- プリント枚数の設定(DPOF)や写真の回転情報はダビングされません。
- ダビング後の写真の表示順は、写真が作成された日時の順になります。
- ダビングリストへの登録順は、ダビング先に反映されないことがあります。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

ダビングを途中でやめるには

[戻る] を 3 秒以上押したままにする

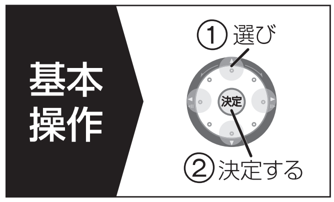
カードの写真を一度にHDDやDVD-RAMにダビングする

写真(JPEG)一括取込

この方法では、ダビング元➡ダビング先に以下の方向が選べます:

SD ➡ **HDD** **RAM**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して「SD」を選ぶ。(➜14)
- SDカードを入れる。(➜17)
- DVDにダビングするときは、DVD-RAMを入れる。(➜17)
  (フォーマット確認画面が表示されたとき ➜78)

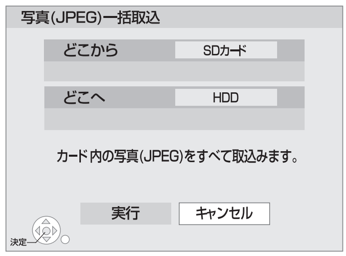


1 停止中に、[操作一覧] を押す

- 操作一覧メニューが表示されます。

2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「写真(JPEG)一括取込」を選び、[決定] を押す



[テレビ画面]

4 「どこへ」を選び、[◀][▶]でダビング先を設定する

5 「実行」を選び、[決定] を押す

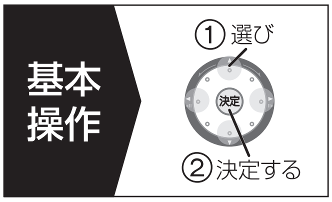
- ダビングが開始されます。

ダビングリストを作成してダビングする

この方法では、ダビング元➡ダビング先に以下の方向が選べます：
HDD RAM SD ➡ HDD RAM SD

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- DVD-RAMまたはSDカードを入れる。(➜17)
  (フォーマット確認画面が表示されたとき➜78、SDカードの操作画面が表示されたとき ➜73)

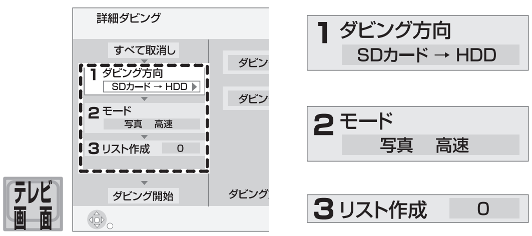
1 停止中に、[操作一覧] を押す
- 操作一覧メニューが表示されます。



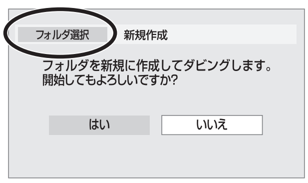
2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す
- ダビング設定画面が表示されます。

4 設定したい項目を選び、[▶] を押す (➜ 右記へ)
- 各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。



5 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す
- 確認画面が表示されます。
- 写真単位のダビングの場合は、別のフォルダをダビング先に指定できます。(➜ 右ページ)



6 「はい」を選び、[決定] を押す
- ダビングが開始されます。

ダビング方向を設定する

1 ダビング方向
- 何から何にダビングするかを設定します。

ダビング素材を設定する

2 モード
- 写真のダビングでは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

ダビングする写真やフォルダを選ぶ

3 リスト作成
- 右記手順を繰り返し、複数の写真またはフォルダをダビングリストに登録できます。
- 写真とフォルダや、別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。

写真単位で登録する

フォルダ単位で登録する

写真のダビングについて(➜73)

ダビングリストの便利な機能(➜69)

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

音声ガイドをやめるには

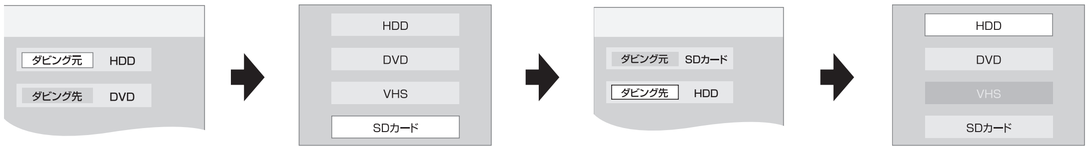
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜82)

ダビングを途中でやめるには

[戻る] を３秒以上押したままにする



画面表示の例)ダビング元に「SDカード」、ダビング先に「HDD」を選び、写真をダビングするとき



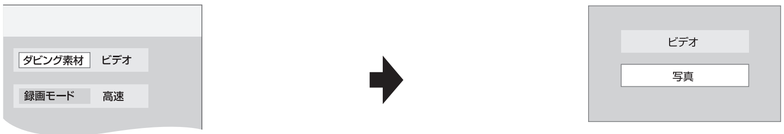
「ダビング元」が選ばれている状態で、(決定) を押す

「SD カード」などを選び、(決定) を押す

「ダビング先」を選び、(決定) を押す

「HDD」などを選び、(決定) を押す

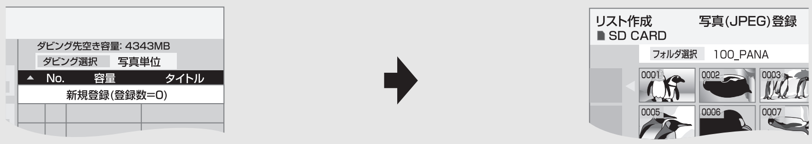
●ダビング元とダビング先に同じ操作先が選べます。



「ダビング素材」が選ばれている状態で、(決定) を押す

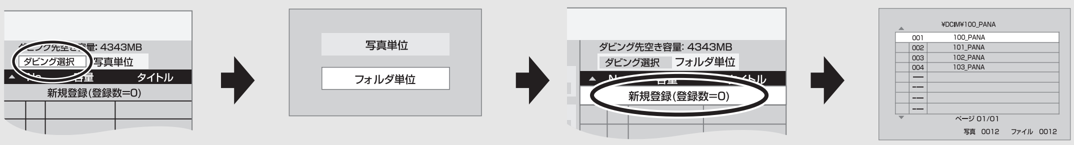
「写真」を選び、(決定) を押す

●「ビデオ」を選んだ場合
・ダビング元が「SD」のときは、MPEG2 動画のダビングになります。**(➜68)**
・ダビング元が「HDD」、「DVD」のときは番組やプレイリストのダビングになります。**(➜65)**



「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、(決定) を押す

ダビングする写真を選び、(決定) を押す



「ダビング選択」を選び、(決定) を押す

「フォルダ単位」を選び、(決定) を押す

「新規登録(登録数=0)」を選び、(決定) を押す

ダビングするフォルダを選び、(決定) を押す

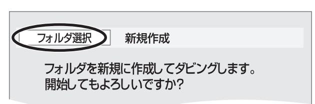
☞**別のフォルダの写真を選ぶ / 上位フォルダを切り換えるには(➜ 下記)**

☞**前後のページを表示するには**
[|◀◀] (前ページ)または [▶▶|] (次ページ)を押す

☞**複数の写真、フォルダをまとめて登録するには**
[▲][▼][◀][▶]で写真またはフォルダを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。もう一度 [一時停止❚❚] を押すと解除されます。
●ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。

続けて次の項目を設定するときは:
●[◀]を押したあと[▼]で項目を選び、[▶]を押す(➜ 左記へ)

設定が終了したときは:
●[◀]を押す
(➜ 左ページ手順 5 へ)

別のフォルダの写真を選ぶ	① 「フォルダ選択」を選び、[決定] を押す ●上位フォルダを切り換えるには(➜ 下記) ② フォルダを選び、[決定] を押す 
別のフォルダをダビング先に指定する	① 「フォルダ選択」を選び、[決定] を押す ② フォルダを選び、[決定] を押す 
上位フォルダを切り換える (本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ)	① [サブ メニュー] を押す ② 「上位フォルダ選択」を選び、[決定] を押す ③ [◀][▶] でフォルダを選び、[決定] を押す ●上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。

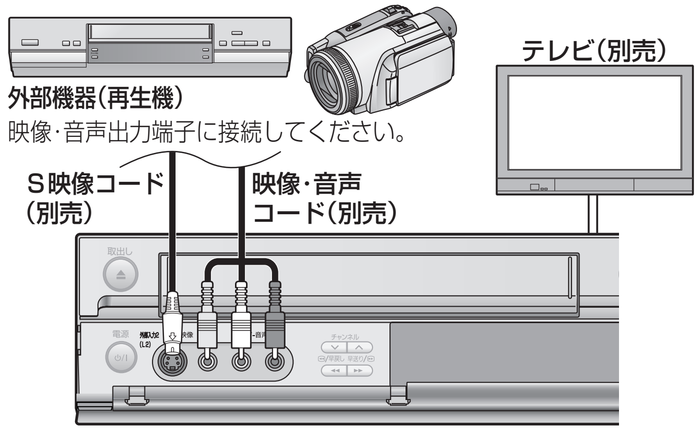
他のビデオやビデオカメラからダビングする

接続

接続時には、本機と他のビデオやビデオカメラなどの電源を切ってください。

外部入力に接続する場合

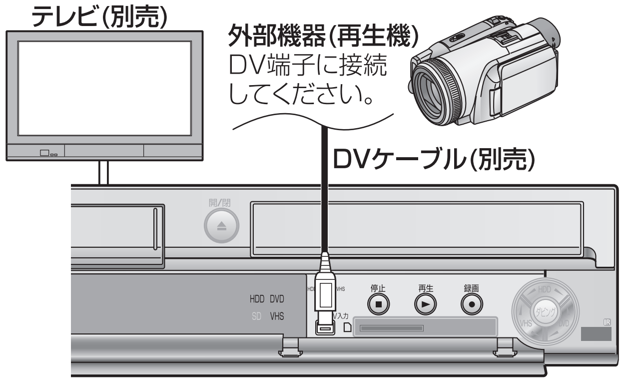
例) 外部入力 2(L2) 端子に接続する



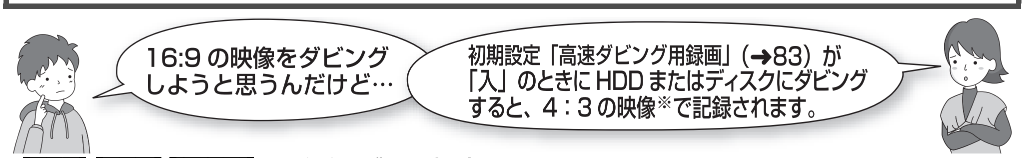
- 背面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続することもできます。外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。**(➜85)**
- **二重放送の音声をHDDまたはディスクに録音する場合**
  - ·**初期設定**「外部入力の音声」を「二重音声」にしてください。**(➜84)**
  - ·**-R(V)** **-RW(V)** **+R** にダビングするときや、**初期設定**「高速ダビング用録画」**(➜83)**が「入」のときは、**初期設定**「二重放送音声記録」で記録する音声を選んでください。**(➜84)**
- **外部機器の音声出力端子がモノラルの場合**
  - ·本機前面の外部入力2(L2)端子に接続するときは、映像端子 (黄または S 映像) と左/モノ音声端子(白)のみに接続してください。再生時に音声が左右両方から出力されるように記録されます。
  - ·本機背面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続するときは、ステレオ⟷モノラルの映像·音声コード(別売)をお使いください。
- S映像コードからの入力は、S1/S2規格**(➜89)**に対応しています。VHS側は、S映像コードからの入力はできますが、S-VHS 方式では録画できません。(VHS方式で録画されます)

DV 入力に接続する場合

DVケーブル 1 本で、ビデオカメラなどの映像や音声をダビングすることができます。(対応機種のみ)



- 記録する音声の種類を**初期設定**「DV入力時の音声の設定」**(➜84)**で選べます。
- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- 本機の DV 入力は DV 機器専用です。
- DV入力経由で本機に接続できるDV機器(ビデオカメラなど)は、1 台のみです。



- **HDD** **RAM** **-R(VR)** **にダビングする場合**
  初期設定「高速ダビング用録画」を「切」にすると、**16:9 の映像で記録**することができます。
- **-R(V)** **-RW(V)** **+R** **にダビングする場合**
  初期設定「高速ダビング用録画」の設定にかかわらず、**4:3 の映像※で記録**します。

※ テレビ側の画面モードを変更して画面サイズを調整できる場合があります。

接続した機器を再生してダビングする

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS
(-R DL(VR) -R DL(V) にはできません)

DVおまかせ取込機能を使ってダビングする

DV おまかせ取込

(DV入力端子に接続したときのみ)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R
(-R DL(VR) -R DL(V) VHS にはできません)

準備
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して録画先(「HDD」、「DVD」または「VHS」)を選ぶ。(➜14)
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜17)
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ(➜17)、録画開始点を探しておく。
- [録画モード]を押して、録画モード(➜19)を選ぶ。

1 入力切換 を数回押して、外部機器を接続した端子(外部入力チャンネル:L1、L2、L3、DV)を選ぶ
- チャンネル[∧][∨]を押しても選べます。
- VHS 「DV」は選べません。

2 接続した機器で再生を始める

3 録画を始めたい場面で、録画(ふた内部)を押す
- 録画が開始されます。

録画を一時停止するには

一時停止 を押す
- もう一度押すと、録画を再開します。

録画をやめるには

停止 を押す
- 接続した機器の再生も停止させてください。

ディスクの残量に合わせて録画する

(HDD/DVDに録画する場合)

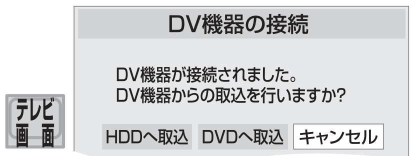
ぴったり録画(➜21)

お知らせ
- 本機を再生機として使うときは、テレビ画面にオンスクリーン表示を出さない設定(➜85)にすると、不要な文字や表示が出なくなります。

HDD RAM -R(VR) ダビングされると、映像の切れ目をチャプターの区切りとして、プレイリスト(➜51)が自動作成されるので、ダビング後の編集に便利です。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜16)
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜17)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]で録画先(「HDD」または「DVD」)を選び(➜14)、[録画モード]を押して録画モード(➜19)を選ぶ。

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく
- 「DV機器の接続」画面が表示されます。



「DV 機器の接続」画面が表示されないとき

手順 1 のあと
① 本機の停止中に、[操作一覧]を押す
② [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す
③ [▲][▼]で「DVおまかせ取込」を選び、[決定]を押す(手順 3 へ)

2 [◀][▶]でダビング先(「HDDへ取込」または「DVDへ取込」)を選び、決定 を押す

3 [◀]で「録画開始」を選び、決定 を押す
- DV機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。



前の画面に戻るには

戻る を押す

録画をやめるには

停止 を押す

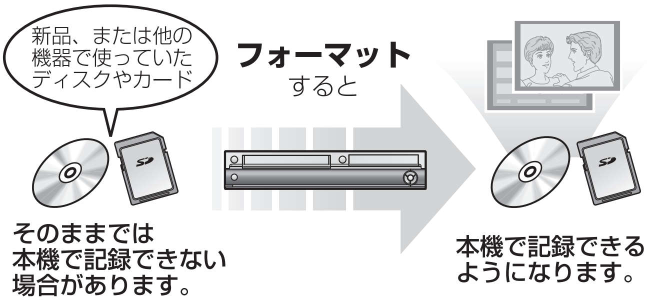
お知らせ
- DVおまかせ取込中は、追っかけ再生や同時録画再生はできません。
- DVおまかせ取込がうまく働かない場合は、接続とDV機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、"接続した機器を再生してダビングする"(➜上記)を行ってください。
  DV機器との互換性については、当社ホームページ(http://panasonic.jp/support/dvd/)をご覧ください。

お知らせ
- 日付や時刻情報は記録されません。
- DV 機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
- "接続した機器を再生してダビングする"またはDVおまかせ取込でダビング中に予約録画の開始時刻になると、以下の場合は予約録画が実行され、ダビングは中止されます。
  - ・HDD/DVDへダビング中に、HDD/DVDの予約録画開始時刻になった場合
  - ・VHSへダビング中に、VHS の予約録画開始時刻になった場合
- 接続した機器をテレビに近づけると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときは、できるだけ離してください。

HDD・ディスクやカードを整理する

フォーマット / ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

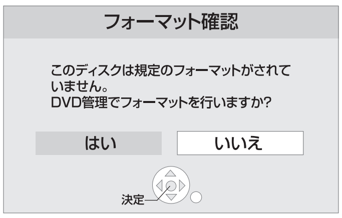
フォーマットとは



フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。(パソコンデータなども含む)すべて消去してよいか確認してから行ってください。(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます)

フォーマット確認画面が表示されたとき

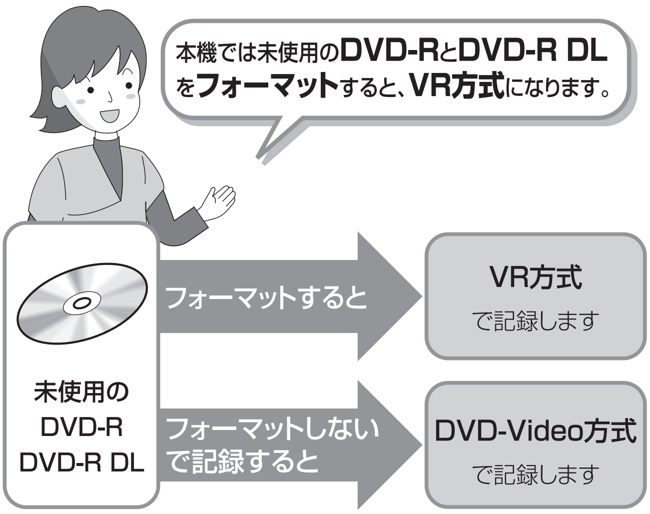
DVD-RAM、DVD-RW または +R を入れたとき



ディスクが本機で録画できる状態になっていないときに表示されます。ご使用になる場合は、画面に従ってディスクをフォーマットしてください。ただし記録していた内容はすべて消去されます。

[◀]で「はい」を選び、決定 を押す

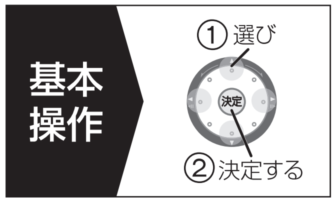
●引き続き操作が必要です。
(➜ 右ページ"ディスクやカードを初期化する")



●いったん録画またはフォーマットすると、あとで記録方式を変えることはできません。(記録方式の特長については➜4)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) -RW(VR) +R SD

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜16)
●[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜14)
●ディスクやカートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜右ページ)



1 停止中に、操作一覧 を押す

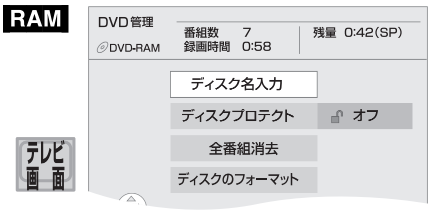
●操作一覧メニューが表示されます。

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

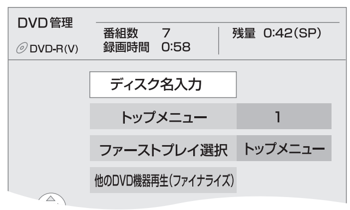
3 「HDD 管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

操作先によって、それぞれ以下のメニューを選んでください。
●操作先が「HDD」の場合:「HDD 管理」
●操作先が「DVD」の場合:「DVD 管理」
●操作先が「SD」の場合: 「カード管理」

例) RAM



例) -R(V)



4 整理したい項目を選び、決定 を押す
(➜ 右ページへ)

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消す

戻る を数回押す

音声ガイドをやめるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜82)

左ページ手順4のあとに操作します。

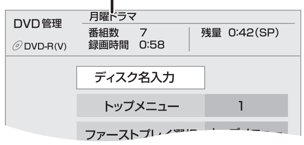
ディスクに名前を付ける

ディスク名入力

RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R
(ファイナライズしたディスクにはできません)

文字入力については(➔81)
●未使用のDVD-R、DVD-R DLにディスク名を入力すると、DVD-Video方式となり、VR方式としてフォーマットできなくなります。

入力したディスク名は、「DVD管理」画面に表示されます。



-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



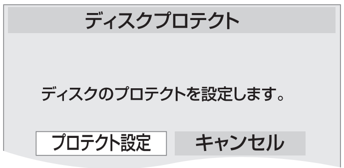
誤消去防止の設定/解除

ディスクプロテクト

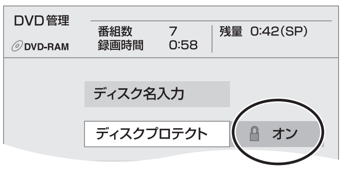
RAM -R(VR) -R DL(VR)
(ファイナライズしたディスクにはできません)

ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定)を押す

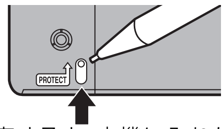


●プロテクト設定すると“🔒 オン”が表示されます。



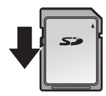
カートリッジ付きDVD-RAMやカードの場合
本機で左記の設定をしなくても、ディスクやカードで誤消去防止設定ができます。

カートリッジ付きディスク



設定すると、本機に入れたとき自動的に再生します。

SDカードなど



スイッチを「LOCK」側にする。

番組をすべて消去する

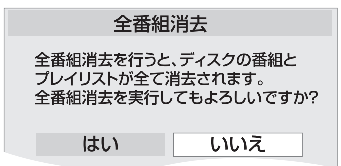
全番組消去

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)
(ファイナライズしたディスクではできません)



実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

1 [◀]で「はい」を選び、(決定)を押す



2 [◀]で「実行」を選び、(決定)を押す

お知らせ
●番組を全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、働きません。
● HDD RAM 写真は消去されません。
● -R(VR) -R DL(VR) 消去しても残量は増えません。

ディスクやカードを初期化する

HDDのフォーマット
HDD

ディスクのフォーマット
RAM -RW(V) -RW(VR)
+R (未使用のディスクのみ)

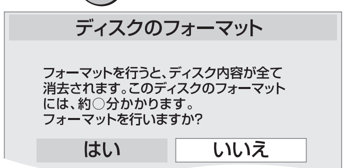
フォーマット(VR方式)
-R(V) -R DL(V)
(未使用のディスクのみ)

カードのフォーマット
SD



1 [◀]で「はい」選び、(決定)を押す

例) RAM



2 [◀]で「実行」を選び、(決定)を押す

●フォーマットが始まります。
通常は数分、(RAM 最大約70分)かかります。

フォーマットを中止するには
(戻る) を押す

● RAM フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

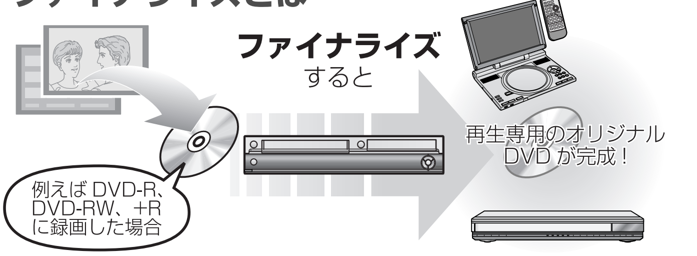
お知らせ
●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●CD-R/RW、録画済みのDVD-R、DVD-R DL、+Rはフォーマットできません。
● -RW(V) -RW(VR) 本機でフォーマットすると、DVD-Video方式になります。VR方式にフォーマットすることはできません。
●本機では未使用のDVD-R、DVD-R DLをフォーマットすると、VR方式になります。
(フォーマットすると、DVD-Video方式では記録できなくなります)

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

ファイナライズとは



そのままでは他の DVD 機器で再生できません。

他の DVD 機器で再生できるようになります。
ただし録画や編集はできなくなります。

- 他のDVD機器で再生するには、それぞれの機器がファイナライズしたディスクの再生に対応している必要があります。
- 本機でファイナライズしたディスクでも、録画状態により他の機器で再生できない場合があります。

ファイナライズの前に

必要に応じて

ディスク名入力　ディスクに名前を付けます
[➜79“ディスクに名前を付ける(ディスク名入力)”]

▼

トップメニュー　ディスクのメニュー画面の背景を決めます。

▼

ファーストプレイ選択　再生したときの始まりかたを決めます。
まずトップメニューを表示させる？　すぐ番組を再生させる？

▼

ファイナライズ　「他の DVD 機器再生(ファイナライズ)」を実行する。

これで再生専用のオリジナル DVD が完成です。

78 ページ手順 4 のあとに操作します。

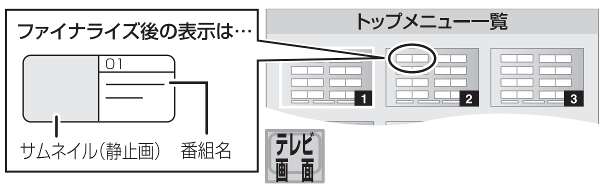
メニュー画面の背景を設定する

トップメニュー
-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

[▲][▼][◀][▶]でお好みの背景を選び、決定を押す

- トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(➜49「サムネイル変更」)



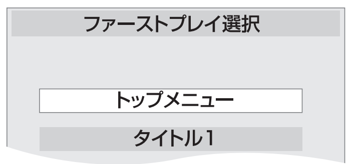
再生の始まりかたを設定する

ファーストプレイ選択
-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

[▲][▼]で「トップメニュー」または「タイトル１」を選び、決定を押す

トップメニュー：再生時、メニュー画面を表示する
タイトル１　　：再生時、ディスクの先頭から再生する



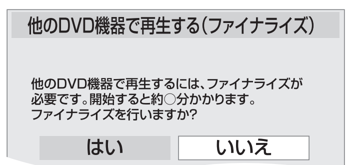
他の DVD 機器で再生できるようにする

他の DVD 機器再生(ファイナライズ)
-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

1 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

2 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

- ファイナライズが始まります。実行中は中止できません。
- ファイナライズは、数分から約 15 分(-R DL(VR) -R DL(V) 最大 60 分)かかります。
- 高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(最大で約 4 倍)



ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。
ディスクが使えなくなることがあります。

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

ファイナライズすると…

- -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R **再生専用となり、録画(ダビング)や編集はできなくなります。**
- -RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット(➜79)すると、繰り返してダビングや編集ができます。ただし録画していた番組などはすべて消去されます。
- -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R
  - ・高速モードでダビングした番組では、ダビング時に複製されたチャプターがファイナライズ後も保持されます。
  - ・直接録画した番組や、高速モード以外でダビングした番組では、約５分ごと(+R は約８分ごと)のチャプターが自動的に作成されます。(-R DL(V) は作成されません)実際に作成されるチャプターの長さは、録画状態や録画モードによって大きく変化します。
  - ・番組やチャプターのつなぎ目が数秒間静止するようになります。
  - ・**チャプターの最大記録数**：-R(V) -R DL(V) -RW(V) 約 1000、+R 約 250(記録状態によって変化します)

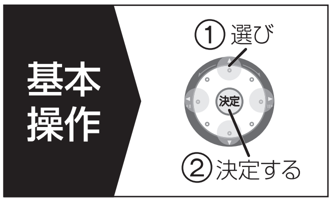
お知らせ

- 本機以外の機器で録画したディスクはファイナライズできないことがあります。
- 再生互換などのDVD関連情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

文字入力

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** **SD**

録画した番組などに名前を付けたり、番組表（Gガイド）で検索するキーワードを入力します。

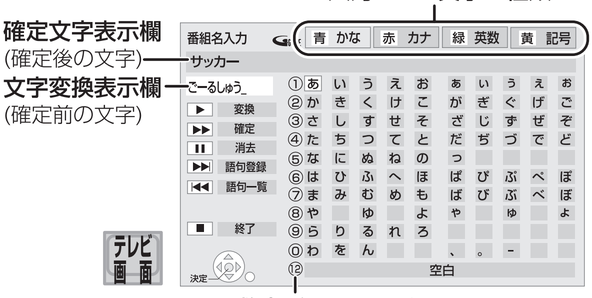


1 入力画面を表示する

- 予約番組に番組名を付ける(➔26)
- 録画した番組に番組名を付ける(➔49「番組名入力」)
- プレイリスト名を付ける(➔53「プレイリスト名入力」)
- ディスク名を付ける(➔79「ディスク名入力」)
- 写真のアルバム名を付ける(➔54「アルバム名入力」)
- 番組表(G ガイド)で検索するキーワードを入力する (➔29"ジャンル/キーワードで番組を探して予約する"手順3)

2 [青](かな)、[赤](カナ)、[緑](英数)、[黄](記号)で文字の種類を選び、[決定]を押す

- [▲][▼] [◀][▶]で文字の種類を選んで、[決定]を押しても、文字の種類が選べます。
- 漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。



3 入力する文字を選び、[決定]を押す

☞**ひらがなを入力するには**

[早送り ▶▶](確定)を押す

☞**ひらがなを漢字変換するには**

① [再生▶](変換)を押す
- 変換候補選択画面が表示されます。

② [▲][▼]で変換したい漢字の候補を選び、[決定]を押す
- [|◀◀]または[▶▶|]を押すと、前ページまたは次ページの文字候補選択画面が表示されます。
- [戻る]を押すと、入力画面に戻ります。

☞**よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出すには(➔右記)**

☞**消去するには**

[一時停止 ❚❚](消去)を押す

- 確定文字表示欄では"＿"の部分に文字が挿入されます。
- この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

4 入力が終わったら、[停止 ■](終了)を押す

- "書き込み中です…"と表示されたあと、番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

☞**前の画面に戻るには**

[戻る] を押す

☞**途中で終わるには**

[戻る] を数回押す

(入力した文字は保存されません)

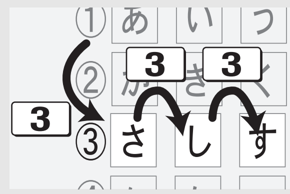
よく使う語句を登録する	**登録できる語句数**: 20個まで **登録できる文字数**(1個あたり): 半角英数 先頭から20文字 その他 先頭から10文字 **1 登録したい語句を入力後、[スキップ/頭出し ▶▶|](語句登録)を押す** **2 [◀]で「登録」を選び、[決定]を押す** ☞**登録を中止するには** [戻る] を押す ☞**番組表(Gガイド)上の語句を登録するには(➔29)**
登録した語句を呼び出す	**1 [スキップ/頭出し |◀◀](語句一覧)を押す** **2 [▲][▼][◀][▶]で呼び出す語句を選び、[決定]を押す** ●確定文字表示欄に選んだ語句が入力されます。
登録した語句を消去する	**1 [スキップ/頭出し |◀◀](語句一覧)を押す** **2 [▲][▼][◀][▶]で消去する語句を選び、[サブメニュー S]を押す** **3 「語句消去」が選ばれている状態で、[決定]を押す** **4 [◀]で「消去」を選び、[決定]を押す**

数字ボタン [1]～[10/0]、[12]でも文字を入力できます。

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

1 [3]を押す
- 「さ」行に移動します。

2 [3]を2回押し、[決定]を押す
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。



入力できる文字数について

	種類	半角英数	その他
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)	番組名※	64	32
	プレイリスト名	64	32
	アルバム名(-R(VR) -R DL(VR) を除く)	36	18
	ディスク名(HDD を除く)	64	32
-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
SD	アルバム名	36	18
番組表(Gガイド)	キーワード	30	15

※予約録画時 半角英数：44文字 その他：22文字

○○ お知らせ ○○
- 予約録画時の番組名など、入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

本機の設定を変える(初期設定一覧)

初期設定一覧(➜ **下記〜85**)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1 停止中に、[操作一覧] を押す

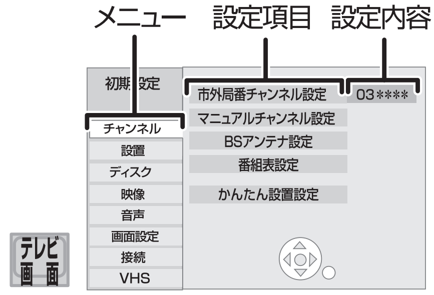
2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、[▶] を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定] を押す

6 [▲][▼]で設定内容を選び、[決定] を押す



☞**前の画面に戻るには**
[戻る] を押す

☞**画面を消すには**
[戻る] を数回押す

お知らせ
●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
チャンネル	市外局番チャンネル設定	▶市外局番入力
	マニュアルチャンネル設定(準備編 P.20)	▶CH ▶表示 ▶放送局名 ▶ガイド ▶微調整
	BSアンテナ設定(準備編 P.22)	▶BS電源 ▶ウェザーポジション ▶BSチャンネル ▶BSシステム
	番組表設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●Gガイド地域(準備編 P.23)	お住まいの地域を設定します。
	●ホスト局(準備編 P.23)	番組表(Gガイド)データの送信局を設定します。
	●データ受信時刻(準備編 P.23) 通常は変更しないでください。	→[決定]を押して、確認画面で「設定」を選んで[決定]を押し、さらに設定します。 ●自動 ●時/分：[11/取消し]を押した場合やデータ受信後は、「自動」に戻ります。
	●データ受信の時間帯設定 電源「切」時に、番組表(Gガイド)のデータを受信する時間帯を指定します。ただし、「データ受信時刻」(➜上記)が「自動」に設定されているときのみ有効です。	▶ すべて受信(時間帯制限なし) ▶ 昼間のみ受信 ▶ 夜間・早朝のみ受信 受信する時間は、"番組表(G ガイド)データ送信時刻" をご覧ください。(準備編 P.18)
	かんたん設置設定(準備編 P.16)	▶ する ▶しない
設置	自動電源〔切〕 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2H ▶6H ▶切 ●時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから2時間後または 6 時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード(準備編 P.24)	▶リモコン1 ▶リモコン2 ▶リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。 (準備編 P.26) (S映像出力 ➜89)	▶S1 ：テレビの端子が「S1」のとき。 ▶S1/S2 ：テレビの端子が「S1」または「S2」のとき。 ▶ 切 ：テレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき。(または、テレビ側の端子が「S」のとき)
	時刻合わせ(準備編 P.24)	▶(年/月/日/時/分) ▶自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「かんたん設置設定」などの実行時に、音声で操作ガイダンスを行います。	▶入 ：本書の [ディーガがしゃべる!] マーク部分で働きます。(詳しくは ➜3) ▶切
	クイックスタート 「入」に設定すると、電源「切」状態から以下の操作がすばやく行えるようになります。 ●[電源]を押して約 1 秒後にHDD、DVD-RAMへの録画を開始することができます。(➜20) その他の操作は、電源を入れてから数十秒かかります。 ●[番組表]を押して約 1 秒後に、番組表(Gガイド)を表示します。(➜24)(映像または S 映像コード接続時)	▶入 ▶切 「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時、または午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に "PLEASE"、"WAIT" が交互に表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、内部から動作音がしますが、故障ではありません)
	設定の初期化 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 (チャンネルの設定、時刻と視聴制限は除く)	▶ する ▶しない 設定の初期化を行うと、本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。本体表示窓に "U30" と表示され、リモコンが操作できなくなった場合は、リモコンモードを変更してください。(準備編 P.24)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
ディスク	**再生設定**	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	●視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 ・暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。 ・暗証番号は忘れないでください。	▶**レベル8 すべて視聴可**：すべてのディスクが視聴可。 ▶**レベル7～1**：制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ▶**レベル0 すべて視聴不可**：すべてのディスクが視聴不可。 ▶**ロック解除** ▶**暗証番号変更** ▶**レベル変更** ▶**一時解除**
	●DVD-AudioのVideoモード再生 DVDオーディオに収録されたDVDビデオ映像を再生します。	▶**入**(電源「切」または本体の**[開/閉⏏]**で「切」に戻ります) ▶**切**
	●音声言語 DVDビデオ再生時の音声を選びます。	▶**日本語** ▶**英語** ▶**オリジナル**(ディスクの最優先言語で再生) ▶**その他＊＊＊＊** **＊には[1]～[10/0]で言語番号(➜85)を入力** (選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面(**➜32**)でのみ切り換えるものもあります)
	●字幕言語 DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶**オート**： 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶**日本語** ▶**英語** ▶**その他＊＊＊＊**
	●メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶**日本語** ▶**英語** ▶**その他＊＊＊＊**
	記録設定	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	●EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。 **(録画モード➜19)**	▶**EP(6H)**：4.7 GBディスクに6時間記録 ▶**EP(8H)**：4.7 GBディスクに8時間記録
	●高速ダビング用録画 HDDに録画後、-R(V) -R DL(V) -RW(V) +Rに高速ダビングできるようになります。ただし記録される番組は画面サイズなどが制限されます。 **(➜右記)**「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、-R(V) -R DL(V) -RW(V) +Rへの高速ダビングはできなくなります。	▶**入**：高速ダビング対応にする→**[決定]**を押して、さらに「はい」を選びます。 ・録画または1倍速でダビング時、記録される番組には以下の制限がかかります。 - 画面サイズは 4:3 になります。 - 二重放送の音声は「二重放送音声記録」(**➜84**)で選んだほうの音声のみ記録されます。 ▶**切**
	●DVDの高速ダビング速度 高速モードでのダビング速度を設定します。 (RAM 5X、-R(VR) -R(V) +R 8X 以上の高速記録対応ディスクの場合など)	▶**最高速モード** ▶**静音モード**：ダビング時の動作音が小さくなります。ただし、ダビングの所要時間は長くなります。
	野球延長設定	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	●野球延長 「入」に設定すると、番組表に延長情報を含む番組と、同じチャンネルのそれ以降に放送される番組を予約録画する際、自動的に録画時間を延長します。**(➜28)**	▶**入** ▶**切** 予約時の設定ではなく、予約録画開始時点での設定が有効となります。
	●延長時間 延長録画を何分行うかを設定します。	▶**30分** ▶**60分** ▶**120分** 通常は、番組の最大延長時間に合わせて最大120分、録画を延長します。番組表に最大何分延長するかの情報が含まれていない場合(例：試合終了まで放送延長の場合など)のみ、ここで設定された時間分、延長録画を行います。
	番組追従 「入」に設定すると、番組表からの予約後に番組の放送時間が変更になっても、録画開始までに変更後の番組表データを受信すれば、その変更内容に合わせて予約を変更し、録画の失敗を防ぎます。**(➜28)**	▶**入** ▶**切** ●番組表から予約登録した番組にのみ働きます。(毎日・毎週予約を含む)ただし、「CH」「開始」「終了」を変更した番組、または「番組名」をすべて消去した番組には働きません。 ●番組名を著しく変更した場合、変更後の番組名で番組を検索しますので、正しく働かない場合があります。 ●放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては正しく働かない場合があります。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
映像	**スチルモード** HDDまたはディスク再生時、一時停止中の画像の表示方法が選べます。(フレーム/フィールド ➜88)	▶オート ▶フィールド:動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき。 ▶フレーム:「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき。
	シームレス再生 HDDまたはディスク再生時、番組と番組のつなぎ目や部分消去した部分などの再生する状態が選べます。	▶入:なめらかに再生(早見再生中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります) ▶切:精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶入(ドルビーデジタルの音声にのみ働きます) ▶切
	二重放送音声記録 HDDまたはディスクに記録する二重放送の音声を選びます。	▶主音声 ▶副音声 以下の場合、選択された音声が記録されます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に録画·ダビングする場合 ●「高速ダビング用録画」(➜83)を「入」にして録画·ダビングする場合 ●「外部入力の音声」(➜下記)を「二重音声」にして外部入力(L1、L2、L3)から録画する場合 ●「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜下記)を「LPCM」にして録画する場合
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。	▶入:96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続したとき。 ▶切:96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続したとき。 176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわりなく48 kHzまたは44.1 kHz に変換されます。
	●Dolby Digital ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM(2ch)"に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream:ドルビーデジタルロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM:ドルビーデジタルロゴのない機器に接続したとき。 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 ドルビーデジタル
	●DTS DTSの信号を接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、本機で"PCM(2ch)"に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream:DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM:DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続したとき。 DTSデジタルサラウンド
	外部入力の音声 外部入力(L1、L2、L3)からHDDまたはディスクに録画する場合に、記録する音声の種別を設定します。(本機のVHSからHDD/DVDへダビングするときは、設定する必要はありません)	▶ステレオ ▶二重音声:二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➜上記)で音声をあらかじめ選んでください。
	記録音声モードの設定〔XP時〕 録画モードが XP時に、HDDまたはディスクに記録する音声の種類が選べます。 (XPでの録画時やダビング時に働きます)	▶Dolby Digital(➜89) ▶LPCM(➜89): ・画質は少し下がります。 ・XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜上記)であらかじめ選んでください。
	DV入力時の音声の設定 DV入力端子(➜76)から、HDDまたはディスクに録音する音声の種類が選べます。	▶ステレオ 1:DV録画時の音声(L1、R1)を録音するとき。 ▶ステレオ 2:編集などであとから追加した音声(L2、R2:ナレーションなど)を録音するとき。 ▶MIX:ステレオ 1 とステレオ 2 の音声を録音するとき。 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➜上記)で音声をあらかじめ選んでください。

メニュー	設定項目		設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
画面設定	**オンスクリーン表示〔オート〕** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。		▶ <u>入</u> ▶ **切**（表示しない）
	ブルーバック 受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。		▶ <u>入</u> ▶ **切**（表示しない）
	FLディマー 本体表示窓の明るさを調節します。		▶ <u>**常時 明**</u> ▶ **常時 暗** ▶ **オート**：再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・ボタン操作時に一時的に明るくなります。電源「切」時の消費電力の節電になります。 「常時 暗」または「オート」に設定したときは、本体のSDカードスロットの横にあるランプが消灯します。
接続	**接続するTV** 接続したテレビに合わせて設定します。 （ 準備編 P.26 ）		▶ <u>**4:3インターレース(525i)**</u> ▶ **4:3プログレッシブ(525p)対応** ▶ **16:9インターレース(525i)** ▶ **16:9プログレッシブ(525p)対応**
	TVアスペクト(4:3)設定 4:3テレビでの16:9映像の映しかたを選びます。	●DVD-Video	▶ <u>**パン&スキャン**</u>：左右の切れた映像で再生するとき。パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。 ▶ **レターボックス**：上下に帯のある映像で再生するとき。
		●DVD-RAM	▶ **スルー**：録画された映像の横縦比で再生するとき。 ▶ **パン&スキャン**：左右の切れた映像で再生するとき。 ▶ <u>**レターボックス**</u>：上下に帯のある映像で再生するとき。
	外部入力3の端子設定 背面の外部入力3(L3)に接続する機器に合わせて設定します。		▶ **ライン**：BSデコーダー以外と接続したとき。 ▶ <u>**BSデコーダー**</u>：BSデコーダーと接続したとき。
VHS	**テープ長さ**		▶ <u>**－120**</u>：T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。 ▶ **－160**：T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)カセットを使うとき。 ▶ **180**：T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。 ● D-VHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。

言語番号一覧

アイスランド	7383	オーリヤ	7982	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベトナム	8673
アイマラ	6589	オランダ	7876	ジャワ	7487	トンガ	8479	ベロルシア(白ロシア)	6669
アイルランド	7165	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ドイツ	6869	ベンガル(バングラ)	6678
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スロバキア	8375	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アッサム	6583	カタロニア	6765	スロベニア	8376	日本語	7465	ポーランド	8076
アファル	6565	ガリチア	7176	スワヒリ	8387	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アフリカーンス	6570	韓国(朝鮮)語	7579	スンダ	8385	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アブハジア	6566	カンナダ	7578	スペイン	6983	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アムハラ	6577	カンボジア	7577	ズールー	9085	ハンガリー	7285	マライ(マレー)	7783
アラビア	6582	キルギス	7589	セルビア	8382	バシキール	6665	マラッタ	7782
アルバニア	8381	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	バスク	6985	マラヤーラム	7776
アルメニア	7289	クルド	7585	ソマリ	8379	パシュト	8083	マルタ	7784
イタリア	7384	クロアチア	7282	タイ	8472	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
イディッシュ	7473	グアラニー	7178	タタール	8484	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
インターリングア	7365	グジャラト	7185	タミル	8465	ビハール	6672	モンゴル	7778
インドネシア	7378	グリーンランド	7576	タガログ	8476	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
ウェールズ	6789	グルジア	7565	タジク	8471	フィジー	7074	ラオ	7679
ウォロフ	8779	ケチュア	8185	チェコ	6783	フィンランド	7073	ラテン	7665
ヴォラピュック	8679	ゲール(スコットランド)	7168	中国語	9072	フェロー	7079	ラトビア(レット)	7686
ウクライナ	8575	コーサ	8872	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウズベク	8590	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	フリジア	7089	リンガラ	7678
ウルドゥー	8582	サモア	8377	テルグ	8469	ブータン	6890	ルーマニア	8279
英語	6978	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
エストニア	6984	ショナ	8378	トウイ	8487	ブルターニュ	6682	ロシア	8285
エスペラント	6979	シンド	8368	トルクメン	8475	ヘブライ	7387		

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

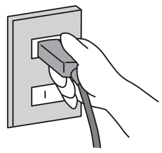
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

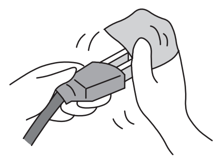
電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

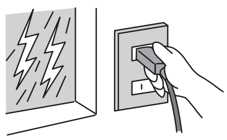


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

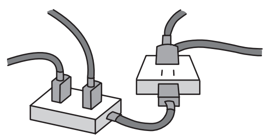
雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止



感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれ手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **落下などで外装ケースが破損したとき**
- **煙や異臭、異音が出たとき**

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

- 誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

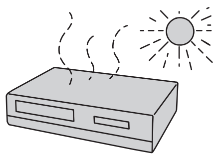
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

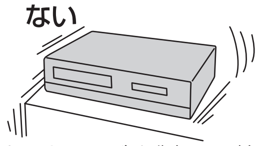


外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

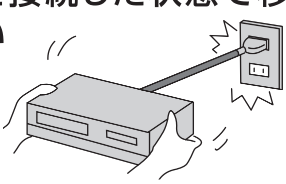
不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



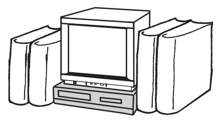
倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

用語解説

サ **サムネイル**

複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。（本機では、番組一覧などに番組内の1場面が表示されます）

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ **ダイナミックレンジ**

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス

ディスクに収録されたマルチチャンネル（サラウンド）の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。
DVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、本機では正常に再生できません。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドライブ

本機では、ハードディスク（HDD）、ディスク（DVD）、SDメモリーカード（SD）のことをいいます。データの読み書きを行います。

ハ **パン＆スキャン／レターボックス**

DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比が16：9）を前提に制作されているため、従来のサイズ（横縦比が4：3）のテレビに映し出そうとすると、16：9の映像が4：3に収まらなくなります。4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を映し出します。



ファイナライズ

録音・録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。
本機ではDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rのファイナライズが可能です。DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rをファイナライズすると再生専用ディスクとなり、録画や編集ができなくなります。
DVD-RWはフォーマットすると、繰り返し録画できます。

フィルム／ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。（映画の映像などで使われています）
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。（テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています）

フォーマット

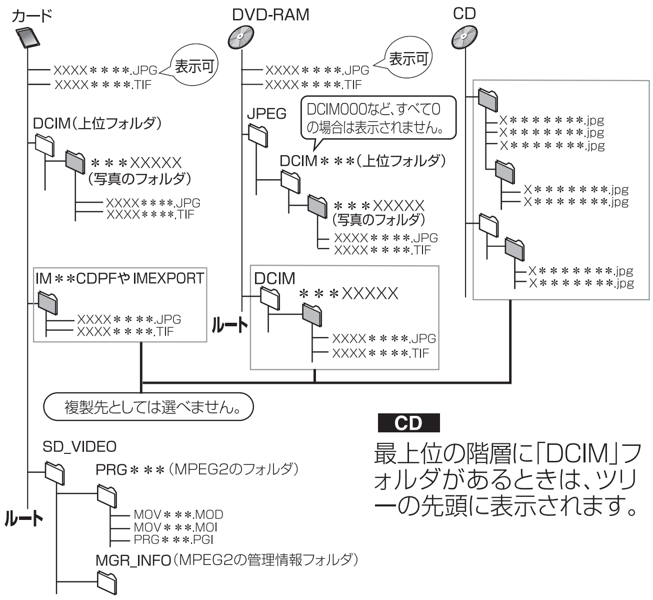
録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。
本機ではHDD、DVD-RAM、DVD-RW、SDメモリーカード、未使用のDVD-RまたはDVD-R DL、+Rのフォーマットができます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。未使用のDVD-RまたはDVD-R DLをフォーマットすると、DVD-R（VR方式）、DVD-R DL（VR方式）になります。

フォルダ

ハードディスクやSDメモリーカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真（JPEG/TIFF）やMPEG2の保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例

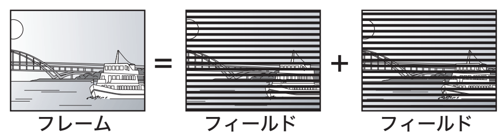
（フォルダ）：表示されるフォルダ　＊：数字　x：半角文字



- RAM SD ルート上のファイルは「上位フォルダ選択」で選ぶことができます。（➜39）
- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

フレーム／フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質はよくなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プログレッシブ／インターレース

従来の映像信号（NTSC）は525i（480i）（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525i（480i）信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p（480p）（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

プロテクト

記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

B

Bitstream（ビットストリーム）
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

C

シーピーアールエム
CPRM
コンテント　プロテクション　フォー　レコーダブル　メディア
（Content Protection for Recordable Media）
デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクに録画できます。

D

D1/D2映像出力
S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力［525p(480p)］にも対応しているため、525i(480i)信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2チャンネル）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。本機で録画すると、通常はドルビーデジタル（2チャンネル）で記録されます。

ディーポフ　デジタル　プリント　オーダー　フォーマット
DPOF（Digital Print Order Format）
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

ディーティーエス　デジタル　シアター　システムズ
DTS （Digital Theater Systems）
映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

E

イービージー　エレクトロニック　プログラム　ガイド
EPG（Electronic Program Guide）
テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表(Gガイド)を使って予約録画などができます。

H

HDD（ハードディスクドライブ）
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置のひとつです。表面に磁気体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

I

アイディースリー
ID3 タグ
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

アイアール
Ir システム
チューナーなどから予約録画などの信号を録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビのIrシステムがDVDレコーダーまたはビデオに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。チューナーなどの説明書をご覧ください。

J

ジェイペグ　ジョイント　フォトグラフィック　エキスパーツ　グループ
JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10〜1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L

エルピーシーエム　ピーシーエム
LPCM（リニア PCM）
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。本機では、XPモードで録画するときに選べます。

M

エムピースリー　エムペグ　オーディオ　レイヤー
MP3（MPEG Audio Layer 3）
元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでCD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

エムペグ　ムービング　ピクチャー　エキスパーツ　グループ
MPEG2（Moving Picture Experts Group）
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格のひとつです。
MPEG2はDVDやデジタル放送などに使われる圧縮方式で、本機では番組をMPEG2で録画します。
また、当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をSDカードからHDDやDVD-RAM、DVD-R（VR方式）、DVD-R DL（VR方式）にダビングすることができます。

P

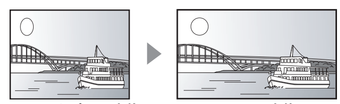
ピービーシー　プレイバック　コントロール
PBC（Playback Control）
ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
（本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています）

ピーピーシーエム　ピーシーエム
P.PCM（パックト PCM）
ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。

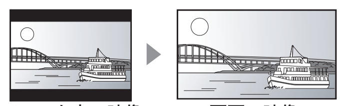
S

S映像出力
映像信号をC（色信号）とY（輝度信号）に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

●S1映像信号
映像の横縦比が4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。



●S2映像信号
S1の機能に加え、レターボックス(上下に黒帯が入っている映像)のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。



エスキューピービー　エスブイエッチエス　クアジ　プレイバック
SQPB （S-VHS Quasi Playback）
S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡易的に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。

エスブイエッチエス　イーティー
S-VHS ET
スーパー　ブイエッチエス　エクスパンション　テクノロジー
（Super VHS Expansion Technology）
VHSカセットにS-VHS方式で録画する機能です。
本機にはこの機能はありません。

T

ティフ　タグ　イメージ　ファイル　フォーマット
TIFF（Tag Image File Format）
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。デジタルカメラなどでは、高画質の画像を記録するために多く用いられています。

V

ブイビーアール　ヴァリアブル　ビット　レート
VBR（Variable Bit Rate）
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

Q＆A（よくあるご質問）

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。
「ページ」の項目の〇〇は別冊の取扱説明書 準備編のページを示しています。

	Q（質問）	A（回答）	ページ
設置／接続	転居先で使えるか？	●本機は日本国内専用です。東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使えません。	—
設置／接続	モノラルテレビと接続したいが？	●ステレオ⟷モノラルの映像·音声コード（別売）をお使いください。	裏表紙
設置／接続	ビデオ入力（映像·音声）端子がないテレビと接続したいが？	●本機とは接続できません。	—
設置／接続	ハイビジョンテレビに接続できるか？	●できます。特にDVDの場合は、高画質で楽しむために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式（MUSE）専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。	8
設置／接続	S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D映像入力端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらよいか？	●映像端子よりS映像端子、S映像端子よりコンポーネント映像/D映像端子が高画質になります。 ただし、D端子ケーブルで本機と接続した場合、電源を入れたときに、映像や音声の出力が遅くなります。	8
設置／接続	プログレッシブ映像を楽しむには、どんなテレビが必要か？	●D2、D3、D4のいずれかの入力端子のある当社製テレビであれば、対応しています。 テレビの説明書をご覧ください。他社製については、メーカーの問い合わせ窓口にご確認ください。	—
設置／接続	ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か？	●本機だけではマルチチャンネル音声は楽しめません。光デジタルケーブルで、ドルビーデジタルやDTSのデコーダー搭載アンプへ接続してください。 ●本機ではDVDオーディオ再生が2チャンネルのため、DVDオーディオはマルチチャンネル音声では楽しめません。	10 —
設置／接続	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげるか？	●本機には直接接続できません。アンプなどをとおして接続してください。	10
地上デジタル・BS・CS放送	地上、BS、CSデジタルの放送を見ることができるか？ また、それらの放送を録画できるか？	●BSチューナーを接続しなくても、本機でBS（アナログ）を見たり、HDD/DVDへ録画したりすることができます（BS9チャンネルではできません）。 ●本機だけでは地上デジタルやBS（デジタル）、CSの放送を見ることはできません。地上デジタル·BS/CSデジタルのチューナーなどを外部入力（L1～L3）に接続し、チューナーを接続した外部入力チャンネルを選ぶと、放送を見たり録画することができます。 ●チューナーのIrシステムがDVDレコーダーまたはビデオに対応している場合は、Irシステムを使って録画することができます。接続した機器の説明書をご確認ください。 ●有料放送を見るには、放送会社との（複数のBS放送を見るには放送局ごとに）受信契約が必要な場合があります。 ●デジタル放送には、著作権保護のため、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。このような映像を録画するには、HDDを使用するか“CPRM”対応のDVD-RAMまたは DVD-R（VR方式）が必要です。ディスクのジャケットなどで確認してください。また、録画したこれらの映像は複製できません。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、CPRM対応のDVD-RWやDVD-R(DVD-Video方式）には録画できません。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、カセットにも録画できます。 ●HDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組をCPRM対応のDVD-RAMまたはDVD-R（VR方式）、DVD-R DL（VR方式）にダビング（移動）することができます。 ●デジタルハイビジョン画質での録画はできません。	— 30 31 — 11 11 11 12 —
地上デジタル・BS・CS放送	BSアナログのハイビジョン放送は録画できるか？	●M-Nコンバーター内蔵の機器を本機の外部入力（L1～L3）に接続し、外部入力を接続したチャンネルを選ぶと録画できます。ただし、ハイビジョン画質では録画できません。	30
ディスク	両面のDVD-RAMは使えるか？	●使用できますが、両面にまたがった使いかたはできません。（自動で裏返すことはできません）	17
ディスク	CD-RやCD-RWは使えるか？	●CD-DA、ビデオCD、MP3や写真（JPEG/TIFF）のフォーマットで記録されたCD-RやCD-RWが再生できます。 ●本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	6 —
ディスク	海外で買ったDVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか？	●映像方式がNTSCであれば再生できます。 ● **DVD-A** 映像方式がPALの場合は、音声のみ再生できます。 ● **DVD-V** リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	— — 6
ディスク	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか？	●リージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。リージョン番号がない（規格を満たしていない）場合は再生できません。	—

	Q（質問）	A（回答）	ページ
カセット	S-VHSまたはD-VHSカセットを使って、録画・再生できるか？	●できます。ただし、S-VHS、D-VHSカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 デジタル（D-VHS）方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。	— 40
	S-VHS-CまたはVHS-Cカセットを使って、録画・再生できるか？	●カセットアダプター（別売）を使えばできます。ただし、S-VHS-Cカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたS-VHS-Cカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。	— —
	海外で録画したカセットを再生できるか？	●同じNTSC方式のSP（標準）、またはEP（3倍）で録画されたものならできます。	—
	本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？	●できません。	19
HDD・DVD録画・録音	市販のビデオやDVDから録画できるか？	●市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	—
	本機で録画したディスクは他の機器で再生できるか？	●RAM 当社製DVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。（2006年3月現在） ●-R(V) -RW(V) +R ファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます（ただし、すべての機器で再生保証するものではありません）。また、記録状態によって再生できない場合があります。 ●-R(VR) 2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーで再生できます。（2006年3月現在） ●-R DL(VR) DVD-R DL（VR方式）に対応した機器を使用してください。 ●-R DL(V) ファイナライズ後にDVD-R DL（DVD-Video方式）に対応した機器を使用してください。	— 80 — — 80
	本機でデジタル信号のまま録音できるか？	●デジタル信号では録音できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	—
	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか？	●デジタル信号（PCM）で録音できます。DVDの音声を録音する場合、**初期設定**の「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」：「入」 「Dolby Digital」：「PCM」 「DTS」：「PCM」 （ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です） ●MP3信号は録音できません。	84 —
	ディスクに高速でダビングできるか？	●高速記録対応のディスクを使用するとできます。	58
	MPEG4は録画できるか？	●できません。本機はMPEG4に対応していません。	—
	録画中、二重放送の音声を切り換えて聞くことはできるか？	●HDD RAM または -R(VR) に録画中は、**初期設定**「高速ダビング用録画」が「切」になっていれば、**[音声]**で切り換えられます。（録音される音声に影響はありません） ●-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R がディスクトレイにあるときは切り換えできません。 -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R の音声は録画（-R DL(V) ではダビング）する前に**初期設定**「二重放送音声記録」で切り換えておいてください。	45 84
VHS録画・録音	録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ（二重放送の主または副音声のみ）に切り換えて聞くことはできるか？	●できます。**[音声]**で聞きたい音声を選んでください。	45
	ステレオ放送の左または右音声のみ（二重放送の主または副音声のみ）を録音できるか？	●できません。	—
	VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか？	●BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。また、HDD/DVD側に切り換えて見ることもできます。	—
予約録画	予約録画は予約した順番に行われるのか？	●予約内容の日付・時刻順に行われます。	—
	予約録画の待機中に、他のディスクやカセットを見ることができるか？	●できます。	23
	予約録画開始時、テレビの電源は入れていなくてもいいのか？	●本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。 ●テレビのチューナーを使ってBS/CSデジタル番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。	— 30

こんな表示が出たら

「ページ」の項目の◯◯は別冊の取扱説明書 準備編のページを示しています。

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
テレビ画面	ディスクが入っていません。	●ディスクが裏返しになっていませんか。	17
	(対応)カードが入っていません。	●本機に対応したカードが入っていません。対応したカードを入れたのに表示された場合は、本体の電源を切り、カードを入れ直してください。 ●カードのフォーマットが異なっています。	7,17 7
	記録できないディスクが入っています。 このディスクは規定のフォーマットがされていません。	●本機で記録できないディスクが入っていませんか。 ● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R ファイナライズ後のディスクが入っていませんか。 ● RAM -RW(V) -RW(VR) +R フォーマットを行ってください。	6 4 79
	(ディスクなどが)いっぱいで記録できません。 番組数がいっぱいで記録できません。 ダビング先の容量が足りません。	●不要な番組や写真を消去してください。HDD RAM -RW(V) SD ●新しいディスクやカードを使ってください。	47,49,54 ―
	録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組数を超えていませんか。	11 ― 18
	ディスクへの書き込みができません。 フォーマットできません。	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	9
	ホスト局が設定されていません。 番組データは未取得です	●チャンネルと番組表(G ガイド)を設定してください。	20,23
	この放送局の番組データは取得できません。	●設定した「Gガイド地域」に対応したホスト局を選んでください。 ●放送局名が正しく設定されているか、「マニュアルチャンネル設定」で確認してください。	23 20
	予約チャンネルを合わせてください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード®予約ができません。	21
	⊘	●ディスクがその操作を禁止しています。 ●本機がその操作を禁止しています。ディスクが入っていない状態でDVDを再生しようとしていないか、または「VHS」選択中に［再生ナビ］など、VHS 側では操作できないボタンを押していないか、操作をご確認ください。	― ―
	再生できません。	●非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	6
	HDD/DVDが録画中です。VHSの映像は共用出力端子でご覧ください。	●本機のDVD優先出力端子を使ってテレビと接続している場合、HDD/DVD録画中はVHSの映像が映りません。VHSの映像をご覧いただくには、テレビ側で「ビデオ1」など、本機のDVD/VHS共用出力端子に接続したビデオ入力に切り換えてください。(本機のDVD/VHS共用出力端子との接続も正しくできているかご確認ください)	9
	本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしています。 ●本機の電源を切り、カードを入れ直してください。	7 17
	フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	88
	コピー禁止信号を検出したため、ダビングを中断しました。	●コピー禁止処理がされたカセットをダビングしようとしています。	62,70
	コピー禁止信号が設定されています。ダビングできません。	●コピー禁止処理がされたディスクをダビングしようとしています。	70
	デジタル放送などの1回だけ録画可能な番組はダビングできません。	●「1回だけ録画可能」な番組をダビングできないディスクへダビング(移動)しようとしています。「1回だけ録画可能」な番組は、HDD から CPRM 対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) へ移動できます。(HDD からは消去されます) ●「1回だけ録画可能」な番組をワンタッチダビングしようとしています。おまかせダビング、またはダビングリストを作成してダビングしてください。	12 61,65
	HDDの空き容量が足りません。最大4時間(SPモード)の空き容量が必要です。1倍速でのダビングは、HDDに番組を一時的に録画してから実行します。 HDDの番組数がいっぱいです。HDDの番組数をご確認の上、不要な番組を消去してください。1倍速でのダビングは、HDDに番組を一時的に録画してから実行します。	● -R DL(V) HDDの残量が少ないときや、HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が 500を超える場合、ダビングすることはできません。HDDの不要な番組を消去してください。	58

●HDD/DVDで録画中に、VHS側で上記のようなメッセージ画面が出るとき、メッセージの背景は黒くなりますが、故障ではありません。

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	GUIDE	●番組表(Gガイド)のデータ送信時刻になると表示されます。	18
	HARD ⟷ ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー(別売)(➜**裏表紙**)での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。[**開/閉▲**]を押してクリーナーを取り出してください。	9 —
	PLEASE ⟷ WAIT	●終了処理中です。"BYE"が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための、復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— —
	PROG ⟷ FULL	●すでに32件の予約がされています。不要な予約を消してください。	27
	SP 35:50 LP 151h HDD/DVDの場合 R 2:00 VHSの場合 SP、LPと数字は例です。	●HDDまたはディスク、テープの残量です。(異常ではありません) HDD/DVDの場合の例で、上段は残量が１００時間未満、下段は１００時間以上の場合に表示されます。「SP」、「LP」は録画モードを、「35:50」は「35時間50分」、「151h」は「151時間」を意味します。VHSの場合の例で、「R」は「Remain(残量)」を、「2:00」は「2 時間」を意味します。	20
	U30 2 ※ 1～3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[**決定**]を２秒以上押したままにしてください。	24
	U11 ※	●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	44
	U50 ※	●BSアンテナ線がショートしているため、自動的にBS電源を切りました。BSアンテナを正しく接続したあと、「BS電源」を再設定してください。	22
	U59 ※	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	87
	U61	●(ディスクトレイにディスクが入っていないとき)録画や再生、ダビング中に、異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示します。故障ではありません。表示が消えると使えます。	—
	U88	●(ディスクトレイにディスクが入っているとき)録画や再生、ダビング中に、ディスクに異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示します。故障ではありません。表示が消えると使えます。	95
	U99 ※	●本体が正常に動作しません。本体の[**電源⏻/I**]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	UNFOR ⟷ MAT	●フォーマット(初期化)されていない **RAM** **-RW(V)** **-RW(VR)**、未使用の **+R** または他の機器で記録された **-RW(V)** が入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	79
	UNSUP ⟷ PORT	●本機で再生や録画できないディスクが入っています。	6
	FINAL	●停止中に本体の[**開/閉▲**]を押して、記録済みの **-R(V)** **-RW(V)** **-R DL(V)** **+R** を取り出そうとすると表示されます。テレビ画面に指示が表示されますので、ファイナライズを行うか、行わずにディスクを取り出すかを選んでください。	21

※これらの表示をサービス番号と呼びます。上記に紹介している操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口(➜**105**)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、U99」(記号と数字は例です)などとお知らせください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜105)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- ●周期的なディスクの回転音がする。
(ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- ●電源切/入およびHDDの休止時に音がする。休止中の反応が遅い。
- ●早送り/早戻し(VHS 巻き戻し再生)すると映像が乱れる。
- ●気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- ●BS/CS放送の一時的な休止による受信障害。

「ページ」の項目の ○○ は別冊の取扱説明書 準備編のページを示しています。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	**電源が入らない**	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」の場合、本機の動作を安定させるため、予約録画終了時、または午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に"PLEASE"、"WAIT"が交互に表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、内部から動作音がしますが、故障ではありません)	14 82
	自動的に電源が切れた	●節電機能が設定されている。(**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2H」または「6H」になっている) ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を入れてください。	82 —
テレビ画面や映像	**本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった**	●分配器で、テレビと本機に電波を分配したためです。ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください) ●BSアンテナからの線が劣化している。販売店にご相談ください。	— —
	映像が出ない **映像が乱れる**	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビに接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしている。本体の **[停止■]** と **[VHS▶DVD](ダビング)** を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。	4,15 — —
	横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる **画面サイズがおかしい**	●テレビの画面モードなどを使って調整できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 ●**初期設定**「ワイドモード」や「接続するTV」、「TVアスペクト(4:3)設定」の「DVD-Video」や「DVD-RAM」の設定を確認してください。 ●D端子ケーブルで接続している場合、**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。効果がない場合や「切」にできない場合は、**初期設定**「接続するTV」を「4:3 インターレース(525i)」にしてください。	— 82,85 37,85
	録画した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●以下のように録画した場合、16:9映像は4:3映像で記録されます。 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画または1倍速ダビングした場合(お買い上げ時は「入」に設定されています) ・ -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に記録(ダビング)した場合 テレビの画面モードなどを使って調整できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	13,83
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「DNR」を「切」にしてください。	37
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時に、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像ソフトそのものの編集方法や、素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。	37
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	テレビにVHS側の画面が出ない	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。	4,9,15
	画面メッセージが出ない	●**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」を「切」にしている。	85
	ブルーバック(青い画面)にならない	●**初期設定**「ブルーバック」を「入」にしていない。	85
	地上デジタルやBS、CS放送が映らない **有料番組やハイビジョン放送が見られない**	●接続を確認してください。WOWOWなどは、各放送局と契約が必要です。 ●本機のBS-IF出力端子と接続したテレビでBS放送を見る場合は、本機を使用しない場合でも、必ず本機を電源コンセントに接続してください。 ●本機ではハイビジョン放送は見られません。	10,12 — —
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
	VHSの再生画面がブルーバックになる	●テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ●汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —
	VHSの画面が黒くなった **メニュー画面の背景が灰色になった**	●VHSの画面に本機のメッセージなどが表示されるとき、HDD/DVDで録画中の場合はメッセージの背景が黒くなります。メッセージが消えると元に戻ります。 ●VHS側で操作一覧メニューを表示させたときに、HDD/DVDで録画中の場合は画面の背景が灰色になります。操作一覧メニューを消すと元に戻ります。	— —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●メーカー番号が合っていない。電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。 ●電池が消耗している。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していない。 ●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）などがある。 ●受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていると、操作できない場合があります。 ●本体とリモコンモードが合っていない。 電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。	24 — 3 3 3 24
	操作できない	●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部操作ができない場合があります。 ●[HDD/DVD/SD/VHS 切換] で間違った操作先を選んでいる。 ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の[電源⏻/I]を押して、電源を切/入してください。電源が切れない場合は、本体の[電源⏻/I]を約10秒間押し続けるか（強制的に切れます）、電源プラグをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込んでください。それでも操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●"U59"点灯時は本体内部温度が高くなっています。"U59"が消えるまで待ってください。	— 14 — 93
本体	ディスク・カセットが入らない	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●正しく入れていない。	— 17
	ディスク・カセットが取り出せない	●録画、予約録画の実行中になっている。 ●上記のいずれの場合でもないときは、ディスクトレイは電源「切」状態で本体の[停止■]と**チャンネル[∧]**を同時に約5秒以上押したままにすると開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。 ●カセットは、電源「入」状態で「VHS」を選び、リモコンの[停止■]を約3秒以上押したままにしても取り出すことができます。	20,27 — —
	DVD-RAMの読み込み時間が長い	●本機ではじめて使用するディスクや、長時間使用しなかったディスクは、読み込み時間が長くなることがあります。**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても同様です。	—
	起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●HDDが休止状態になっている。または、**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていない。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、以下のような場合は起動に時間がかかります。 ・RAM 以外のディスクが入っている場合 ・時計が設定されていない場合や、停電直後または電源コードを差した直後 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、D端子ケーブルで接続している場合は、映像や音声の出力に時間がかかります。	8,82 — —
	番組表（Gガイド）受信中、音がする	●受信中は、HDDが起動するため、音がします。受信する時間帯を変更したい場合は、**初期設定**「データ受信の時間帯設定」で変更してください。	82
	昼の12:00頃に音がする	●時刻の自動修正を行っているためHDDの起動音がしますが、故障ではありません。	—
表示	時刻表示が"0：00"で点滅している	●時刻が合っていない。	24
	表示が暗い	●**初期設定**「FLディマー」で明るさを変えてください。	85
	録画や再生時の時間表示が実際よりも少なく表示される	●録画や再生時の時間表示は、映像信号を基準に1秒を0.999秒（29.97フレーム）としており、実際の録画時間より若干短くなりますが、実際の録画には影響ありません。（例：1時間番組は約59分56秒と表示）	—
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする MP3の再生時間が実際と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。 ●-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 録画（ダビング）や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。 ●早送り/早戻し中は、時間表示が正しく表示されないことがあります。	— — —
	本体表示窓に"U88"が表示され、ディスクが取り出せない	●以下の操作でディスクを取り出してください。 1 **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る**（電源が切れない場合は、本体の[電源⏻/I]を約10秒以上押したままにすると強制的に切れます） 2 **本機の電源が「切」の状態で、本体の[停止■]とチャンネル[∧]を同時に約5秒以上押したままにする**（ディスクトレイが開きます）	—
	VHSのテープカウンターの値が動かない	●テープの未記録部分では、値は動かずに秒表示の部分が右記のようになります。汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、右図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 -- --	—
HDD・DVD録画	録画できない	●ディスクが入っていない。または録画できないディスクが入っている。 ●フォーマットされていない RAM -RW(VR) -RW(V) +R やファイナライズ後のディスクが入っている。DVD-RWはフォーマットすると、繰り返し録画できます。 ●ディスクやカートリッジに誤消去防止（プロテクト）が設定されている。 ●録画制限のある番組を録画しようとした。 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は録画できません。（不要な番組を消去するか、新しいディスクを使う） ●-R DL(VR) -R DL(V) 本機では、直接録画することはできません。HDDからダビングしてください。 ●-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R ディスクの出し入れや電源の切/入を約50回以上繰り返すと、録画やダビング、編集ができなくなることがあります。 ●本機で録画したディスクは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。	4 79,80 79 11 47 5 — —
	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画や編集中に停電になったり電源コードを抜いたりした場合、番組が消失したり、ディスクが使えなくなる場合があります。フォーマット（HDD RAM -RW(V)）するか、新しいディスクを使ってください。（当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません） ●HDD 自動更新（オートリニューアル）を「入」にして予約録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、録画します。	79 23,28
	[停止■]を押しても、録画が終わらない	●録画中の操作先を選んでいない。[HDD/DVD/SD/VHS 切換] で選んでください。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」に設定されているとき、電源を入れてすぐ録画を開始した場合は、数秒間は録画を停止できません。	14 82

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
VHS録画	録画できない	●カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。 ●カセットの誤消去防止用つまみが"OFF"になっている。	18 18
	テレビ番組が録画できない	●録画したい番組のチャンネルを選んでいない。	20
HDD・DVD・VHS予約録画	予約録画が正しくできない Gコード®予約ができない	●予約内容が間違っている、または予約録画の時間帯が重なっている。 ●予約の実行が「切」になっている。予約一覧画面で"　"が表示されているときは、録画先の残量など、予約録画できる状態になっているか確認したあと、「予約実行入」にしてください。 ●ダビング中はVHSへの予約録画は実行されません。 ●1倍速でダビング中やファイナライズを含むダビング中は、HDD/DVDへの予約録画は実行されません。 ●ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 ●同じガイドチャンネルが複数設定されている。不要な方を削除してください。 ●時刻が合っていない。	27 27 — — 20 20 24
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日·毎週予約のときは消えません。	28
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の切/入にかかわらず実行されます。予約録画中の映像を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
	予約した番組と違う番組が録画されていた	●予約録画時に野球延長対応機能が働くと、録画した番組の最初、または最後の部分に最大120分、予約番組の前後に放送された番組の内容が含まれる場合があります。「部分消去」でこの部分を消去してください。	49
	野球延長対応機能が働かない	●**初期設定**「野球延長」が「入」になっていない。 ●番組表データに延長情報が含まれていない場合には働きません。また、本機では検出できない言葉を含んでいる場合など、番組表データの内容によっては、延長情報を含んでいても正しく働かない場合があります。 ●予約登録時ではなく、録画開始時点での延長情報に基づいて延長録画を行います。(新しい番組表データの受信により、延長情報の有無や内容が変わることがあります) ●19時より前に放送が終了する番組には働きません。 ●延長部分の録画中に別の予約録画が始まる場合、延長部分の録画を終了します。このような番組は予約一覧画面で「本編可」と表示されます。 ●野球延長対応機能は、最大で120分の録画時間延長が可能です。それ以上の延長放送を録画することはできません。	83 28 — — 102 28
	番組追従機能が働かない	●**初期設定**「番組追従」が「入」になっていない。 ●番組表を使って予約した番組でも、「CH」、「開始」、「終了」を変更した番組、または「番組名」をすべて消去した番組には働きません。 ●番組名を著しく変更した場合、変更後の番組名で番組を検索しますので、正しく働かない場合があります。 ●放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては正しく働かない場合があります。	83 — — — —
番組表(Gガイド)	番組表(Gガイド)が表示されない 8日分表示されない	●**初期設定**「番組表設定」を確認してください。 ●番組表(Gガイド)データは1日に数回送信されます。お買い上げ直後は、番組表(Gガイド)データが受信されていません。 ・電源「切」状態でしばらくお待ちください。(1日程度かかる場合があります。「番組表(Gガイド)データ送信時刻」をご覧ください) ・データ送信時刻に本機が電源「入」状態だった場合、以下の条件を満たすときのみデータ受信を行えます。 - データ送信時刻に本機のチャンネルがホスト局に設定されている - データ送信時刻に録画を行っていない ●時刻が合っていない。 ●ホスト局の電波が弱い場合や、強度のゴーストを含んでいる場合は、番組表(Gガイド)データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	82 18 19 24 —
	番組表(Gガイド)に表示されない放送局がある	●**初期設定**「マニュアルチャンネル設定」の「放送局名」が正しく設定されていない。 ●**初期設定**「Gガイド地域」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表(Gガイド)に放送内容は表示されません。	21 23
	番組表(Gガイド)に同じ放送局が2つ表示されている	●番組表(Gガイド)を表示する前に見ていた(またはHDD/DVDで録画中の)放送局は一番左に追加表示されるため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。どちらを選んでも問題はありません。	25
	番組表(Gガイド)に"予"が表示されない	●番組の一部のみを予約した場合は表示されません。 ●予約の実行を「切」にした場合は表示されません。	— 27
	録画した番組と番組名が合っていない	●予約設定後に番組内容が変更されても、予約時の番組名で録画されます。 ●携帯電話のEPG録画サービスを利用して予約を変更した場合、番組名が変更される場合があります。	— —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●正しい音声を選んでいない。[**音声**]を押して、正しい音声を選んでください。 ●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合や二重放送の番組を再生する場合は、**再生設定**「音声」メニューで「サラウンド」を「切」にしてください。 ●ディスク側で音声の出力方法が制限されている。マルチチャンネルのDVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されているため、本機では正常に再生できないものがあります。ディスクのジャケットなどを確認してください。 ●デジタル音声出力(光)端子から音声出力時は、音声効果が Bitstream信号には働きません。 ●**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画すると、主/副音声のどちらか一方しか記録されません。あとで -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングするつもりで録画する場合以外は、「切」にしてください。	84 45 37 ― ― 83
	音声が切り換えられない	●以下の場合は音声の切り換えができません。 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合(お買い上げ時の設定は「入」です) ・操作先に「DVD」を選択中、ディスクトレイに -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R が入っている場合 ・録画モードがXPで、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」が「LPCM」の場合 ●光デジタルケーブルでアンプと接続しているとき、**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図により音声が切り換えられないディスクもあります。	83 ― 84 84 ―
	VHS再生時にステレオ音声がブツブツと聞こえる	●トラッキングがずれている。 ●再生中のテープに傷などが付いている。	44 9
HDD・DVD再生	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ディスクを正しく入れていない(裏表が逆になっているなど)。またはディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスク、未記録のディスクが入っている。 ●他のDVDレコーダーやパソコンなどで録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ● RAM EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。	9,17 6 12 83
	映像や音声が一瞬止まる	●プレイリストのチャプターのつなぎ目で起きます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R 高速モードでダビングして、ファイナライズをした場合、部分消去をした部分やチャプターのつなぎ目で起きることがあります。 ●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ● -R DL(VR) -R DL(V) 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	― ― ― 5
	DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されている。**初期設定**の「視聴制限」を変更してください。	83
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていない。 ●**再生設定**の「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	― 32
	字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録されていない。 ●**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていない。	― 37
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	37
	視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。 操作先に「DVD」を選び、[**開/閉**▲]を押してトレイが開いている状態で、本体の[**録画**●]と[**再生**▶]を同時に5秒以上押すと戻ります。(本体表示窓に"INIT"が表示)	―
	早見再生ができない	●音声がドルビーデジタル以外の場合は働きません。 ●録画モードが"XP"または"FR"で RAM への録画中は働きません。	― ―
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。また、早見再生中は働きません。 ●最大49回働きます。(HDD :1番組あたり49回/ RAM -R(VR) -R DL(VR) :ディスク1枚あたり49回)それを超えた場合は働きません。	37 ―
	続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。 ・数回[**停止**■]を押す。 ・録画や予約録画を行った場合 ・トレイを開ける(HDD を除く) ・電源を切る DVD-A VCD CD SD	―
VHS再生	再生できない	●他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。	―
	再生画面がチラチラする	●ビデオヘッドが汚れている。 ●テープが古い、またはいたんでいる。	44 9
	再生画面にノイズが出る	●本機以外の機器で3倍/5倍モードを使って録画されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。 保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。	―

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
写真	再生ナビ画面を表示できない	●録画やダビング中はできません。	—
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。(カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定オフ」と表示される場合があります)	79
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れている。(カードの内容が壊れている場合もあります)他の機器ではFAT12またはFAT16で、または本機でフォーマットしてください。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっている。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。	7 7,88 — 7
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	— 79
HDD・DVD編集・整理	番組を消去しても残量が増えない	● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 消去しても残量は増えません。 ● -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ残量が増えます。途中の番組を消去しても残量は増えません。	— —
	編集できない	● HDD 空き容量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して空き容量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みの -R(VR) -R DL(VR) を使っている。	47,49 —
	フォーマットできない	●ディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスクを使っている。	9 6
	チャプターが作成できない 部分消去のイン点やアウト点が設定できない	●作成したチャプター情報は、電源を切るときまたはディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 ●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。 ●静止画部分では作成できません。	— — —
	チャプターが消去できない	●チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。	50
	プレイリストが作成できない	●番組が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。	51
ダビング・外部入力	DVD-R DL(DVD-Video方式)にダビングできない	● -R DL(V) 以下の場合ダビングできません。HDDの不要な番組を消去してダビングしてください。 ・HDDの残量が少ない場合(新品のディスク1枚全部にダビングする場合、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要になります) ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超える場合	47
	高速モードでダビングできない	● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R HDDへの録画前に**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」に設定している。(お買い上げ時の設定は「入」です) ● +R 録画モード「EP」または「FR(5時間以上録画した場合)」で録画した番組は高速でダビングできません。 ●他の当社製DVDレコーダーで、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画したディスクから本機のHDDへダビングした番組は、+R に高速でダビングできないときがあります。	83 — —
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っている。高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。 ●6時間以上の番組は、EP(8H)モードのない他の当社製DVDレコーダーでは、-R(V) に高速モードでダビングできません。	— — —
	カセットからディスクにダビングできない ディスクからカセットにダビングできない	●ディスクやカートリッジにプロテクトが設定されている。 ●「つめ」の折れたカセットが入っている。 ●市販されているビデオソフトやDVDソフト(レンタルビデオ、レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像は正しく録画・録音できません。 ●「1回だけ録画可能」な番組がダビングされたカセットの場合は、再度、HDD やCPRM対応の RAM -R(VR) にダビングするとき、「1回だけ録画可能」な番組の部分はダビングされません。 ●操作一覧メニュー、予約一覧画面などが表示されているときは、ダビングできません。	79 18 — 12 —
	編集後の音声レベルがHDD/DVD側とVHS側で合っていない	●ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、カセットに録画したときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。	—
	黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。接続した機器をテレビから離してください。	76
	DV おまかせ取込ができない	●録画できない場合や中断する場合は、接続と接続機器の設定などを確かめてください。 ●録画先に「HDD」または「DVD」を選んでいない。 ●DV機器からの映像がテレビ画面に表示されない場合は、録画できません。 ●DV機器側が、再生の一時停止状態になっていない。 ●テープ上でタイムコードが連続していない場合や、接続した機器によっては、正しく働かない場合があります。	76 — — 77 —
	外部機器から録画・録音できない	●正しく接続していない。 ●再生機を接続した外部入力チャンネル"L1"、"L2"、"L3"または"DV"を選んでいない。	76 77

「故障かな!?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。



修理診断カルテ

ご記入日：　　　年　月　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号 （保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　月　日	保証書添付	□ 有り　□ 無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り （有償修理時のみ）	□ 不要　□ ＿＿＿＿ 万円以上必要　□ 必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください） □ 電源コード　□ リモコン　□ ディスク　□ その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。
HDDの初期化 （録画内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容はすべて失われます） HDDの初期化に同意されますか。 □ 同意する □ 同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります） ご署名　　　　印

＜不具合症状について＞

不具合症状	（発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください）　例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。
発生条件	＜発生条件＞ 1. □ HDD　□ DVD　□ VHS （下欄※に詳細をご記入ください） 2. □ 録画時　□ 再生時　□ ダビング時 └□ 本機のチューナーからの録画 └□ 外部入力からの録画（他のビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など） ＜エラー表示＞ □ 有り └□ テレビ画面 表示内容：＿＿＿＿＿＿ └□ 本体表示窓 表示内容：＿＿＿＿＿＿ □ 無し
発生頻度	□ 常時　□ 時々　□ ＿＿＿＿ 回に ＿＿＿＿ 回位

＜※DVDディスクに関して＞

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク	□ DVD-RAM	メーカー名：	品番：
	□ DVD-R	メーカー名：	品番：
	□ DVD-R DL	メーカー名：	品番：
	□ DVD-RW	メーカー名：	品番：
	□ +R	メーカー名：	品番：
	□ DVDビデオ	タイトル：	ディスクNo.：
	□ その他		
発生箇所	□ 最初から再生できない	□ ＿＿ 分 ＿＿ 秒位の部分から症状が発生	□ タイトルNo.： チャプターNo.：

＜接続テレビに関して＞

接続テレビ	テレビメーカー名：　　　機種名： 接続端子：□ ピン端子　□ S端子　□ D端子　□ その他

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

きりとり線

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	動作時：約38 W　待機時(クイックスタート「切」)：約 2.3 W※1 (時刻表示点灯時・約2.6 W 、時刻表示消灯時・約 1.3 W) 待機時(クイックスタート「入」)：約 7.2 W※1 (時刻表示点灯時・約7.4 W 、時刻表示消灯時・約6.3 W)

※ 1　VTR の省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。

本体

本体外形寸法	約幅430 mm×高さ84 mm×奥行352 mm
本体質量	約6.8 kg
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	35 %～80 %RH (結露なきこと)
時計部	クォーツ制御、24時間、デジタル表示
プログラム数	1 カ月　32 プログラム
停電保証期間	約5年
外部コントロール端子	別売ブロードバンドレシーバー用(DVD専用)

テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式、525本、60フィールド
アンテナ受信入力	VHF:　1～12 CH　75 Ω UHF:　13～62 CH　75 Ω CATV:　C13～C63 CH　75 Ω BS(DVD専用)：1、3、5、7、9※2、11、13、15 CH　75 Ω
BSアンテナ用電源出力	DC 15 V、最大4 W(DVD専用)
検波入出力 (BS:ピンジャック)	0.67 Vp-p　75 Ω(DVD専用)
ビットストリーム入出力 (BS:ピンジャック)	0.50 Vp-p　75 Ω(DVD専用)

※ 2　本機では、BS9(ハイビジョン放送)を見ることはできません。

映像

記録圧縮方式	MPEG2(Hybrid VBR)(HDD/DVDのみ)
映像入力 (ピンジャック)	入力端子:　3 系統 入力レベル:　1.0 Vp-p　75 Ω
S映像入力	入力端子:　3 系統 Y入力レベル:　1.0 Vp-p　75 Ω C入力レベル:　0.286 Vp-p　75 Ω
映像出力 (ピンジャック)	出力端子:　2 系統(内DVD優先 1 系統) 出力レベル:　1.0 Vp-p　75 Ω
S映像出力	出力端子:　1 系統(DVD優先) Y出力レベル:　1.0 Vp-p　75 Ω C出力レベル:　0.286 Vp-p　75 Ω
D 端子映像出力	出力端子:　1 系統(DVD優先) ●**D1/D2 端子**(525i:Y、CB、CR/525p:Y、PB、PR) Y出力レベル:　1.0 Vp-p　75 Ω CB/PB出力レベル:　0.7 Vp-p　75 Ω CR/PR出力レベル:　0.7 Vp-p　75 Ω

音声

記録・再生圧縮方式	Dolby Digital：2ch記録 リニアPCM(XPモードのみ切り換え可)：2ch記録
アナログ入力 (ピンジャック)	入力端子:　3 系統 基準入力:　309 mVrms 入力レベル(HDD/DVDのみ)：FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB) 入力インピーダンス：22 kΩ
アナログ出力 (ピンジャック)	出力端子:　2 系統(内DVD優先 1 系統) 基準出力:　309 mVrms 出力レベル(HDD/DVDのみ)：FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB) 出力インピーダンス：1 kΩ 負荷インピーダンス：10 kΩ
チャンネル数・トラック数	●HDD/DVD　記録：2チャンネル、再生：2チャンネル ●VHS　ハイファイ：2トラック、ノーマル：1トラック
デジタル出力	出力端子:　1 系統、光コネクター(DVD優先) **(PCM、ドルビーデジタル、DTS対応)**

DV 入力

入力端子	4ピン:　1 系統

HDD/DVD部

内蔵HDD容量	200 GB
記録可能なディスク	●**DVD-RAM:** Ver.2.0 Ver.2.1/3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0 Ver.2.2/5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0 ●**DVD-R:** for General Ver.2.0 for General Ver.2.0/4X-SPEED DVD-R Revision 1.0 for General Ver.2.x/8X-SPEED DVD-R Revision 3.0 for General Ver.2.x/16X-SPEED DVD-R Revision 6.0 for DL Ver.3.0 for DL Ver.3.x/4X-SPEED DVD-R for DL Revision 1.0 ●**DVD-RW:** Ver.1.1 Ver.1.x/2X-SPEED DVD-RW Revision 1.0 Ver.1.x/4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0 Ver.1.x/6X-SPEED DVD-RW Revision 3.0 ●**+R:** Ver.1.0　Ver.1.1　Ver.1.2　Ver.1.3
記録方式	●**DVD-RAM**　：DVDビデオレコーディング規格準拠 ●**DVD-R**　：DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●**DVD-R DL(片面2層)**：DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●**DVD-RW**：DVDビデオ規格準拠　●**+R**
記録時間	(4.7 GBディスク使用時) 最大8時間 XP：約1時間　SP：約2時間 LP：約4時間　EP：約6時間または約8時間 (内蔵HDD使用時) 最大355時間 XP：約44時間　SP：約89時間 LP：約 177時間　EP：約266時間または355 時間
再生可能なディスク	●DVD-RAM　●DVD-R　●DVD-R DL(片面2層) ●DVD-RW　●+RW　●+R ●+R DL(片面 2 層)：ファイナライズ済のみ ●DVD-Video　●DVD-Audio ●CD-Audio(CD-DA)　●VCD ●CD-R/CD-RW(CD-DA、VCD、MP3、JPEG フォーマット記録のディスク)

VHS 部

録画方式	VHS 規格
テープ速度	標準：33.35 mm/秒　3倍：11.12 mm/秒
使用カセット	VHS ビデオカセット
録画時間	最大9時間(T-180使用、3倍モード)
早送り・巻き戻し時間	約60秒(T-120使用時) 高速リターン時:　約43秒(T-120使用時)

SD 部

スロット	SD メモリーカード
静止画(JPEG、TIFF)	
対応カード	SDメモリーカード※3、マルチメディアカード
対応フォーマット	FAT12、FAT16
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式 [DCF(Design rule for Camera File system)準拠] ●TIFF(非圧縮RGB、点順次)対応　●DPOF対応
画素数	34×34～6144×4096 サブサンプリング:　4:2:2、4:2:0
解凍時間※4	約3秒(600万画素、JPEG)
動画(MPEG2)	
対応カード	SDメモリーカード※3
ファイル形式	SD VIDEO 規格準拠 ●SD(SD VIDEO 規格)からHDD/DVD-RAM/DVD-R(ビデオレコーディング規格)/DVD-R DL(片面2層)(ビデオレコーディング規格)への変換転送後に再生可能

※3　miniSD™カードを含む。(miniSD™アダプター装着時)
※4　解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

アイコン一覧

本機はアイコン(機能表示のシンボルマーク)によって、操作状況や録画内容などをお知らせします。

予約一覧画面

録画できなかった番組

- F 残量不足
- 録画禁止番組
- X ディスクの汚れなどで録画失敗

- 録画中
- W 日時が他の予約と重複している番組
- 延 野球延長対応機能(➔28)が働く番組
- 予約の実行が「切」になっている番組(➔27)
- 録画を中止した「毎日」・「毎週」の予約(次回以降は録画されます)

HDD HDDに録画
DVD DVDに録画
VHS VHSに録画

- 自動で番組が上書きされる録画[➔28「自動更新(オートリニューアル)録画」]
- 残量が足りないなどの理由で、DVDからHDDに録画先が変更になった番組[➔23「リリーフ(代替)録画」]
(録画中に表示)

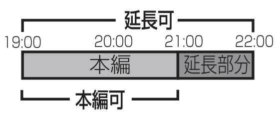


[追従]: 番組追従(➔28)される番組
[延長○○分]: 野球延長対応機能(➔28)が働く番組
(時間は延長時間)

HDD/DVDへの予約の場合、予約番組が正しく録画されるかどうかは、この欄の表示で確認できます。
この欄に何も表示されない予約は、何らかの理由で録画ができない場合があります。

可: 録画が可能な番組
ただし、野球延長対応機能の対象番組は次のような表示になります。
延長可:延長部分を含む録画が可能
本編可:延長部分の一部、または延長部分のすべてが録画されない[HDDの残量が足りない場合や、延長部分の録画時間が他の予約と重複する場合など(➔28)]

例)19時から21時まで放送の野球中継(最大延長22時まで)

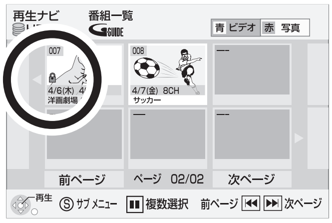


月/日迄: 毎日・毎週予約で、録画可能な最終日(最大1カ月先まで表示されます。)
代替: HDDにリリーフ(代替)録画(➔23)
重複: 予約時間が重複しているため一部録画されない番組

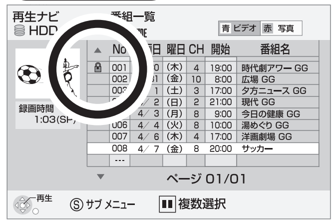
- 録画中は内容が正しく表示されない場合があります。
- 録画先が「VHS」の予約番組では、「ーー」表示になります。

再生ナビ画面

サムネイル表示



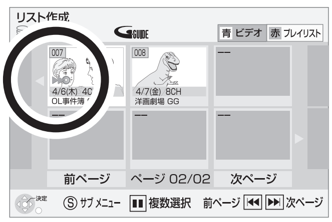
リスト表示

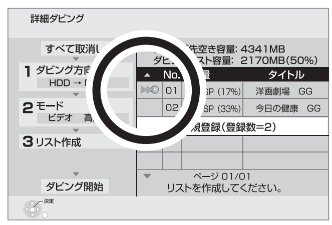


- 再生できない番組(HDDにダビング中の番組やデータが壊れている番組など)
- 書き込み禁止(プロテクト)を設定した番組や写真(➔49,54)
- 録画中の番組
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組(➔12)
- 録画禁止信号により録画できなかった番組(デジタル放送など)
- HDDにリリーフ(代替)録画された番組(➔23)
- DPOF プリント枚数(DPOF)が設定された写真(➔54)

おまかせダビング・詳細ダビング画面

例)詳細ダビングのとき





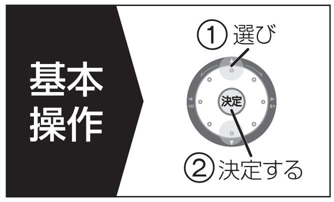
- DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速でダビングできるもの
- DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)に高速でダビングできるもの(+R には高速でダビングできません)
- 静止画を含むもの(HDD/DVD へは静止画部分はダビングされません)
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組(➔12)
- 「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの(➔12)

操作一覧メニューについて

ディスクの種類に応じて、使える機能をこの画面から選ぶことができます。［操作一覧］を押すと表示されます。

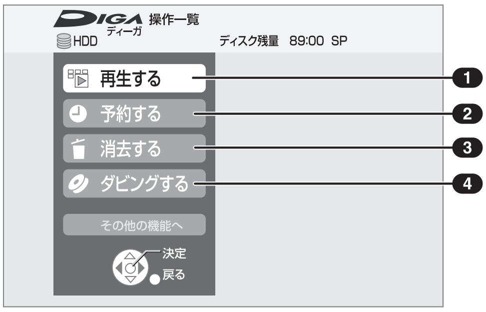
項目を選び、（決定）を押す

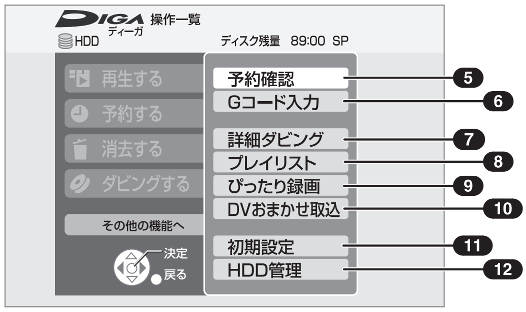
「その他の機能へ」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]で実行します。[戻る]を押すと、「その他の機能へ」を選んだ前の画面に戻ります。メニュー画面を消すには、[戻る]を数回押します。



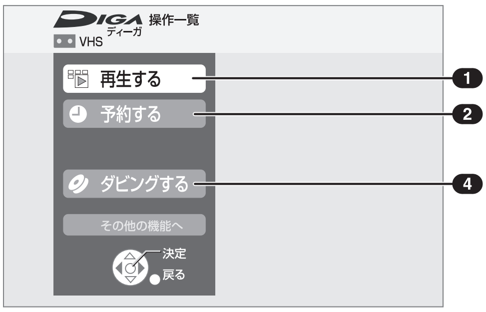
その他の機能へ を選んだとき

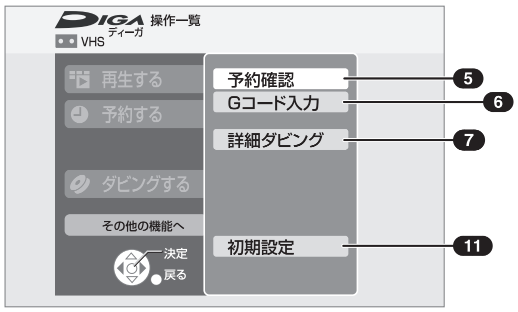
例）**HDD**





例）**VHS**





- “プロテクトを設定している”など、条件によって選べない項目は灰色で表示されます。
- HDD/DVDで録画中に、VHS側でこの画面を表示させたときは、背景は灰色になります。

機能の詳細はそれぞれのページをお読みください。

1 再生する(➜33,38,48,54)
- 録画した番組や記録済みの写真の一覧を表示させます。
- 「VHS」選択中は、カセットを再生します。(一覧は表示されません)(➜40)

2 予約する(➜24)
- 番組表を表示させます。

3 消去する(➜47)
- 録画した番組や、記録済みの写真を消去します。

4 ダビングする(➜61)
- おまかせダビング設定画面を表示させます。
DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+Rにダビングするとき、他の機器での再生に必要な処理まで自動で行います。

5 予約確認(➜26,27)
- 録画予約の一覧を表示させます。予約の取り消しや修正ができます。

6 Gコード入力(➜25)
- Gコード® 予約ができます。

7 詳細ダビング(➜65,68,70,74)
- 詳細ダビング設定画面を表示させます。

8 プレイリスト(➜51,52)
- プレイリストの一覧を表示させます。プレイリストの作成･再生･編集ができます。

9 ぴったり録画(➜21)
- ディスクの残量に合わせて録画できるように設定します。

10 DVおまかせ取込(➜76)
- デジタルビデオカメラなどをDV入力端子に接続してダビングするとき、プレイリストを自動で作成できます。

写真(JPEG)一括取込(➜73)
- カードの写真をHDDまたはDVD-RAMに一度にダビングします。

11 初期設定(➜82～85)
- 必要なときに本機の設定を変更します。

12 HDD管理/DVD管理/カード管理(➜78)
- ディスクやカードの状態･用途によって、録画(記録)前や録画後に必要な処理などを行います。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな!?」（➜94～98）に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」（➜93）が表示されている場合その番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	DVDレコーダー
品　　番	DMR-EH75V
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0106

さくいん

「ページ」の項目の 00 は、別冊の取扱説明書 準備編のページを示しています。

英数字

あ 行

か 行

さ 行

た　行　ページ

な　行　ページ

は　行　ページ

ま　行　ページ

や　行　ページ

ら　行　ページ

わ　行　ページ

別売品のご紹介（2006年3月現在）

※印の付いているものは、サービスルート扱いでご用意しております。お買い上げの販売店にご注文ください。

映像や音声を楽しむには

- **映像・音声コード(ステレオ←→ステレオ)**
  ：RP-CVP3G05(0.5 m)
  ：RP-CVP3G10(1.0 m)
  ：RP-CVP3G15(1.5 m)
  ：RP-CVP3G20(2.0 m)
  ：RP-CVP3G30(3.0 m)
- **映像・音声コード(ステレオ←→モノラル)**
  ：RP-CVP2G10(1.0 m)
  ：RP-CVP2G20(2.0 m)
  ：RP-CVP2G30(3.0 m)
- **S映像コード**
  ：RP-CVS0G10(1.0 m)
  ：RP-CVS0G20(2.0 m)
  ：RP-CVS0G30(3.0 m)
- **音声コード(ステレオ←→ステレオ)**
  ：RP-CAP3G05(0.5 m)
  ：RP-CAP3G10(1.0 m)
  ：RP-CAP3G15(1.5 m)
  ：RP-CAP3G20(2.0 m)
  ：RP-CAP3G30(3.0 m)
- **D端子ピンケーブル**
  ：RP-CVCDG15(1.5 m)
  ：RP-CVCDG30(3.0 m)
- **D端子ケーブル**
  ：RP-CVDG15A(1.5 m)
  ：RP-CVDG30A(3.0 m)
- **光デジタルケーブル(光角形プラグ←→光角形プラグ)**
  ：RP-CA2005A(0.5 m)
  ：RP-CA2010A(1.0 m)
  ：RP-CA2020A(2.0 m)
  ：RP-CA2030A(3.0 m)
- **DVケーブル**
  ：VW-CD1(2.0 m)

テレビ放送を楽しむには

- **75Ω同軸ケーブル**
  ：VJA1091※（1.4 m）
- **BS同軸ケーブル**
  ：VW-KBS1(2.0 m)
- **75Ωアンテナプラグ(VHF/UHF入力端子専用)**
  ：VSQ1035※
- **アンテナプラグ**：VUA7050※
- **CS・BS/U・V分波器**：TY-6S7BCSW

お手入れには

- **レンズクリーナー**
  ：RP-CL720
- **ブルーレイ/DVDディスククリーナー**
  ：RP-CL750

外出先からパソコンや携帯電話で予約録画するには（インターネットの常時接続環境が必要です）

- **ブロードバンドレシーバー**
  ：DY-NET2

カセットを楽しむには

- **カセットアダプター**
  ：VW-TCA7
- **ビデオヘッドクリーナー**
  ：VFK0923FM※
  （乾式、使用回数180回）
  ：VFK0923FS※
  （乾式、使用回数30回）

別売品は販売店でお買い求めいただけます
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のDVDレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか		
	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● テープやディスクをいためた ● その他の異常や故障がある	▶ このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMR-EH75V
販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　　）　－

PRINTED WITH SOY INK™
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町１番15号

RQT8347-S
F0306Tj0